

令和4年度
第4次清川村総合計画策定のための
村づくりアンケート
調査結果報告書

令和5年3月

清川村

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類及び対象者	1
3	調査の実施方法	1
4	配付・回収状況	1
5	調査項目	2
6	留意事項	3
II	調査結果のまとめ	4
1	住まいの状況・生活実態	4
3	定住意向	4
4	今後、力を入れるべき施策	4
5	情報通信	5
6	地域活動	5
7	村の将来像	5
III	調査結果	6
1	家族編	6
■	回答者の属性	6
1-1	住まいの状況	8
1-2	定住意向	14
1-3	村づくりへの取組	20
1-4	情報通信	26
1-5	地域活動	34
1-6	村の将来像	43
2	若者編	53
■	回答者の属性	53
2-1	住まいの状況・生活実態	55
2-2	地域活動	65
2-3	情報通信	70
2-3	定住意向・村づくりへの取組	76
2-4	村の将来像	87
3	転出者編	96
■	回答者の属性	96
3-1	転出前の住まいの状況・転出先	98
3-2	清川村での暮らし	107
IV	資料編	1155
1	集計結果	11515

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 26 年 3 月に策定した村政運営の基本となる『第 3 次清川村総合計画』が令和 5 年度で終了することを受け、新たな総合計画策定にあたり、村民の意向及び村からの転出者から転出理由等をうかがうことで、今後の村政の方向性を検討し、計画に反映するために実施した。

2 調査の種類及び対象者

調査は以下の 3 つの区分で実施した。

調査の種類	調査対象者
家族編	住民基本台帳（R 4. 6. 30 現在）に記載されている世帯の「世帯主」から無作為に 600 名を抽出
若者編	住民基本台帳（R 4. 6. 30 現在）に記載されている「15～39 歳」の方から無作為に 200 名を抽出
転出者編	村からの転出者から無作為に 200 名を抽出

3 調査の実施方法

○調査期間：令和 4 年 7 月 21 日～8 月 8 日

※8 月 26 日時点で「お礼状」を郵送し、未回答の方に回答を依頼し、9 月中旬受取り分まで集計

○送付方法：メール便による送付

○回収方法：郵送による回収と Web での回答の併用

4 配付・回収状況

配付・回収状況は以下のとおりである。

調査の種類	配付			回収			有効回収率 (b/a)
	配付数	不着数	有効数(a)	郵送	Web	有効数(b)	
家族編	600	12	588	226	38	264	44.0%
若者編	200	2	198	26	38	64	32.0%
転出者編	200	24	176	24	30	54	27.0%
合計	1,000	38	962	276	106	382	38.2%

5 調査項目

設問区分	設問	設問番号		
		家族編	若者編	転出者編
住まいの状況	住宅の所有形態	1	—	3
	(転出後の住宅の所有形態)	—	—	4
	居住期間	2	2	2
	居住理由	3-1	3	—
	住宅購入で重視した点	3-2	—	—
	居住地域	4	1	1
	(転出先)	—	—	5
	(転出することになった最も大きな理由)	—	—	7
	(転出先を選んだ理由)	—	—	8
生活実態	通勤・通学場所	—	4	6
	主な交通手段	—	5	—
	休日の主な過ごし方	—	6-1	—
	休日を過ごす主な場所	—	6-2	—
定住意向	住みやすさ	5-1	16-1	—
	住みにくい理由	5-2	16-2	—
	(村の暮らしで不満に感じた点)	—	—	9
	居住意向(再び居住する意向)	6	18-1	11
	転出を考える理由	—	18-2	—
	村に帰る予定	—	18-3	—
村づくりへの取組	住みやすい村のため力を入れてほしいもの	—	17	12
	転出した人たちが村に帰るために一番必要なもの	—	19	—
	村づくりへの満足度	7-1	—	—
	村づくりへの重要度	7-2	—	—
情報通信	情報の取得方法	8	11	—
	利用している情報通信機器	9	12	—
	ICT(情報通信技術)の活用状況	10	13	—
	SNSの利用状況	11	14	—
	行政サービスデジタル化の満足度	12-1	15-1	—
	不満な理由	12-2	15-2	—
地域活動	住民組織への参加状況	13	—	—
	現在参加している地域活動	14	7	—
	地域活動への参加意向	15-1	8-1	—
	地域の活動へ参加しない理由	15-2	8-2	—
	地域のまとまりについて	16	—	—
	近所の方との関係性	17	9	—
	地域の皆さんの関係を深めることについて	18	10	—
村の将来像	村の誇れるところ (転出してあらためて清川村に魅力を感じる点)	19	20	10
	10年後の村の将来像	20	21	—
	市町村合併についての考え	21-1	22-1	—
	検討する必要がある理由	21-2	22-2	—
	検討する必要がない理由	21-3	22-3	—
	市町村合併についてわからない理由	21-4	22-4	—
回答者属性	年齢	22	23	13
	性別	23	24	14
	配偶者の有無	24	—	—
	同居の家族構成	25	25	15
	同居している方	26	—	—
	主な就業状況	27	26	16

※ () 内は転出者編での設問

6 留意事項

- 数値は少数第二位を四捨五入しているため、割合の合計は 100%にならない場合がある。
- 複数回答の設問は、回答者数を母数としているため、割合の合計は 100%にならない。
- 属性別の集計結果で、サンプル数（属性ごとの回答者数）が少ないものは、十分な精度が得られないことから分析していない。
- 平成 28 年度に実施している調査（以下、「前回調査」という。）と比較可能なもので、経年的な変化がみられるものについては、前回調査との比較を掲載している。

Ⅱ 調査結果のまとめ

1 住まいの状況・生活実態

■生まれながら清川村に住んでいる人が比較的多い。

- 世帯編では全体の3分の1、若者編では全体の約半数が生まれながら清川村に住んでいる。
- 清川村以外の出身者では、住宅購入(家族編 23.1%)や清川村居住者との結婚(家族編 12.9%)をきっかけに転入してきた人が多い。

■通勤・通学先は厚木市が多い。転出者の転出先も厚木市が最も多い

- 若者編での通勤・通学先では「厚木市」が約30%で最も多く、転出者の転出先でも厚木市が約30%で最も多くなっている。また、通勤・通学先では海老名市が増加している。
- 若者編での通勤・通学の主な交通手段では「路線バス」と「自家用車」がともに40%台と多く、「路線バス」が特に若い層にとって重要な生活インフラであることがわかる。

■若年者の休日は村内で過ごす人が42%、村外に出る人が55%と村外派が多い

- 若者編での休日の過ごし方では「家で家族と過ごす」など、村内で過ごす人が約4割に対し、5割強の人は村外で過ごしている。

3 定住意向

■家族編では住みやすさの満足度は比較的高く、定住意向も強いが、若年層の定住意向は低い

- 清川村が住みやすいと感じている人(「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計)は、家族編では78.8%、若者編では64.1%となっており、住みやすさを感じている人は若い人では比率が低くなっている。
- 定住意向では、住み続けると回答した人(「このまま住み続ける」と「しばらく住み続ける」の合計)は家族編では90%弱と多い一方で、若者編では約30%にとどまっており、世代や家族構成によって大きな差が出ている。また、若者編で「転出する予定」の人に将来村に帰るか聞いたところ、半数弱は「帰るつもりはない」と回答している。

■交通と買い物の利便性の低さが住みにくさの大きな要因

- 住みやすさの評価が低い人(「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計)が感じる住みにくさの理由は、交通と買い物等の日常生活の不便さが多い(交通の便の悪さ:家族編 75.3%、若者編 68.2%、日常生活の不便さ:家族編 63.3%、若者編 81.8%)。

4 今後、力を入れるべき施策

■公共交通・生活利便に加え、定住促進、産業・雇用、情報発信などの改善が必要

- 家族編における施策の満足度・重要度では、重要度が高く、満足度が低い施策として、公共交通、生活利便性、土地利用、移住定住、鳥獣被害対策、森林資源の利活用、産業・観光、情報発信、行政運営効率化などが入っており、重点的な改善が求められている。
- 若者編・転出者編では公共交通や生活利便の向上に加えて、自然環境の維持・保全(若者編 29.7%)や雇用の創出(若者編 23.4%、転出者編 24.1%)などが比較的多くなっている。

5 情報通信

■スマートフォンの普及が進み、L i n eを中心にSNSの利用も広がる

- スマートフォンの所有率は低年齢層ほど高いが、70代でも50%以上と普及が進んでいる。
- SNSは、50代までは何らかのSNSを利用している人が90%以上と多いが、70代では約50%、80歳以上では、30%程度しか利用していない。全ての年齢層でL i n eが最もよく利用されている（家族編 64.0%、若者編 96.9%）

■行政サービスのデジタル化の満足度は高いが、HP、オンラインサービスの充実が必要

- 行政サービスのデジタル化に満足している人（「満足」と「やや満足」の合計）は家族編で約60%、若者編で約70%と高い。
- 満足度が低い人が感じる不満の理由では、ホームページでの情報入手（家族編 25.0%、若者編 26.3%）、オンラインで完結できるサービス（家族編 16.7%、若者編 21.1%）電子申請で利用可能な行政手続き（家族編 14.3%、若者編 21.1%）などが不十分なことがあげられている。

6 地域活動

■近所との関係性は良好で活動参加も多いが、若年層では関係の希薄化と参加意欲低下の傾向

- 近所付き合いについては、家族編では60%以上が親しいと回答（「かなり親しい」と「わりと親しい」の合計）している一方、若者編では50%弱にとどまっており、ほとんど付き合いがない人も20%超と家族編（6.8%）に比べると多い。
- 家族編での地域活動への参加は約80%、今後の参加意向も80%弱が参加意向を持っているが、若者編では参加は30%弱、今後の参加意向は60%弱と家族編に比べると少ない。

7 村の将来像

■村の誇れるところは自然環境と治安などが多い。転出者では子育て環境を評価する意見が多い

- 各調査に共通して「美しい山々や自然がある」が最も多く（家族編 76.9%、若者編 79.7%、転出者編 74.1%）、家族編、若者編では「治安が良く安心して暮らせる」（家族編 29.9%、若者編 31.3%）も比較的多い。転出者編では「子どもが健やかに育つ環境」が30%以上と評価が高い。

■将来像は、家族編では「保健や医療、介護」若者編では「公共交通網や買い物」が上位

- 10年後の将来像は、家族編、若者編ともに「豊かな自然と共生した村」が第1位であるが（家族編 45.8%、若者 42.2%）、第2位は家族編では「保健や医療、介護が充実した村」（45.5%）、若者編では「公共交通網や買い物などが便利な村」（50.0%）となっており、傾向が違う。

■合併については半数が検討の必要なし。今より利便性が増すと思えないなどがその理由

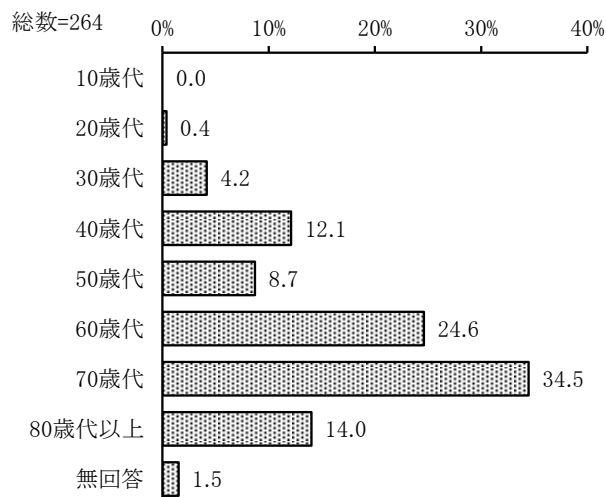
- 市町村合併については、家族編、若者編ともに約半数が「検討する必要はない」と回答している。必要がない理由では、「今より利便性が増すと思えないから」（家族編 22.0%、若者編 21.9%）や「きめ細かいサービスが受けられなくなるから」（家族編 26.8%）、「今の村が気に入っているから」（若者編 21.9%）などがあげられている。

Ⅲ 調査結果

1 家族編

■回答者の属性

【年齢】

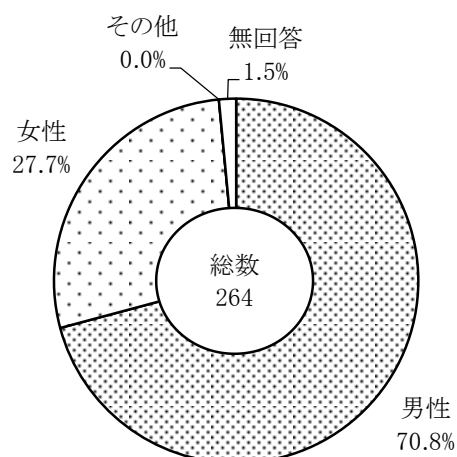


○70代が全体の約3分の1以上を占めており、最も多く、80歳以上を含めると全体の半数弱が70歳以上となっている。

○60代は全体の約4分の1を占めており、60歳以上が70%以上を占めている。

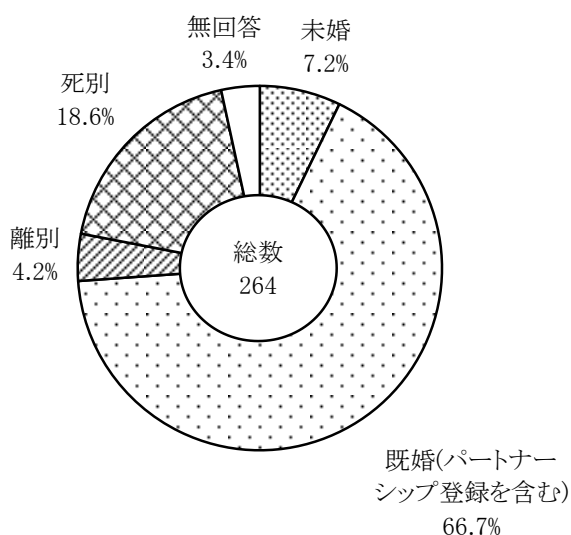
○現役世代では40代の12.1%が最多であり、それ以外の年齢層は一桁台と少ない。

【性別】



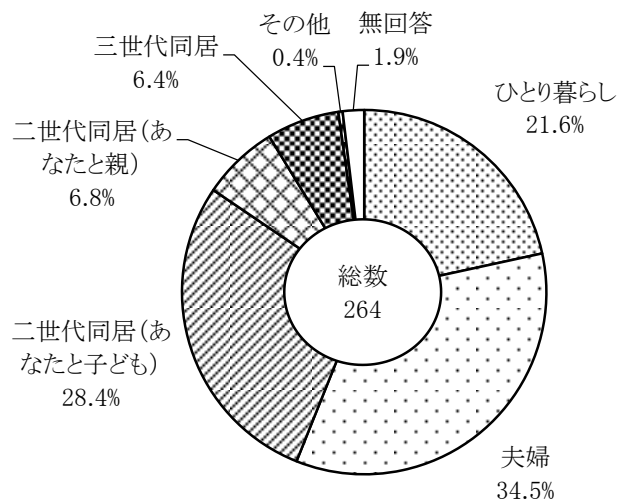
○男性が70%以上で、女性は30%弱となっている。

【配偶者の有無】



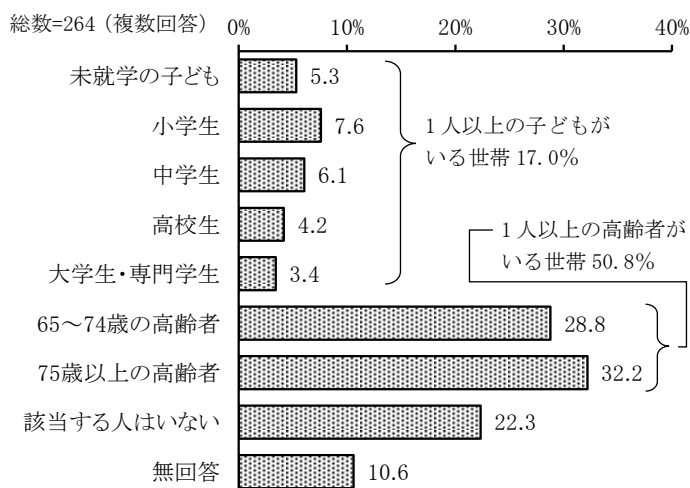
○全体の3分の2が既婚(パートナーシップ登録を含む)となっている。

【家族構成】



○「夫婦」が全体の3分の1以上を占めており最も多い。次いで多いのは「二世帯同居 (あなたと子ども)」の28.4%で、「ひとり暮らし」が21.6%で続いている。

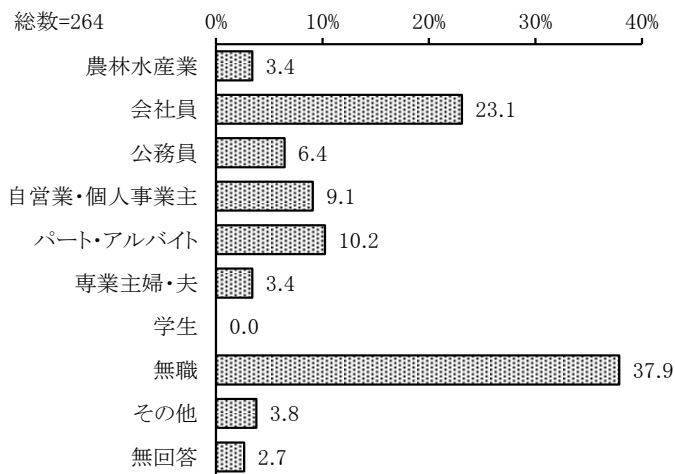
【子ども・高齢者の同居家族の有無】



○未就学から大学生・専門学校生までの子どもが1人以上いる世帯は17.0%で、小学生がいる世帯が7.6%で最も多い。

○高齢者がいる世帯は50.8%で、過半数の世帯に高齢者がいる。

【就業状況】

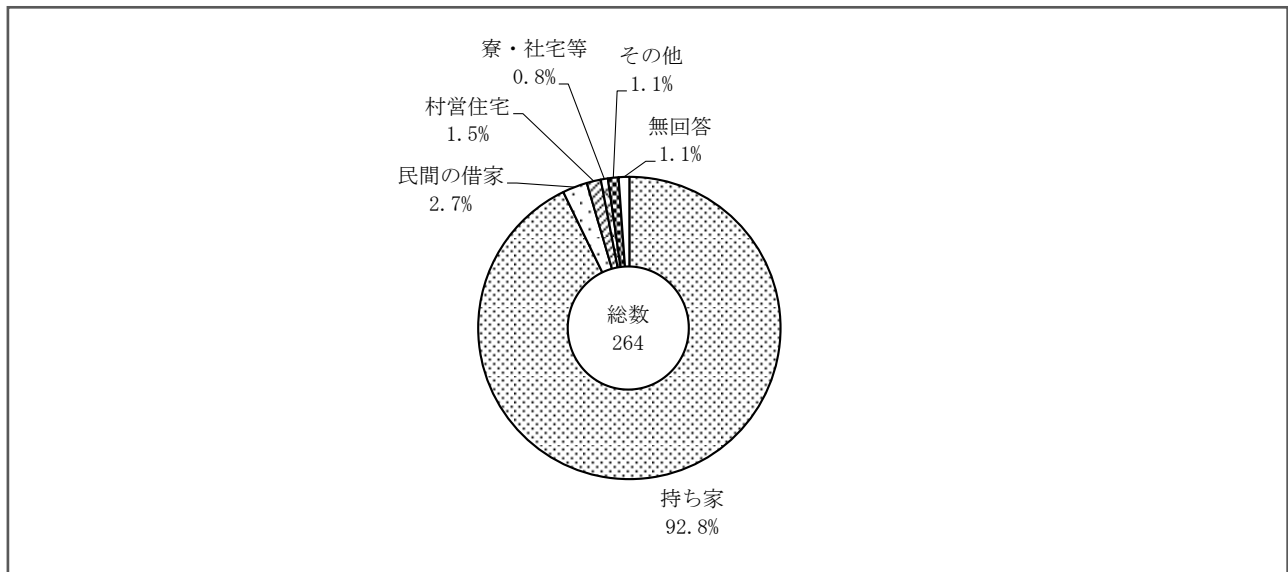


○「無職」が37.9%で最も多い。

○有職者では「会社員」が23.1%で最も多く、以下、「パート・アルバイト」10.2%、「自営業・個人事業主」9.1%と続いている。

1-1 住まいの状況

問1 住宅の所有形態はどれですか。(1つを選択)



【全体】

「持ち家」が90%以上を占める。それ以外では「民間の借家」2.7%、「村営住宅」1.5%、「寮・社宅等」0.8%となっている。

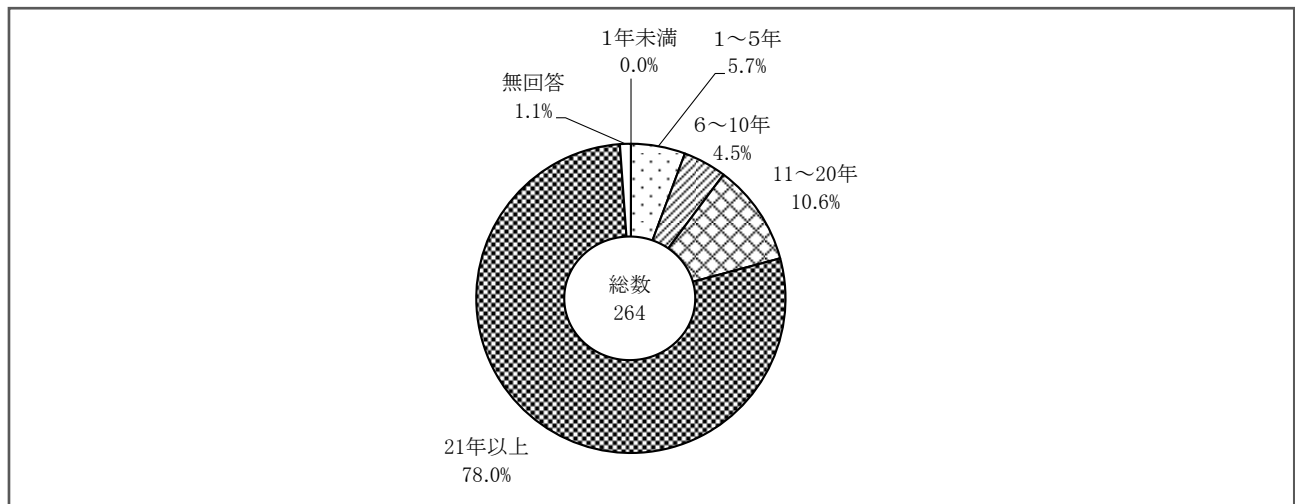
【属性別】

年齢別にみると、30代、40代で「持ち家」が80%台となっており、「民間の借家」、「村営住宅」が他の年齢層に比べて多い。

地区別にみると、「持ち家」が煤ヶ谷上地区で100%、清水ヶ丘・金翅地区で98.7%と多い。また宮ヶ瀬・札掛地区では村営住宅の比率が7.7%と他地区に比べて多い。

		全体	持ち家	民間の借家	村営住宅	寮・社宅等	その他	無回答
全体		264	92.8	2.7	1.5	0.8	1.1	1.1
年齢	20代	1	100.0	-	-	-	-	-
	30代	11	81.8	-	9.1	9.1	-	-
	40代	32	87.5	3.1	6.3	3.1	-	-
	50代	23	91.3	4.3	-	-	4.3	-
	60代	65	93.8	3.1	-	-	1.5	1.5
	70代	91	96.7	1.1	-	-	1.1	1.1
	80歳以上	37	94.6	2.7	-	-	-	2.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	100.0	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	73	90.4	2.7	4.1	1.4	1.4	-
	清水ヶ丘・金翅地区	76	98.7	-	-	1.3	-	-
	煤ヶ谷下地区	46	93.5	4.3	-	-	2.2	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	92.3	-	7.7	-	-	-
	無回答	10	30.0	30.0	-	-	10.0	30.0

問2 清川村に何年お住まいですか。(1つを選択)



【全体】

「21 年以上」が 78.0%で最も多く、「11～20 年」の 10.6%が続いており、居住歴の長い人が多い。「1～5 年」の比較的居住歴が短い人は 5.7%にとどまっている。

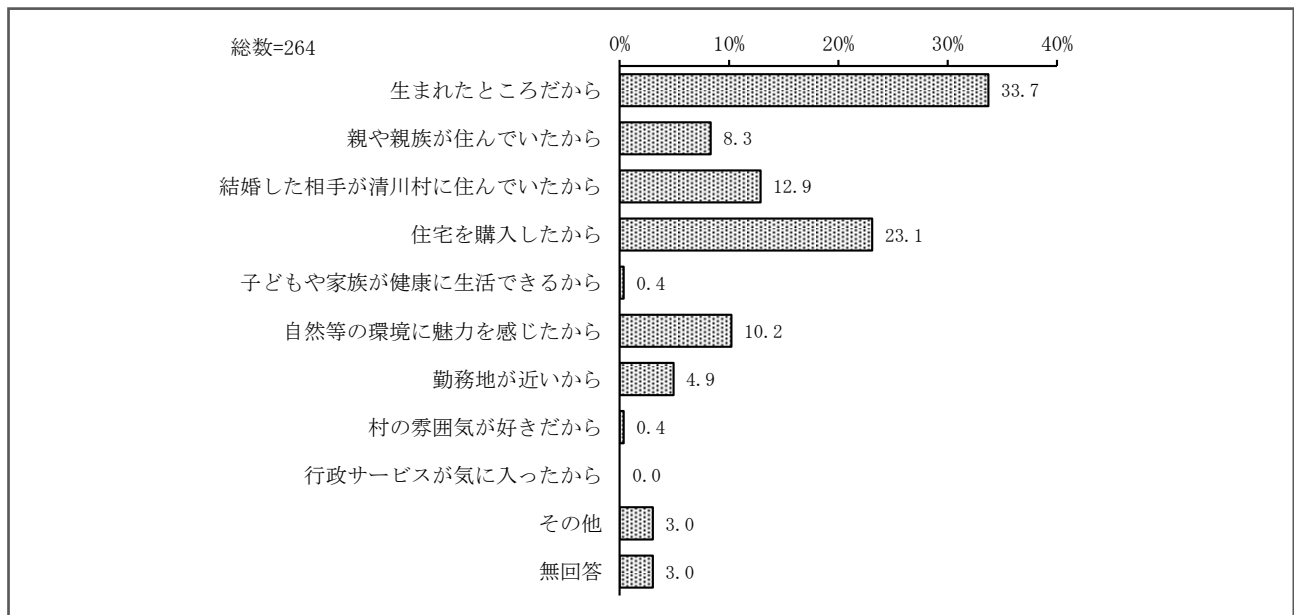
【属性別】

年齢別にみると、60 代以上では「21 年以上」が 80%以上と多く、70 代では 92.3%を占めている。一方、30 代では「6～10 年」の 45.5%が最も多く、「1～5 年」も 36.4%と、比較的居住歴の短い人が多い。

地区別にみると、「21 年以上」は煤ヶ谷上地区、清水ヶ丘・金翅地区で 80～90%程度と多い。一方、宮ヶ瀬・札掛地区では「1～5 年」が 23.1%と他地区に比べて多い。

		全体	1 年 未 満	1 ～ 5 年	6 ～ 1 0 年	1 1 ～ 2 0 年	2 1 年 以 上	無 回 答
	全体	264	-	5.7	4.5	10.6	78.0	1.1
年 齢	20代	1	-	100.0	-	-	-	-
	30代	11	-	36.4	45.5	9.1	9.1	-
	40代	32	-	12.5	12.5	34.4	40.6	-
	50代	23	-	4.3	-	26.1	69.6	-
	60代	65	-	3.1	-	7.7	87.7	1.5
	70代	91	-	1.1	1.1	4.4	92.3	1.1
	80歳以上	37	-	2.7	2.7	2.7	89.2	2.7
居 住 地 区	煤ヶ谷上地区	46	-	2.2	2.2	4.3	91.3	-
	煤ヶ谷中地区	73	-	5.5	9.6	5.5	79.5	-
	清水ヶ丘・金翅地区	76	-	2.6	1.3	9.2	86.8	-
	煤ヶ谷下地区	46	-	6.5	4.3	23.9	65.2	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	-	23.1	-	30.8	46.2	-

問3-1 清川村にお住まいになったきっかけは何ですか。(1つを選択)



【全体】

「生まれたところだから」が33.7%で最も多く、以下、「住宅を購入したから」23.1%、「結婚した相手が清川村に住んでいたから」12.9%の順で続いている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「結婚した相手が清川村に住んでいたから」や「自然等の環境に魅力を感じたから」は、比率が上昇している。

	全体	生まれたところだから	親や親族が住んでいたから	結婚した相手が清川村に住んでいたから	住宅を購入したから	子どもや家族が健康に生活できるから	自然等の環境に魅力を感じたから	勤務地が近いから	村の雰囲気が好きだから	行政サービスが気に入ったから	その他	無回答
令和4年度	264	33.7	8.3	12.9	23.1	0.4	10.2	4.9	0.4	-	3.0	3.0
平成28年度	119	34.5	11.8	5.9	26.1	2.5	5.9	5.9	0.0	0.0	5.0	2.5

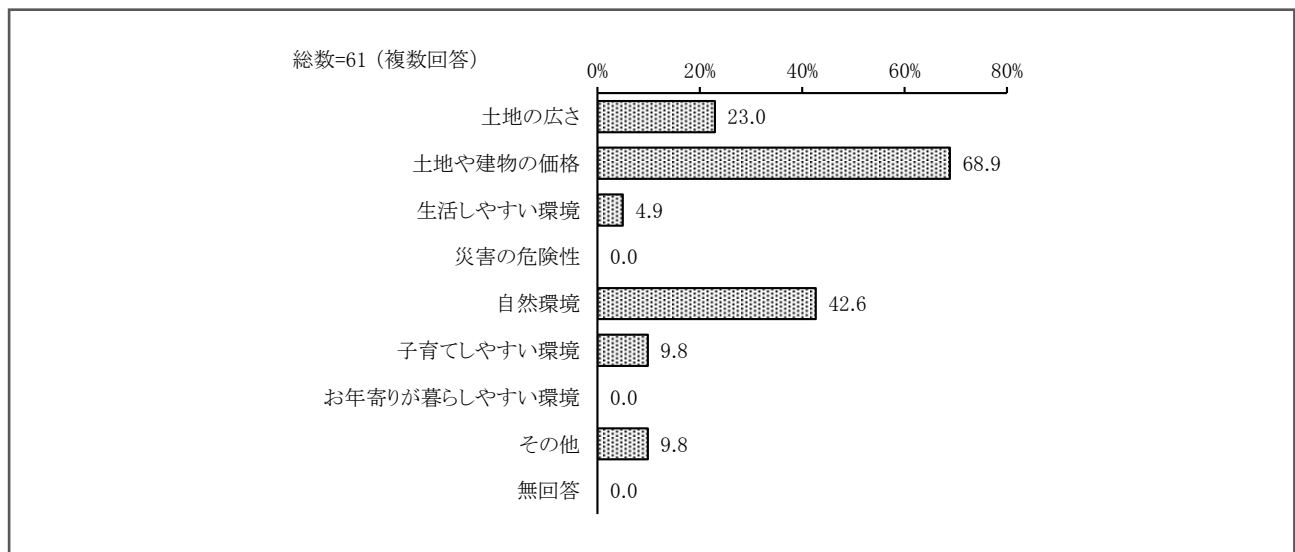
【属性別】

年齢別にみると、50代、60代では「生まれたところだから」が40%前後と多い。40代では「住宅を購入したから」が理由の第1位となっている。また、30代では「自然等の環境に魅力を感じたから」が他の年齢層に比べて多い。

地区別にみると、煤ヶ谷地上地区、煤ヶ谷中地区では「生まれたところだから」が50%前後と多い一方、清水ヶ丘・金翅地区や煤ヶ谷下地区では「住宅を購入したから」が30%で第1位となっている。

		全体	生まれたところだから	親や親族が住んでいたから	結婚した相手が清川村に住んでいたから	住宅を購入したから	子どもや家族が健康に生活できるから	自然等の環境に魅力を感じたから	勤務地が近いから	村の雰囲気が好きだから	行政サービスが気に入ったから	その他	無回答
	全体	264	33.7	8.3	12.9	23.1	0.4	10.2	4.9	0.4	-	3.0	3.0
年齢	20代	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	30代	11	27.3	18.2	9.1	18.2	-	18.2	9.1	-	-	-	-
	40代	32	28.1	12.5	9.4	31.3	-	6.3	6.3	-	-	3.1	3.1
	50代	23	39.1	21.7	4.3	21.7	-	8.7	-	-	-	4.3	-
	60代	65	41.5	6.2	9.2	27.7	-	7.7	1.5	1.5	-	1.5	3.1
	70代	91	29.7	6.6	15.4	19.8	1.1	13.2	7.7	-	-	5.5	1.1
	80歳以上	37	32.4	2.7	24.3	21.6	-	8.1	-	-	-	-	10.8
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	56.5	10.9	17.4	6.5	-	4.3	-	-	-	2.2	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	47.9	6.8	17.8	12.3	-	4.1	4.1	-	-	4.1	2.7
	清水ヶ丘・金翅地区	76	17.1	9.2	6.6	36.8	-	14.5	10.5	-	-	2.6	2.6
	煤ヶ谷下地区	46	21.7	4.3	15.2	37.0	2.2	15.2	2.2	-	-	2.2	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	30.8	15.4	7.7	30.8	-	15.4	-	-	-	-	-

問3-2 問3-1で、「4. 住宅を購入したから」を選んだ方にお伺いします。住宅を購入する際、重視した点は何ですか。該当する主なもの2つを選んでください。



【全体】

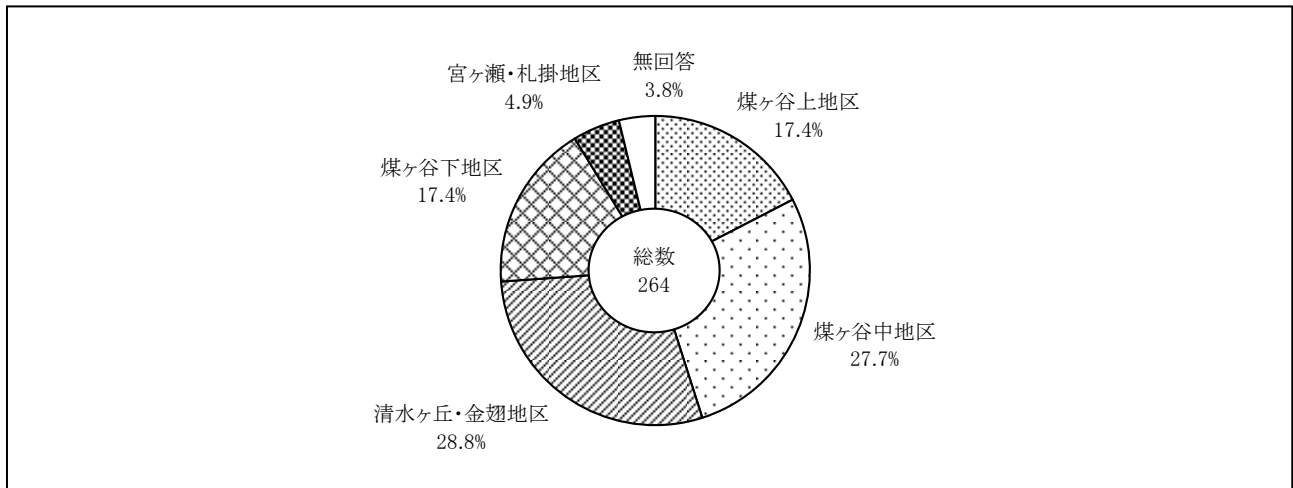
「土地や建物の価格」が 68.9%で最も多く、「自然環境」42.6%、「土地の広さ」23.0%が続いている。「子育てしやすい環境」や「その他」が 9.8%となっており、「その他」では職場への近さなどが上げられている。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	土地の広さ	土地や建物の価格	生活しやすい環境	災害の危険性	自然環境	子育てしやすい環境	お年寄りが暮らしやすい環境	その他	無回答
全体		61	23.0	68.9	4.9	-	42.6	9.8	-	9.8	-
年齢	20代	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	30代	2	-	50.0	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-
	40代	10	20.0	80.0	10.0	-	30.0	10.0	-	20.0	-
	50代	5	40.0	20.0	-	-	60.0	20.0	-	20.0	-
	60代	18	16.7	72.2	-	-	38.9	11.1	-	11.1	-
	70代	18	22.2	66.7	-	-	55.6	11.1	-	-	-
	80歳以上	8	37.5	87.5	12.5	-	25.0	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	3	33.3	33.3	33.3	-	66.7	33.3	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	9	-	77.8	-	-	11.1	11.1	-	33.3	-
	清水ヶ丘・金翅地区	28	25.0	75.0	3.6	-	46.4	3.6	-	3.6	-
	煤ヶ谷下地区	17	29.4	70.6	5.9	-	41.2	17.6	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	25.0	25.0	-	-	75.0	-	-	50.0	-

問4 居住する地域はどちらですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「清水ヶ丘・金翅地区」が28.8%で最も多く、「煤ヶ谷中地区」27.7%、「煤ヶ谷上地区」及び「煤ヶ谷下地区」の17.4%、「宮ヶ瀬・札掛地区」4.9%となっている。

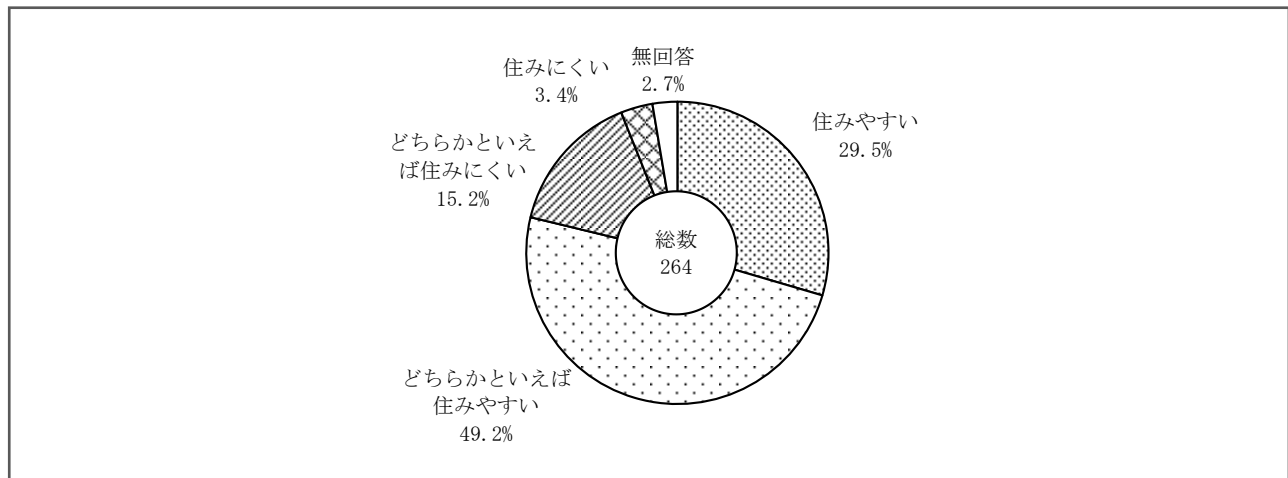
【属性別】

年齢別にみると、40代で「煤ヶ谷中地区」が43.8%と多く、50代では「煤ヶ谷上地区」が34.8%と多い。また、70代及び80歳以上では「清水ヶ丘・金翅地区」が30%台前半と比較的多くなっている。

		全体	煤ヶ谷上地区	煤ヶ谷中地区	清水ヶ丘・金翅地区	煤ヶ谷下地区	宮ヶ瀬・札掛地区	無回答
全体		264	17.4	27.7	28.8	17.4	4.9	3.8
年齢	20代	1	-	-	100.0	-	-	-
	30代	11	18.2	27.3	9.1	36.4	9.1	-
	40代	32	-	43.8	25.0	21.9	9.4	-
	50代	23	34.8	21.7	17.4	13.0	13.0	-
	60代	65	20.0	26.2	29.2	16.9	3.1	4.6
	70代	91	13.2	27.5	34.1	17.6	2.2	5.5
	80歳以上	37	27.0	21.6	32.4	13.5	2.7	2.7

1-2 定住意向

問5-1 家族の皆さんにとって、清川村は住みやすいところですか。（1つを選択）



【全体】

「どちらかといえば住みやすい」が49.2%、「住みやすい」が29.5%となっており、この2つを合計した「住みやすいと感じている人」が全体の約80%を占めている。

「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」はそれぞれ3.4%と15.2%で、「住みにくいと感じている人」は20%弱にとどまっている。

【前回比較】

平成28年度の調査（以下、「前回調査」という。）では選択肢にあった「どちらでもない」が今回はないため、単純な比較はできないが、「住みやすいと感じている人」は前回調査から33.4ポイント増加している一方、「住みにくいと感じている人」は10.8ポイント減少しており、村の生活環境に満足している人が増加している。

	全体	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらでもない※	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
令和4年度	264	29.5	49.2	*	15.2	3.4	2.7
平成28年度	119	16.0	29.4	16.0	26.9	2.5	9.2

※「どちらでもない」は令和4年度の調査では選択肢に含まれていない。

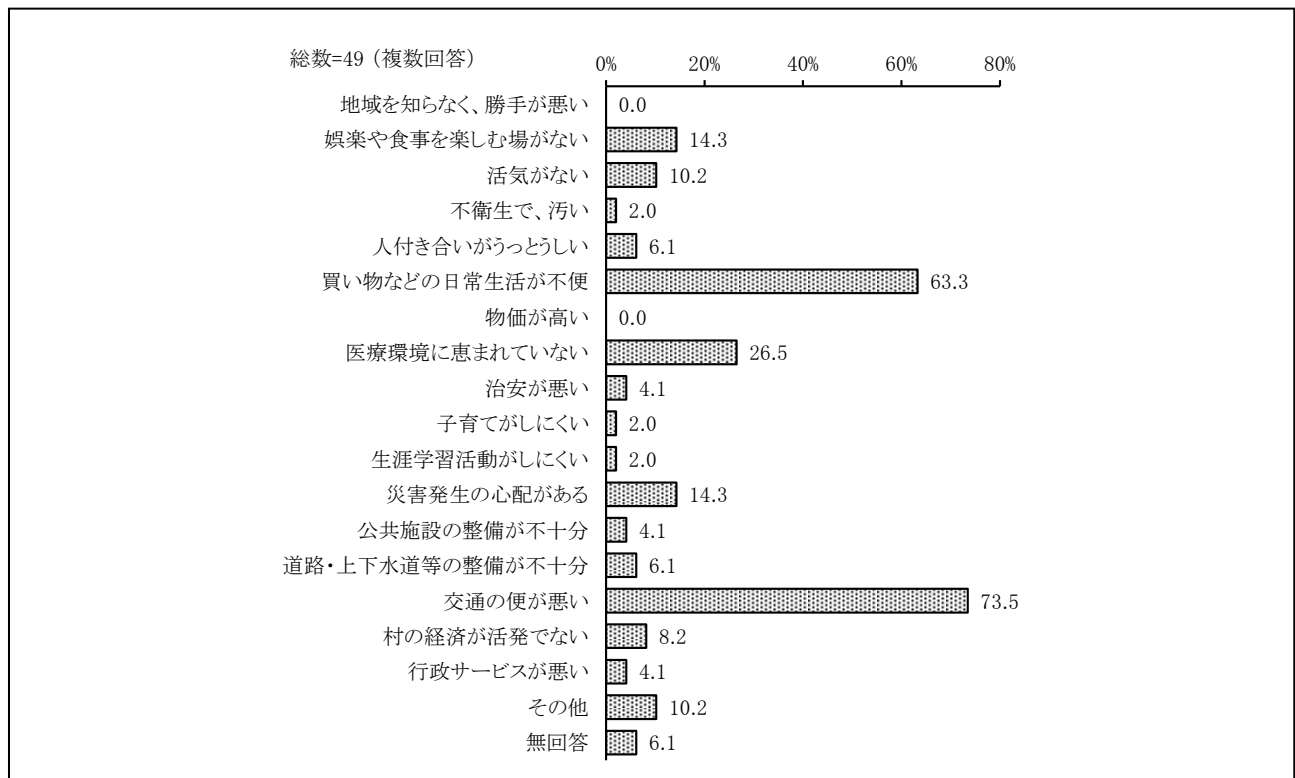
【属性別】

年齢別にみると、50代では「住みやすい」が43.5%となっており、「どちらかといえば住みやすい」との合計である「住みやすいと感じている人」が全体の90%以上と多く、最も住みやすさを感じている年齢層である。一方、40代は「住みやすい」が28.1%、「どちらかといえば住みやすい」も40.6%で、「住みやすいと感じている人」は68.8%と全年齢層で最も少なくなっている。

地区別にみると、「住みやすいと感じている人」は煤ヶ谷中地区で82.2%と多い一方、宮ヶ瀬・札掛地区では「住みにくい」が15.4%と多く、「住みやすいと感じている人」も69.2%と少なくなっている。

		全体	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
	全体	264	29.5	49.2	15.2	3.4	2.7
年齢	20代	1	-	100.0	-	-	-
	30代	11	36.4	45.5	18.2	-	-
	40代	32	28.1	40.6	21.9	6.3	3.1
	50代	23	43.5	47.8	4.3	4.3	-
	60代	65	26.2	53.8	15.4	3.1	1.5
	70代	91	25.3	53.8	16.5	2.2	2.2
	80歳以上	37	29.7	43.2	13.5	5.4	8.1
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	32.6	45.7	15.2	4.3	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	35.6	46.6	13.7	2.7	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	26.3	52.6	18.4	1.3	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	19.6	58.7	15.2	2.2	4.3
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	30.8	38.5	7.7	15.4	7.7

問5-2 問5-1で、「3. どちらかといえば住みにくい」「4. 住みにくい」と選んだ方にお伺いします。そのように思う理由は何ですか。該当するもの3つを選んでください。



【全体】

「交通の便が悪い」が 73.5%で最も多く、「買い物などの日常生活が不便」が 63.3%で続いている。「医療環境に恵まれていない」も 26.5%と比較的多い。

【前回比較】

前回調査とは選択肢の違うものがあるため、単純な比較はできないが、大きな変化があったのは、「買い物などの日常生活が不便」と「交通の便が悪い」で、「買い物などの日常生活が不便」は 23.5 ポイント減少、「交通の便が悪い」（前回調査では「通勤通学に不便」と「都会に出るのが不便」の 2 つの選択肢で実施）は 36.3 ポイント増加している。また、「娯楽や食事を楽しむ場がない」では 11.4 ポイント減少、「医療環境に恵まれていない」は 9.4 ポイント増加している。

	全体	地域を知らなく、勝手が悪い	娯楽や食事を楽しむ場がない	活気がない	不衛生で、汚い	人付き合いがうつとしい	買い物などの日常生活が不便	物価が高い	医療環境に恵まれていない	治安が悪い	子育てがしにくい	生涯学習活動がしにくい	災害発生の心配がある	公共施設の整備が不十分	道路・上下水道等の整備が不十分	交通の便が悪い*	村の経済が活発でない	行政サービスが悪い	その他	無回答
令和3年度	49	-	14.3	10.2	2.0	6.1	63.3	-	26.5	4.1	2.0	2.0	14.3	4.1	6.1	73.5	8.2	4.1	10.2	6.1
平成28年度	35	0.0	25.7	17.1	0.0	2.9	88.6	2.9	17.1	0.0	0.0	2.9	8.6	2.9	8.6	37.2	11.4	8.6	22.9	-

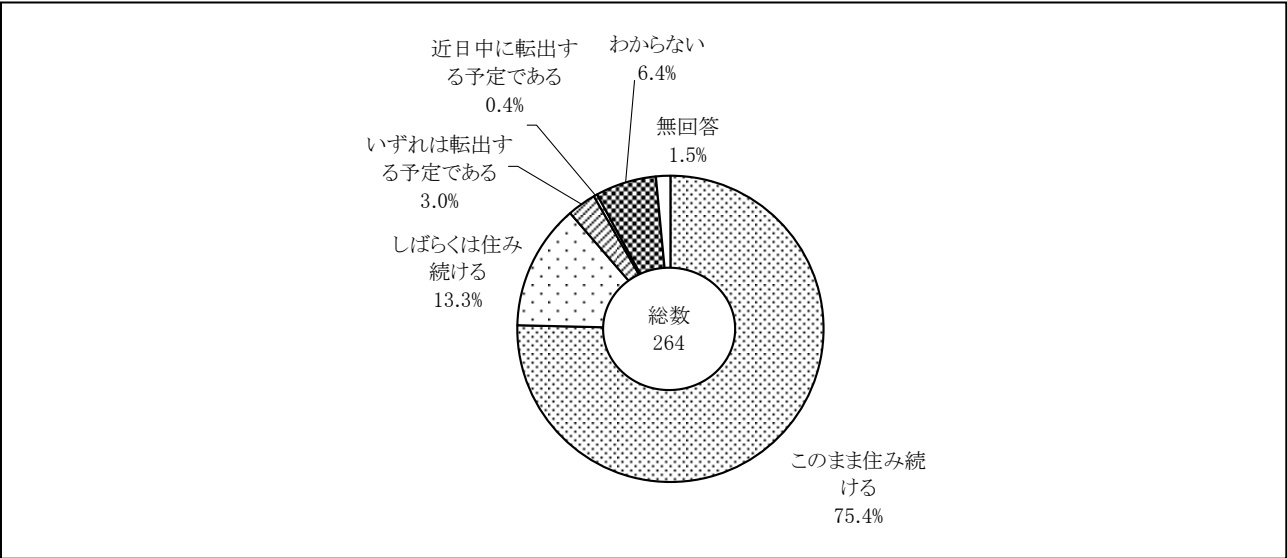
* 「交通の便が悪い」は過年度の調査では「通勤通学に不便」と「都会に出るのが不便」という 2 つの選択肢に分かれていたため合算している。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	地域を知らなく、 勝手が悪い	娯楽や食事を 楽しむ場がない	活気がない	不衛生で、 汚い	人付き合いが うっとうしい	買い物などの 日常生活が不便	物価が高い	医療環境に 恵まれていない	治安が悪い	子育てが しにくい	生涯学習活動が しにくい	災害発生の心配が ある	公共施設の整備が 不十分	道路・上下水道等の 整備が不十分	交通の便が悪い	村の経済が活発で ない	行政サービスが 悪い	その他	無回答
	全体	49	-	14.3	10.2	2.0	6.1	63.3	-	26.5	4.1	2.0	2.0	14.3	4.1	6.1	73.5	8.2	4.1	10.2	6.1
年齢	20代	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	30代	2	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	40代	9	-	11.1	11.1	11.1	-	44.4	-	33.3	-	11.1	-	11.1	11.1	11.1	88.9	22.2	11.1	-	-
	50代	2	-	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	60代	12	-	25.0	8.3	-	-	58.3	-	33.3	8.3	-	-	8.3	-	-	75.0	8.3	-	25.0	8.3
	70代	17	-	5.9	17.6	-	11.8	70.6	-	11.8	-	-	5.9	23.5	5.9	11.8	52.9	5.9	5.9	5.9	11.8
	80歳以上	7	-	-	-	-	-	71.4	-	42.9	-	-	-	14.3	-	-	85.7	-	-	14.3	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	9	-	-	11.1	-	11.1	44.4	-	22.2	11.1	-	-	22.2	-	-	77.8	-	-	33.3	-
	煤ヶ谷中地区	12	-	16.7	8.3	8.3	8.3	50.0	-	33.3	-	-	-	8.3	8.3	8.3	75.0	8.3	-	8.3	8.3
	清水ヶ丘・金翅地区	15	-	33.3	13.3	-	6.7	73.3	-	26.7	6.7	-	-	6.7	6.7	-	86.7	13.3	-	6.7	6.7
	煤ヶ谷下地区	8	-	-	12.5	-	-	87.5	-	25.0	-	-	12.5	25.0	-	12.5	50.0	12.5	25.0	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3

問6 世帯主のあなたは、これからも清川村に住み続けますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「このまま住み続ける」が75.4%で最も多く、「しばらく住み続ける」の13.3%と合わせると88.7%は居住を継続すると回答している。一方、転居の意向は「いずれは転出する予定である」3.0%、「近日中に転居する予定である」0.4%と少ない。

【前回比較】

「このまま住み続ける」は前回調査から6.5ポイント増加している。

	全体	このまま住み続ける	しばらくは住み続ける	いずれは転出する予定である	近日中に転出する予定である	わからない	無回答
令和3年度	264	75.4	13.3	3.0	0.4	6.4	1.5
平成28年度	119	68.9	15.1	2.5	2.5	10.1	0.8

【属性別】

年齢別にみると、「このまま住み続ける」は低年齢層ほど少なくなる傾向がみられ、40代では65.6%、30代では45.5%となっている。

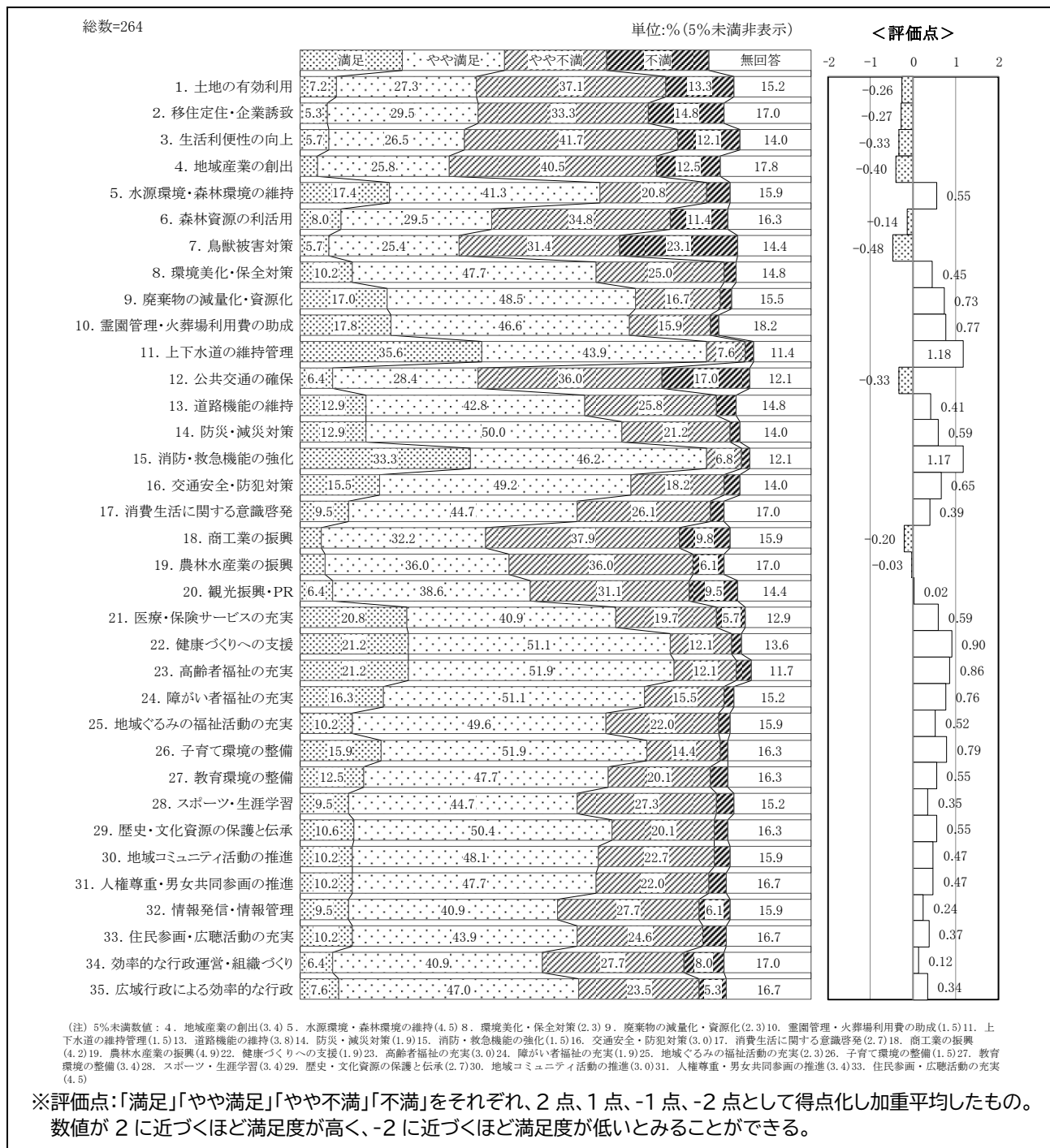
地区別にみると、「このまま住み続ける」は煤ヶ谷上地区で83.8%と多い一方、宮ヶ瀬・札掛地区では69.2%と少なくなっている。

		全体	このまま住み続ける	しばらくは住み続ける	いずれは転出する予定である	近日中に転出する予定である	わからない	無回答
	全体	264	75.4	13.3	3.0	0.4	6.4	1.5
年齢	20代	1	100.0	-	-	-	-	-
	30代	11	45.5	54.5	-	-	-	-
	40代	32	65.6	12.5	9.4	-	9.4	3.1
	50代	23	82.6	4.3	8.7	-	4.3	-
	60代	65	70.8	16.9	3.1	-	6.2	3.1
	70代	91	80.2	11.0	1.1	1.1	6.6	-
	80歳以上	37	83.8	5.4	-	-	8.1	2.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	84.8	6.5	2.2	-	6.5	-
	煤ヶ谷中地区	73	74.0	13.7	2.7	-	9.6	-
	清水ヶ丘・金翅地区	76	72.4	19.7	2.6	-	5.3	-
	煤ヶ谷下地区	46	76.1	6.5	4.3	2.2	6.5	4.3
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	69.2	15.4	7.7	-	-	7.7

1-3 村づくりへの取組

問7 村政全般（暮らし）についての「満足度」と「重要度」をお伺いします。

(1) 満足度



【全体】

「満足」が最も多いのは〈上下水道の維持管理〉の35.6%で、「消防・救急機能の強化」も33.3%と多い。一方、「不満」は〈鳥獣被害対策〉で23.1%と多いほか、〈公共交通の確保〉でも17.0%と多くなっている。

後期基本計画の体系別にみると、『1 自然と調和した住みよい村づくりの推進』の『1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり』に関連する1~4の項目で評価点がマイナス

になっているほか、〈森林資源の利活用〉、〈公共交通の確保〉、〈商工業の振興〉でも評価点がマイナスになっている。

【属性別】

年齢別にみると、50代及び80代では全般的に評価が高い傾向がみられる。

地区別にみると、清水ヶ丘・金翅地区では、〈水源環境・森林環境の維持〉、〈歴史・文化資源の保護と伝承〉、〈地域コミュニティ活動の推進〉などの評価が高く、煤ヶ谷下地区では〈人権尊重・男女共同参画の推進〉などの評価が高い。

		年齢別								地区別				
		全体	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	煤ヶ谷上地区	煤ヶ谷中地区	清水ヶ丘・金翅地区	煤ヶ谷下地区	宮ヶ瀬・札掛地区
	サンプル数	264	1	11	32	23	65	91	37	46	73	76	46	13
1	土地の有効利用	-0.26	1.00	-0.44	-0.07	-0.19	-0.37	-0.47	0.38	-0.51	-0.34	-0.09	-0.17	-0.42
2	移住定住・企業誘致	-0.27	1.00	-0.13	0.28	0.00	-0.47	-0.67	0.36	-0.26	-0.18	-0.27	-0.22	-0.45
3	生活利便性の向上	-0.33	1.00	0.00	-0.43	-0.05	-0.20	-0.68	0.20	-0.13	-0.13	-0.25	-0.59	-0.92
4	地域産業の創出	-0.40	1.00	-0.38	0.03	-0.05	-0.53	-0.58	-0.36	-0.50	-0.23	-0.43	-0.38	-0.45
5	水源環境・森林環境の維持	0.55	1.00	0.63	1.00	0.52	0.33	0.52	0.72	0.15	0.65	0.79	0.44	0.42
6	森林資源の利活用	-0.14	1.00	-0.25	0.52	0.05	-0.29	-0.33	-0.16	-0.54	0.02	0.06	-0.15	-0.25
7	鳥獣被害対策	-0.48	1.00	-0.22	-0.28	-0.10	-0.43	-0.79	-0.27	-1.08	-0.38	-0.04	-0.82	-0.25
8	環境美化・保全対策	0.45	1.00	0.70	0.55	1.14	0.37	0.21	0.63	0.53	0.47	0.51	0.34	0.50
9	廃棄物の減量化・資源化	0.73	1.00	1.38	0.90	0.86	0.62	0.55	1.04	0.82	0.76	0.66	0.77	1.00
10	霊園管理・火葬場利用費の助成	0.77	1.00	0.75	0.96	0.81	0.67	0.73	0.88	0.68	0.88	0.69	0.81	1.10
11	上下水道の維持管理	1.18	2.00	1.38	1.27	1.45	1.14	1.01	1.37	0.98	1.08	1.35	1.19	1.50
12	公共交通の確保	-0.33	1.00	-0.56	-0.31	-0.67	-0.48	-0.36	0.28	-0.38	-0.08	-0.37	-0.34	-0.82
13	道路機能の維持	0.41	1.00	0.75	0.23	0.81	0.28	0.32	0.76	0.32	0.53	0.42	0.32	0.75
14	防災・減災対策	0.59	1.00	0.50	0.48	0.90	0.54	0.47	1.00	0.54	0.72	0.66	0.33	0.33
15	消防・救急機能の強化	1.17	1.00	0.88	1.07	1.19	1.16	1.19	1.27	1.30	1.18	1.19	1.12	0.55
16	交通安全・防犯対策	0.65	1.00	0.88	0.59	0.67	0.46	0.78	0.63	0.61	0.70	0.68	0.58	0.45
17	消費生活に関する意識啓発	0.39	1.00	0.88	0.27	0.62	0.27	0.36	0.57	0.47	0.37	0.42	0.32	0.18
18	商工業の振興	-0.20	1.00	0.00	-0.23	0.19	-0.41	-0.23	-0.05	-0.24	-0.23	-0.10	-0.13	-0.55
19	農林水産業の振興	-0.03	1.00	0.38	0.00	0.38	-0.10	-0.23	0.26	-0.05	-0.10	0.09	0.05	-0.09
20	観光振興・PR	0.02	2.00	0.11	0.17	0.19	0.06	-0.17	0.17	0.30	-0.02	-0.15	0.05	0.20
21	医療・保険サービスの充実	0.59	1.00	-0.38	0.43	0.33	0.55	0.70	1.08	0.54	0.57	0.56	0.56	0.55
22	健康づくりへの支援	0.90	1.00	0.67	0.70	1.10	0.80	0.90	1.26	0.87	0.85	0.94	0.81	1.18
23	高齢者福祉の充実	0.86	1.00	1.13	0.73	1.10	0.82	0.73	1.19	0.69	0.98	0.82	0.83	1.00
24	障がい者福祉の充実	0.76	1.00	0.89	0.79	0.81	0.74	0.62	1.00	0.76	0.73	0.75	0.71	1.00
25	地域ぐるみの福祉活動の充実	0.52	1.00	1.00	0.53	0.90	0.48	0.34	0.77	0.68	0.41	0.51	0.48	0.70
26	子育て環境の整備	0.79	2.00	0.38	0.80	0.95	0.68	0.78	1.10	1.00	0.78	0.85	0.64	0.40
27	教育環境の整備	0.55	1.00	0.13	0.17	0.90	0.35	0.63	1.10	0.53	0.58	0.77	0.33	-0.10
28	スポーツ・生涯学習	0.35	1.00	0.38	0.00	0.67	0.35	0.21	0.95	0.36	0.35	0.42	0.31	0.27
29	歴史・文化資源の保護と伝承	0.55	1.00	1.00	0.40	0.81	0.51	0.51	0.55	0.47	0.41	0.70	0.51	0.70
30	地域コミュニティ活動の推進	0.47	1.00	0.25	0.87	0.76	0.33	0.33	0.58	0.32	0.37	0.64	0.56	0.10
31	人権尊重・男女共同参画の推進	0.47	1.00	0.63	0.83	0.76	0.44	0.26	0.59	0.37	0.40	0.39	0.92	0.27
32	情報発信・情報管理	0.24	1.00	0.00	0.37	0.57	0.11	0.25	0.14	0.21	0.22	0.15	0.37	0.27
33	住民参画・広聴活動の充実	0.37	1.00	0.13	0.73	0.81	0.23	0.16	0.64	0.24	0.35	0.42	0.34	0.40
34	効率的な行政運営・組織づくり	0.12	2.00	0.00	0.17	0.71	-0.02	0.00	0.43	0.08	0.00	0.21	0.24	-0.40
35	広域行政による効率的な行政	0.34	1.00	0.25	0.30	0.67	0.17	0.30	0.67	0.43	0.15	0.45	0.32	0.00

問7の選択肢と第3次清川村総合計画後期基本計画の基本施策との対応関係

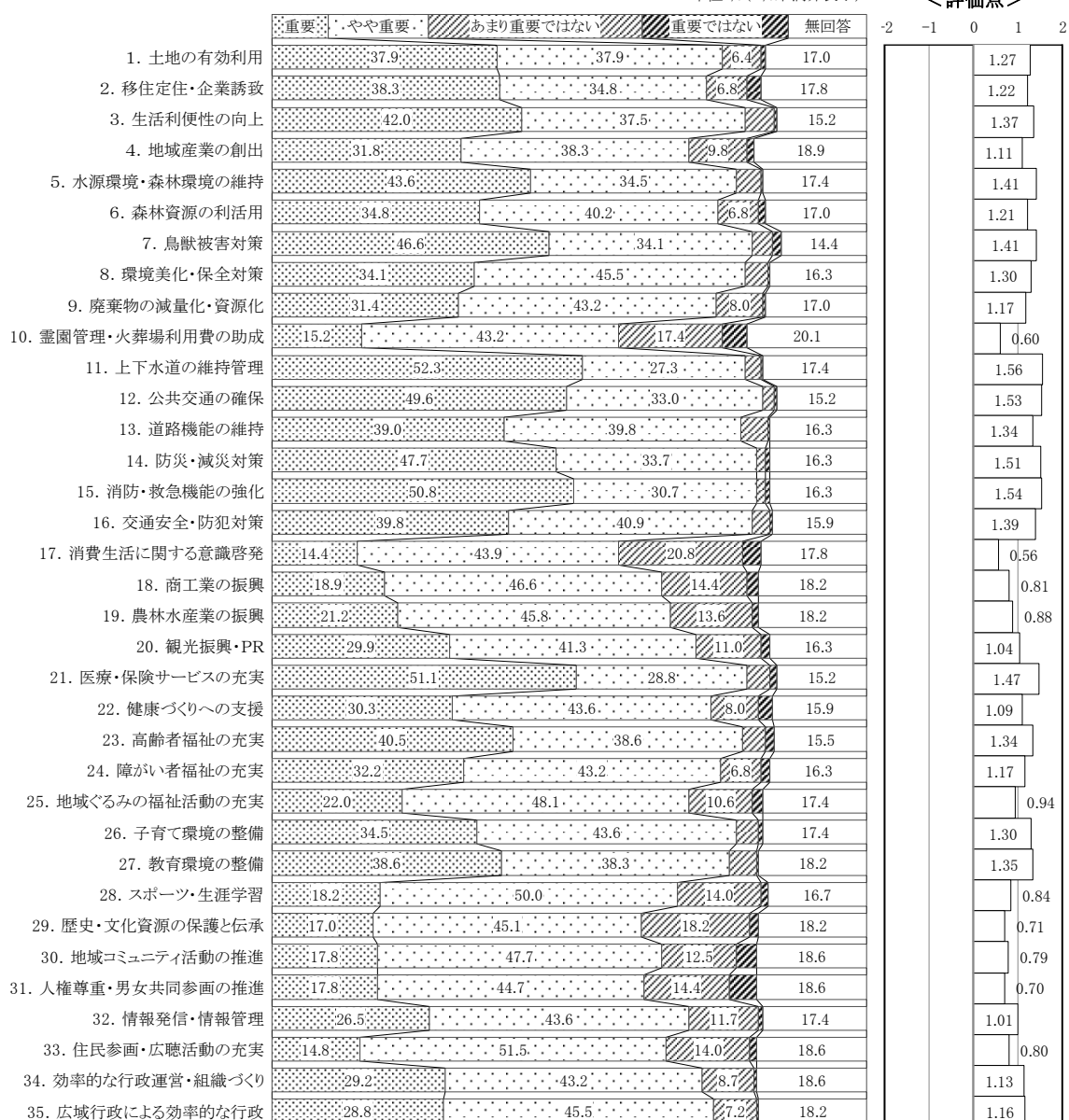
第3次清川村総合計画後期基本計画の体系			問7の選択肢
施策の大綱	基本目標	基本施策	
1 自然と調和した住みよい村づくりの推進	1 いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる村づくり	1 土地の有効利用と地域機能の維持	1. 土地の有効利用
		2 宅地開発や企業誘致の推進	2. 移住定住・企業誘致
		3 サテライトオフィスの整備の推進	
		4 移住・定住促進施策の充実	3. 生活利便性の向上
		5 生活利便性の向上	
		6 村の資源を活かした地域産業の創出	4. 地域産業の創出
	2 自然を守り、次世代に引き継ぐ村づくり	1 豊かな水源環境の維持	5. 水源環境・森林環境の維持
		2 森林資源の利活用	6. 森林資源の利活用
		3 次世代に向けた森林資源の維持	5. 水源環境・森林環境の維持
		4 鳥獣被害等防止対策の実施	7. 鳥獣被害対策
	3 環境にやさしく快適で暮らしやすい村づくり	1 ごみの減量化・資源化の促進	9. 廃棄物の減量化・資源化
		2 環境美化及び不法投棄防止対策の実施	8. 環境美化・保全対策
		3 宮ヶ瀬霊園の適正管理と火葬場利用費の助成	10. 霊園管理・火葬場利用費の助成
		4 安全でおいしい水の安定供給	11. 上下水道の維持管理
		5 下水道の適正な維持管理と水質の保全	
		6 再生可能エネルギーの普及・活用	—
	4 暮らしを支える利便性の高い村づくり	1 公共交通の確保・充実	12. 公共交通の確保
		2 幹線道路の整備	13. 道路機能の維持
		3 生活道路の整備	
	5 地域ぐるみの安全・安心な村づくり	1 災害に強い地域基盤の整備	14. 防災・減災対策
		2 災害を防ぎ被害を減らす施設の機能強化	
		3 新たな危機事象に対応できる危機管理体制の機能強化	15. 消防・救急機能の強化
		4 地域消防力の強化	
		5 交通安全意識の普及啓発	16. 交通安全・防犯対策
		6 地域ぐるみの防犯体制の強化・充実	
		7 消費生活に関する意識啓発の強化	17. 消費生活に関する意識啓発
2 地域の特性を活かした産業振興と活性化の推進	1 農林商工業の活性化による元気な村づくり	1 地産地消の推進	19. 農林水産業の振興
		2 基幹農業への支援	
		3 循環型林業の維持・活性化	18. 商工業の振興
		4 事業者の支援	
	2 観光資源を活用した魅力あふれる村づくり	1 宮ヶ瀬湖を中心とした観光の振興	20. 観光振興・PR
		2 農林商工業と観光業の連携強化	
		3 広域連携による滞在型の観光の促進	
		4 村の観光資源のPR	
3 生涯を健康で安心して住み続けられる村づくりの推進	1 健康で明るく暮らせる村づくり	1 疫病予防・感染症予防の活動の実施	22. 健康づくりへの支援
		2 総合的な健康づくりの実施・充実	
		3 地域医療サービスの充実	21. 医療・保険サービスの充実
		4 各種保険サービスの充実	
	2 だれもが安心して生活できる村づくり	1 高齢化社会に備えた体制の整備	23. 高齢者福祉の充実
		2 障がいのある人が安心して暮らせる環境の整備	24. 障がい者福祉の充実
		3 地域ぐるみの福祉活動の充実	25. 地域ぐるみの福祉活動の充実
4 誇りを持って村を支える人づくりの推進	1 将来を担う子どもが輝く村づくり	1 子どもが健やかに育つ環境の整備	26. 子育て環境の整備
		2 母と子の健康づくりの促進	
		3 地域で取り組む子育て環境の充実	
		4 青少年の健全育成	
		5 保育園の充実	
	2 心豊かな清川っ子を育む村づくり	1 幼稚園の充実	27. 教育環境の整備
		2 学校教育の充実	
		3 地域・家庭との連携による幼児教育・学校教育の向上	
	3 生涯にわたり学び合える村づくり	4 学校教育環境の整備	28. スポーツ・生涯学習
		1 生涯学習・生涯スポーツの環境整備	
5 村民と行政が築く村の推進	1 村民みんなで築く自治の村づくり	2 村の歴史・文化資源の保護と伝承	29. 歴史・文化資源の保護と伝承
		1 地域コミュニティの育成・支援	30. 地域コミュニティ活動の推進
		2 地域コミュニティによる地域課題の解決の支援	
		3 村民が行政に参加しやすい環境の整備	31. 人権尊重・男女共同参画の推進
		4 人権の尊重と男女共同参画の推進	
		5 広報広聴活動の充実	33. 住民参画・広聴活動の充実
	2 時代の変化に対応した村政による村づくり	6 情報管理の遵守と情報提供の充実	32. 情報発信・情報管理
		1 効率的で効果的な行財政運営の推進	34. 効率的な行政運営・組織づくり
		2 新たな時代に対応できる組織体制の充実	
		3 広域行政による効率的な行政運営の維持	35. 広域行政による効率的な行政

(2) 重要度

総数=264

単位:% (5%未満非表示)

<評価点>



(注)5%未満数値:1.土地の有効利用(0.8)2.移住定住・企業誘致(2.3)3.生活利便性の向上(4.9)4.地域産業の創出(1.1)5.水源環境・森林環境の維持(4.2)6.森林資源の利活用(1.1)7.鳥獣被害対策(3.4)8.環境美化・保全対策(3.8)9.廃棄物の減量化・資源化(0.4)10.霊園管理・火葬場利用費の助成(4.2)11.上下水道の維持管理(2.7)12.公共交通の確保(1.9)13.道路機能の維持(4.5)14.防災・減災対策(1.5)15.消防・救急機能の強化(1.5)16.交通安全・防犯対策(3.0)17.消費生活に関する意識啓発(3.0)18.商工業の振興(1.9)19.農林水産業の振興(1.1)20.観光振興・PR(1.5)21.医療・保険サービスの充実(3.8)22.健康づくりへの支援(2.3)23.高齢者福祉の充実(3.8)24.障がい者福祉の充実(1.5)25.地域ぐるみの福祉活動の充実(1.9)26.子育て環境の整備(3.8)27.教育環境の整備(4.5)28.スポーツ・生涯学習(1.1)29.歴史・文化資源の保護と伝承(1.5)30.地域コミュニティ活動の推進(3.4)31.人権尊重・男女共同参画の推進(4.5)32.情報発信・情報管理(0.8)33.住民参画・広聴活動の充実(1.1)34.効率的な行政運営・組織づくり(0.4)35.広域行政による効率的な行政(0.4)

※評価点:「重要」「やや重要」「あまり重要でない」「重要ではない」をそれぞれ、2点、1点、-1点、-2点として得点化し加重平均したもの。数値が2に近づくほど重要度が高く、-2に近づくほど重要度が低いとみることができる。

【全体】

重要度については、すべての項目の満足度が0以上であり、満足度に比べるとばらつきが少ない。「重要」が最も多いのは「満足」と同じ〈水道の維持管理〉の52.3%で、〈医療・保険サービスの充実〉、〈消防・救急機能の強化〉も50%を超えている。

後期基本計画の体系別にみると、『1 自然と調和した住みよい村づくりの推進』の『3 環境にやさしく快適で暮らしやすい村づくり』(選択肢8~11)や『4 暮らしを支える利便性の高い村づくり』(選択肢12・13)、『5 地域ぐるみの安全・安心な村づくり』(選択肢14~17)に関連する項目で評価点が1.5以上の項目が多く、重要度が高くなっている。

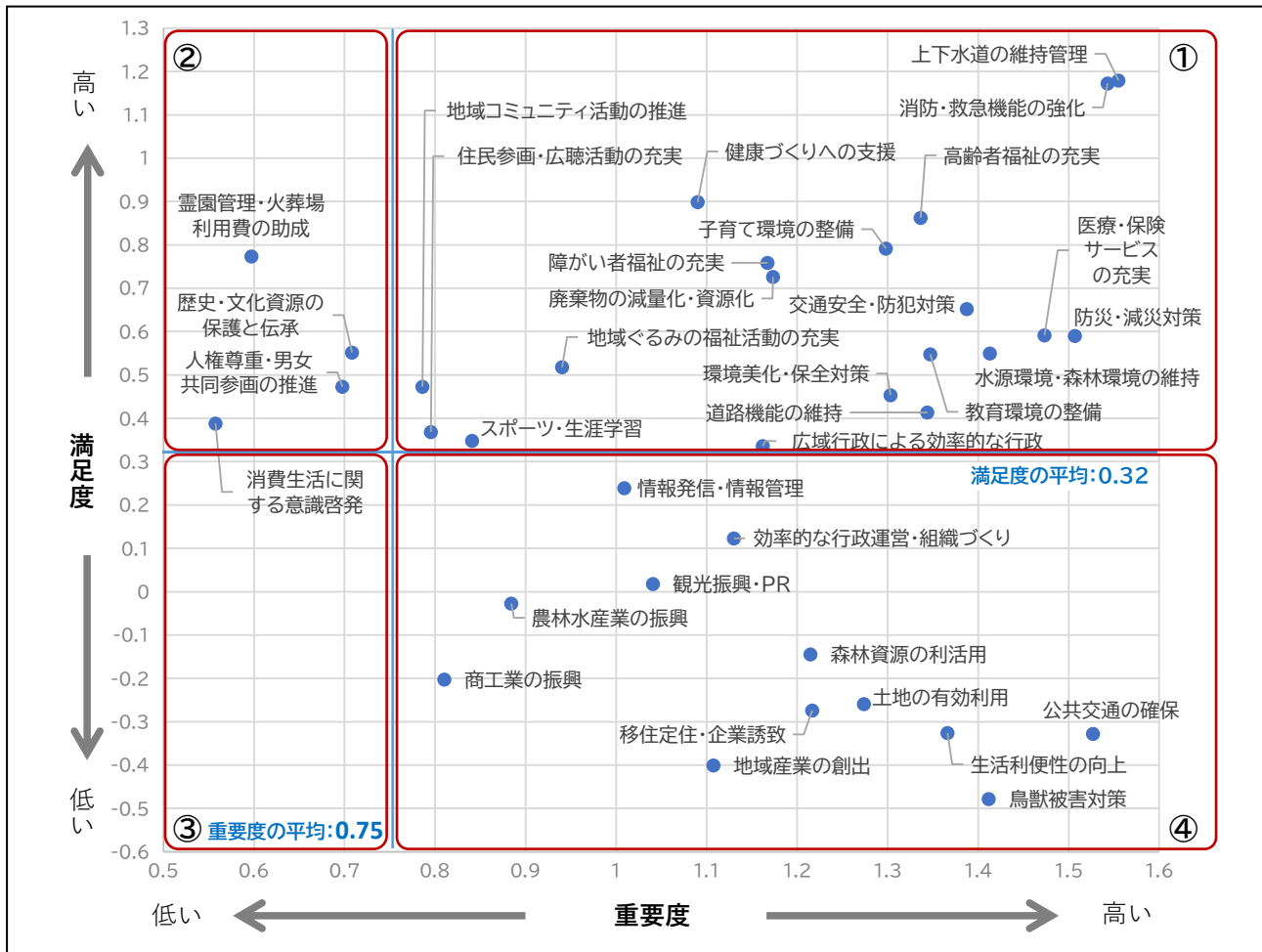
【属性別】

年齢別にみると、保健・福祉に関連する項目は高年層ほど重要度が高い傾向がみられる。

地区別にみると、煤ヶ谷中地区では、生涯学習やスポーツ、コミュニティ、情報発信などの分野での項目で重要度が低い傾向がみられる。

	全体	年齢別								地区別				
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	煤ヶ谷上地区	煤ヶ谷中地区	清水ヶ丘・金翅地区	煤ヶ谷下地区	宮ヶ瀬・札掛地区	
サンプル数	264	1	11	32	23	65	91	37	46	73	76	46	13	
1 土地の有効利用	1.27	2.00	1.56	1.11	1.33	1.25	1.36	1.16	1.31	1.09	1.32	1.38	1.50	
2 移住定住・企業誘致	1.22	2.00	1.11	1.25	0.76	1.32	1.28	1.09	1.03	1.23	1.21	1.36	1.18	
3 生活利便性の向上	1.37	2.00	1.22	1.41	1.19	1.46	1.40	1.21	1.19	1.36	1.35	1.56	1.17	
4 地域産業の創出	1.11	1.00	0.75	1.04	1.00	1.28	1.05	1.27	1.00	1.20	1.15	0.89	1.45	
5 水源環境・森林環境の維持	1.41	1.00	1.25	1.57	1.14	1.41	1.41	1.52	1.25	1.29	1.50	1.59	1.50	
6 森林資源の利活用	1.21	1.00	1.63	1.29	0.95	1.12	1.24	1.33	1.16	1.04	1.25	1.44	1.17	
7 鳥獣被害対策	1.41	1.00	0.44	1.61	1.43	1.48	1.35	1.56	1.38	1.31	1.41	1.69	1.33	
8 環境美化・保全対策	1.30	1.00	1.10	1.39	1.43	1.23	1.30	1.40	1.16	1.27	1.36	1.45	1.25	
9 廃棄物の減量化・資源化	1.17	2.00	0.38	1.04	1.00	1.17	1.23	1.52	1.13	1.13	1.19	1.34	0.92	
10 霊園管理・火葬場利用費の助成	0.60	1.00	0.00	0.32	0.57	0.47	0.72	1.05	0.66	0.40	0.62	0.65	0.80	
11 上下水道の維持管理	1.56	2.00	0.63	1.59	1.38	1.57	1.64	1.67	1.43	1.46	1.75	1.58	1.50	
12 公共交通の確保	1.53	2.00	1.33	1.75	1.76	1.46	1.53	1.40	1.50	1.38	1.61	1.62	1.58	
13 道路機能の維持	1.34	2.00	1.50	1.38	1.24	1.41	1.27	1.44	1.39	1.14	1.44	1.50	1.50	
14 防災・減災対策	1.51	1.00	0.88	1.31	1.62	1.53	1.56	1.63	1.57	1.25	1.63	1.64	1.50	
15 消防・救急機能の強化	1.54	2.00	0.75	1.21	1.67	1.58	1.63	1.71	1.65	1.32	1.64	1.62	1.45	
16 交通安全・防犯対策	1.39	1.00	1.38	1.21	1.57	1.36	1.41	1.44	1.32	1.33	1.39	1.56	1.50	
17 消費生活に関する意識啓発	0.56	1.00	0.25	0.24	0.62	0.68	0.45	1.00	0.81	0.29	0.42	0.84	0.58	
18 商工業の振興	0.81	1.00	0.25	0.76	0.76	1.02	0.72	0.90	0.81	0.54	0.91	0.86	1.09	
19 農林水産業の振興	0.88	1.00	0.00	0.83	0.81	1.00	0.82	1.30	0.86	0.72	0.92	0.97	0.91	
20 観光振興・PR	1.04	2.00	0.89	1.17	0.95	1.23	0.92	0.95	0.87	0.93	1.19	1.03	1.18	
21 医療・保険サービスの充実	1.47	2.00	1.00	1.41	1.62	1.43	1.55	1.48	1.29	1.36	1.64	1.59	1.50	
22 健康づくりへの支援	1.09	1.00	0.38	0.86	0.90	1.02	1.23	1.52	1.11	0.79	1.28	1.18	1.17	
23 高齢者福祉の充実	1.34	1.00	0.63	1.14	1.52	1.17	1.48	1.68	1.40	1.10	1.46	1.38	1.50	
24 障がい者福祉の充実	1.17	1.00	0.56	0.76	1.48	1.07	1.31	1.57	1.32	0.77	1.31	1.24	1.50	
25 地域ぐるみの福祉活動の充実	0.94	1.00	0.13	0.66	1.29	0.90	1.00	1.29	1.11	0.73	0.97	1.00	1.18	
26 子育て環境の整備	1.30	2.00	1.25	1.24	1.52	1.20	1.28	1.45	1.32	1.25	1.28	1.42	1.33	
27 教育環境の整備	1.35	2.00	1.38	1.34	1.43	1.39	1.22	1.50	1.42	1.23	1.33	1.42	1.82	
28 スポーツ・生涯学習	0.84	1.00	1.00	0.76	0.76	0.77	0.82	1.27	0.86	0.56	0.94	1.13	0.58	
29 歴史・文化資源の保護と伝承	0.71	1.00	0.38	0.66	0.57	0.66	0.68	1.29	0.69	0.35	0.75	1.05	1.27	
30 地域コミュニティ活動の推進	0.79	1.00	0.75	0.66	0.48	0.81	0.75	1.30	0.82	0.60	0.84	0.86	1.36	
31 人権尊重・男女共同参画の推進	0.70	1.00	0.00	0.43	0.62	0.66	0.78	1.14	0.78	0.46	0.75	0.92	0.82	
32 情報発信・情報管理	1.01	1.00	1.00	1.11	0.76	1.08	0.93	1.18	1.03	0.77	1.16	1.11	1.45	
33 住民参画・広聴活動の充実	0.80	1.00	0.63	0.89	0.43	0.75	0.77	1.25	0.72	0.54	0.96	0.94	1.18	
34 効率的な行政運営・組織づくり	1.13	2.00	1.13	1.32	0.95	1.14	1.07	1.26	1.14	1.05	1.17	1.16	1.55	
35 広域行政による効率的な行政	1.16	1.00	1.13	1.32	0.90	1.18	1.10	1.44	1.17	1.04	1.31	1.11	1.45	

(3) 満足度・重要度の相関



【グラフの見方】

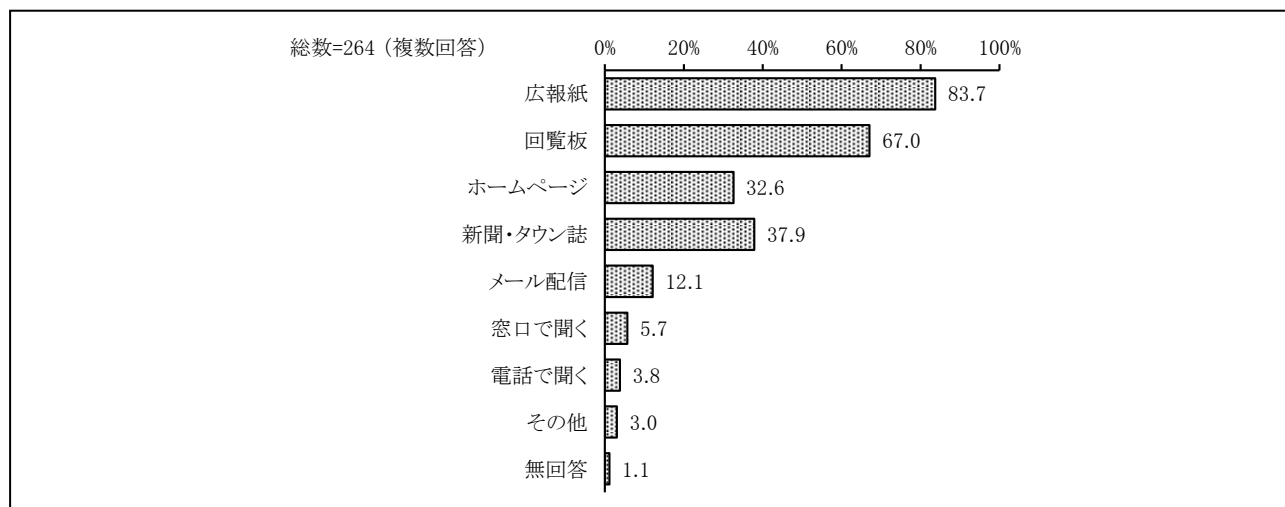
- 全施策の満足度・重要度の平均値(満足度: 0.32、重要度: 0.75 で交差するグラフ上の青線が平均値)を基準に、横線の満足度の平均: 0.32 の線よりも上側に位置する視察は満足度が高い施策、縦線の重要度の平均: 0.75 よりも右側に位置する施策は重要度が高い施策とみることができる。
- グラフ上の4つのエリアは次のように分析できる。
 - ①満足度: 高/重要度: 高(グラフ右上) = 重点的に現状維持を図る施策 【重点維持施策】
 - ②満足度: 高/重要度: 低(グラフ左上) = 現状維持を図る施策 【現状維持施策】
 - ③満足度: 低/重要度: 低(グラフ左下) = 改善の必要性がある施策 【要改善施策】
 - ④満足度: 低/重要度: 高(グラフ右下) = 重点的に改善を図る施策 【重点改善施策】
- 最も力を入れる必要があるのは④の満足度: 低/重要度: 高の重点改善施策である。次いで力を入れるのは①の満足度: 高/重要度: 高の重点維持施策である(村民が重要に思っている施策の満足度を落とさないことが求められる)。②現状維持施策と③要改善施策については、どちらを優先するかは難しい面があり、政策的な判断による。

4つのエリアと施策との対応

区分	主な該当施策
④重点改善施策	公共交通の確保/生活利便性の向上/土地の有効利用/移住定住・企業誘致/鳥獣被害対策/森林資源の利活用/地域産業の創出/商工業の振興/農林水産業の振興/観光振興・PR/情報発信・情報管理/効率的な行政運営・組織づくり
①重点維持施策	上下水道の維持管理/廃棄物の減量化・資源化/防災・減災対策/消防・救急機能の強化/交通安全・防犯対策/医療・保険サービスの充実/健康づくりへの支援/高齢者福祉の充実/障がい者福祉の充実/子育て環境の整備 など
②現状維持施策	歴史・文化資源の保護と伝承/人権尊重・男女共同参画の推進 など
③要改善施策	※該当施策なし

1-4 情報通信

問8 あなたは、清川村の情報をどのように得ていますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「広報紙」が 83.7%で最も多く、「回覧板」67.0%、「新聞・タウン誌」37.9%と続いており、現状では紙媒体で情報を得ている人が多くなっている。また、「ホームページ」は 32.6%、「メール配信」は 12.1%となっている。

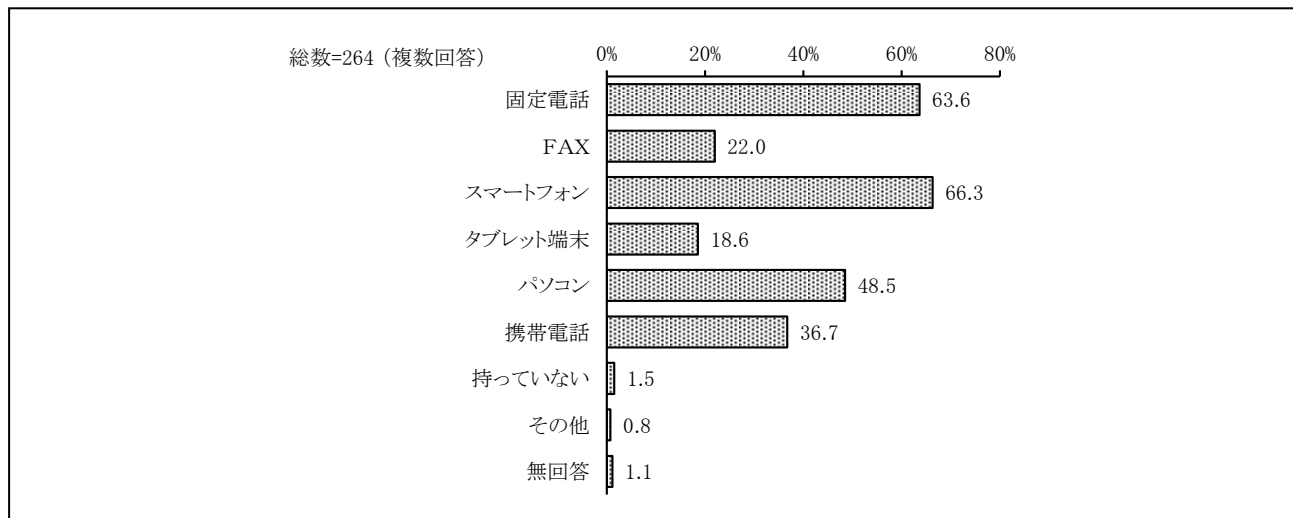
【属性別】

年齢別にみると、「ホームページ」、「メール配信」は 40 代を中心に比較的若い年齢層で多い傾向がみられ、「回覧板」、「新聞・タウン誌」は高齢層ほど多い傾向がみられる。

地区別にみると、煤ヶ谷下地区では「広報紙」、「回覧板」、「新聞・タウン誌」が他地区に比べて少ない。

		全体	広報紙	回覧板	ホームページ	新聞・タウン誌	メール配信	窓口で聞く	電話で聞く	その他	無回答
全体		264	83.7	67.0	32.6	37.9	12.1	5.7	3.8	3.0	1.1
年齢	20代	1	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	30代	11	100.0	27.3	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	-	-
	40代	32	71.9	65.6	56.3	25.0	21.9	6.3	3.1	3.1	-
	50代	23	73.9	60.9	47.8	26.1	13.0	4.3	4.3	-	-
	60代	65	87.7	64.6	43.1	33.8	12.3	6.2	-	3.1	-
	70代	91	86.8	72.5	24.2	48.4	11.0	4.4	3.3	4.4	3.3
	80歳以上	37	78.4	75.7	2.7	45.9	8.1	8.1	10.8	2.7	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	87.0	71.7	26.1	34.8	8.7	4.3	6.5	-	-
	煤ヶ谷中地区	73	79.5	67.1	37.0	45.2	11.0	6.8	6.8	1.4	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	92.1	72.4	31.6	40.8	11.8	5.3	2.6	1.3	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	69.6	58.7	34.8	26.1	17.4	2.2	-	8.7	2.2
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	84.6	38.5	38.5	38.5	15.4	7.7	-	7.7	-

問9 あなたはどのような情報通信機器を利用していますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「スマートフォン」が 66.3%で最も多く、「固定電話」が 63.6%が続いている。「パソコン」48.5%、「携帯電話」36.7%、「タブレット端末」18.6%なども所有者が比較的多く、デジタル通信機器の普及が進んでいる。

【属性別】

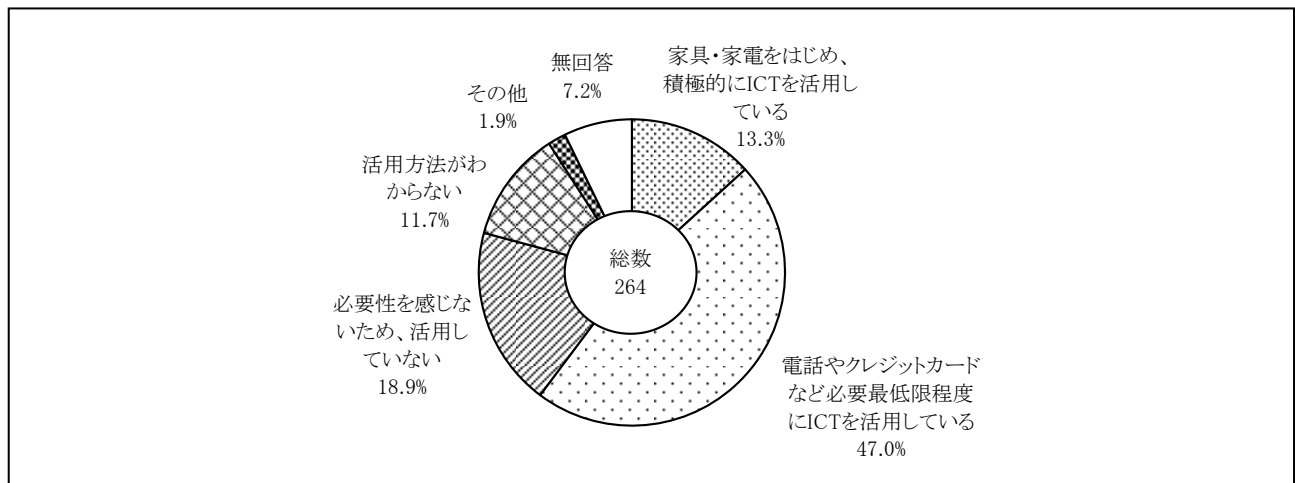
年齢別にみると、「スマートフォン」、「パソコン」、「タブレット端末」は低年齢層ほど多い傾向がみられる。70代でも「スマートフォン」が 54.9%、「パソコン」が 49.5%とほぼ半数が所有しており、比較的高年齢層でもデジタル通信機器が普及していることがうかがわれる。

また、「固定電話」は高年齢層ほど多く、40代では 46.9%と半数以下となっている。

地区別にみると、「スマートフォン」は煤ヶ谷下地区などでは多く、「固定電話」は煤ヶ谷上地区で多くなっている。

		全 体	固 定 電 話	F A X	ス マ ー ト フ ォ ン	タ ブ レ ッ ト 端 末	パ ソ コ ン	携 帯 電 話	持 っ て い な い	そ の 他	無 回 答
	全体	264	63.6	22.0	66.3	18.6	48.5	36.7	1.5	0.8	1.1
年 齢	20代	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	30代	11	27.3	-	100.0	63.6	72.7	18.2	-	-	-
	40代	32	46.9	15.6	93.8	28.1	62.5	12.5	-	-	-
	50代	23	56.5	17.4	91.3	39.1	52.2	39.1	-	-	-
	60代	65	67.7	30.8	78.5	24.6	56.9	26.2	-	-	1.5
	70代	91	68.1	25.3	54.9	5.5	49.5	47.3	3.3	1.1	2.2
	80歳以上	37	75.7	13.5	29.7	8.1	10.8	54.1	2.7	2.7	-
居 住 地 区	煤ヶ谷上地区	46	80.4	26.1	65.2	15.2	34.8	28.3	2.2	-	-
	煤ヶ谷中地区	73	67.1	23.3	57.5	24.7	47.9	49.3	4.1	1.4	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	65.8	23.7	69.7	13.2	55.3	36.8	-	-	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	43.5	19.6	78.3	19.6	50.0	26.1	-	-	2.2
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	61.5	15.4	84.6	38.5	84.6	23.1	-	7.7	-

問 10 あなたは普段の生活の中で、どの程度 I C T（情報通信技術）を活用していますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「電話やクレジットカードなど必要最低限程度に ICT を活用している」が 47.0%で最も多く、「家具・家電をはじめ、積極的に ICT を活用している」の 13.3%と合わせると 60%以上が ICT を活用している。また、「必要性を感じないため、活用していない」は 18.9%、「活用方法がわからない」は 11.7%となっている。

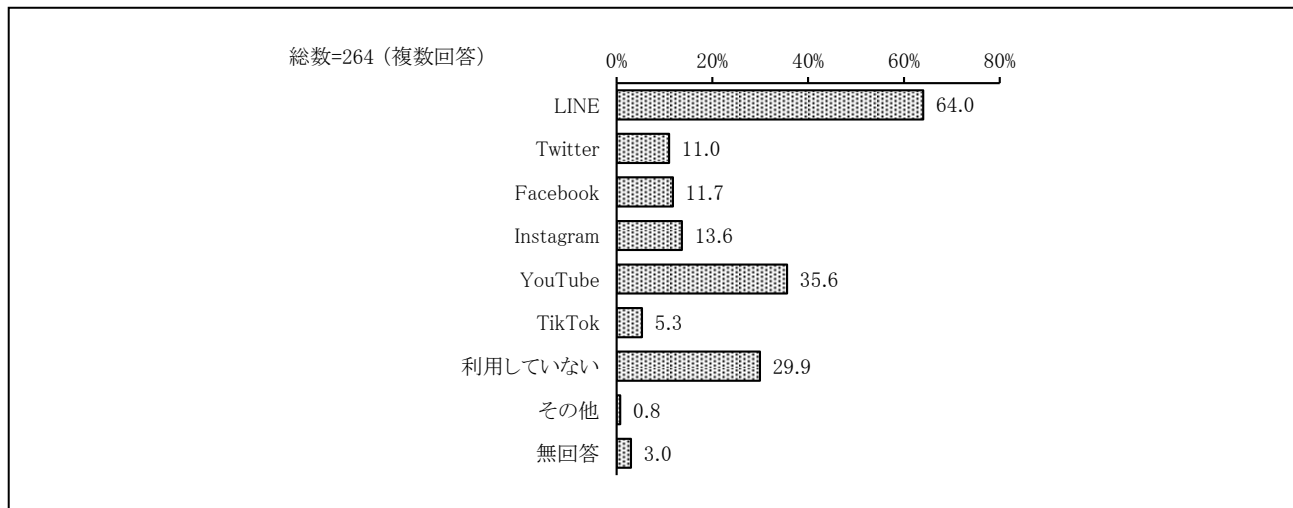
【属性別】

年齢別にみると、ICT を活用しているのは 50 代を中心とした層で、50 代では「電話やクレジットカードなど必要最低限程度に ICT を活用している」が 59.0%、「家具・家電をはじめ、積極的に ICT を活用している」は 21.7%となっている。一方、「必要性を感じないため、活用していない」、「活用方法がわからない」は高齢層ほど多いという傾向がみられる。

地区別では顕著な差はみられないが、煤ヶ谷下地区で「必要性を感じないため、活用していない」が他地区に比べて多い。

		全体	家具・家電をはじめ、積極的にICTを活用している	電話やクレジットカードなど必要最低限程度にICTを活用している	必要性を感じないため、活用していない	活用方法がわからない	その他	無回答
	全体	264	13.3	47.0	18.9	11.7	1.9	7.2
年齢	20代	1	-	100.0	-	-	-	-
	30代	11	45.5	36.4	9.1	9.1	-	-
	40代	32	12.5	59.4	12.5	6.3	3.1	6.3
	50代	23	21.7	69.6	4.3	-	-	4.3
	60代	65	18.5	53.8	12.3	3.1	1.5	10.8
	70代	91	8.8	45.1	23.1	15.4	3.3	4.4
	80歳以上	37	2.7	18.9	37.8	27.0	-	13.5
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	8.7	47.8	19.6	10.9	-	13.0
	煤ヶ谷中地区	73	12.3	47.9	16.4	12.3	4.1	6.8
	清水ヶ丘・金翅地区	76	15.8	50.0	15.8	11.8	1.3	5.3
	煤ヶ谷下地区	46	10.9	41.3	26.1	15.2	-	6.5
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	23.1	53.8	15.4	-	-	7.7

問11 あなたはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用していますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「利用していない」は29.9%で、70%近くの人は何らかのSNSを利用している。利用しているSNSでは「LINE」が64.0%と最も多く、「YouTube」が35.6%が続いている。その他のSNSは10%台前半で、あまり利用されていない。

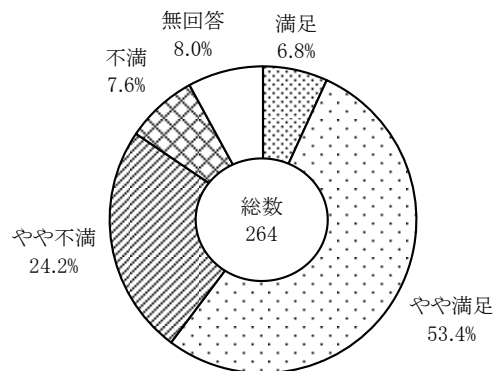
【属性別】

年齢別にみると、50代以下の層では95%以上が何らかのSNSを利用している。各媒体ともに低年齢層ほど利用している人が多い傾向がみられる。また、「Twitter」では50代の利用率が30.4%と多い。「利用していない」は高年齢層ほど多く、70代では46.2%、80歳以上では60%弱が利用していない。

地区別にみると、煤ヶ谷下地区では「LINE」が71.7%と他地区に比べて多い。

		全 体	L I N E	T w i t t e r	F a c e b o o k	I n s t a g r a m	Y o u T u b e	T i k T o k	利 用 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全体		264	64.0	11.0	11.7	13.6	35.6	5.3	29.9	0.8	3.0
年 齢	20代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	11	100.0	54.5	45.5	45.5	81.8	27.3	-	-	-
	40代	32	96.9	15.6	28.1	50.0	68.8	9.4	3.1	-	-
	50代	23	87.0	30.4	13.0	26.1	60.9	8.7	4.3	-	-
	60代	65	81.5	9.2	15.4	10.8	40.0	4.6	16.9	1.5	-
	70代	91	44.0	5.5	4.4	1.1	22.0	3.3	46.2	1.1	4.4
	80歳以上	37	29.7	-	-	2.7	8.1	-	59.5	-	10.8
居 住 地 区	煤ヶ谷上地区	46	56.5	15.2	8.7	10.9	26.1	6.5	34.8	-	4.3
	煤ヶ谷中地区	73	61.6	15.1	15.1	16.4	37.0	8.2	35.6	-	2.7
	清水ヶ丘・金翅地区	76	64.5	6.6	9.2	10.5	42.1	3.9	23.7	2.6	3.9
	煤ヶ谷下地区	46	71.7	6.5	13.0	17.4	30.4	2.2	28.3	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	92.3	23.1	15.4	15.4	53.8	7.7	7.7	-	-

問 12-1 清川村の行政サービスのデジタル化の現状に対する満足度を教えてください。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「やや満足」が53.4%で最も多く、「満足」の6.8%と合わせると約60%の人が評価している。一方、「不満」は7.6%、「やや不満」は24.2%で、31.8%の人は厳しい評価を下している。

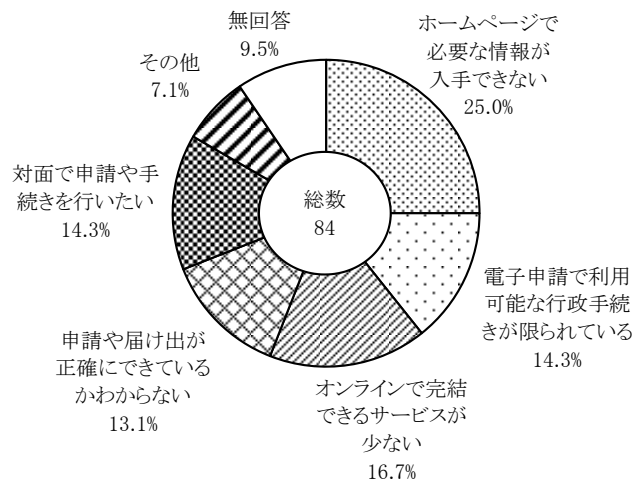
【属性別】

年齢別にみると、「満足」と「やや満足」の合計は、ICTの利用が最も進んでいる50代で最も多い。また、「不満」と「やや不満」の合計は40代などの低年齢層で多い。

地区別では結果に大きな違いがない。

		全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体		264	6.8	53.4	24.2	7.6	8.0
年齢	20代	1	-	-	-	100.0	-
	30代	11	9.1	36.4	36.4	9.1	9.1
	40代	32	6.3	46.9	34.4	9.4	3.1
	50代	23	-	78.3	21.7	-	-
	60代	65	6.2	58.5	24.6	7.7	3.1
	70代	91	5.5	56.0	24.2	6.6	7.7
	80歳以上	37	10.8	37.8	13.5	10.8	27.0
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	6.5	47.8	21.7	6.5	17.4
	煤ヶ谷中地区	73	5.5	57.5	21.9	9.6	5.5
	清水ヶ丘・金翅地区	76	5.3	52.6	28.9	7.9	5.3
	煤ヶ谷下地区	46	6.5	56.5	23.9	6.5	6.5
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	7.7	46.2	30.8	7.7	7.7

問 12-2 問 12-1 で「3. やや不満」「4. 不満」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。
 主なもの1つを選んでください。



【全体】

行政サービスのデジタル化の不満については、「ホームページで必要な情報が入手できない」が 25.0%で最も多く、「オンラインで完結できるサービスが少ない」16.7%、「電子申請で利用可能な行政手続きが限られている」14.3%、「申請や届け出が正確にできているかわからない」13.1%と続いている。一方、「対面で申請や手続きを行いたい」は 14.3%となっている。

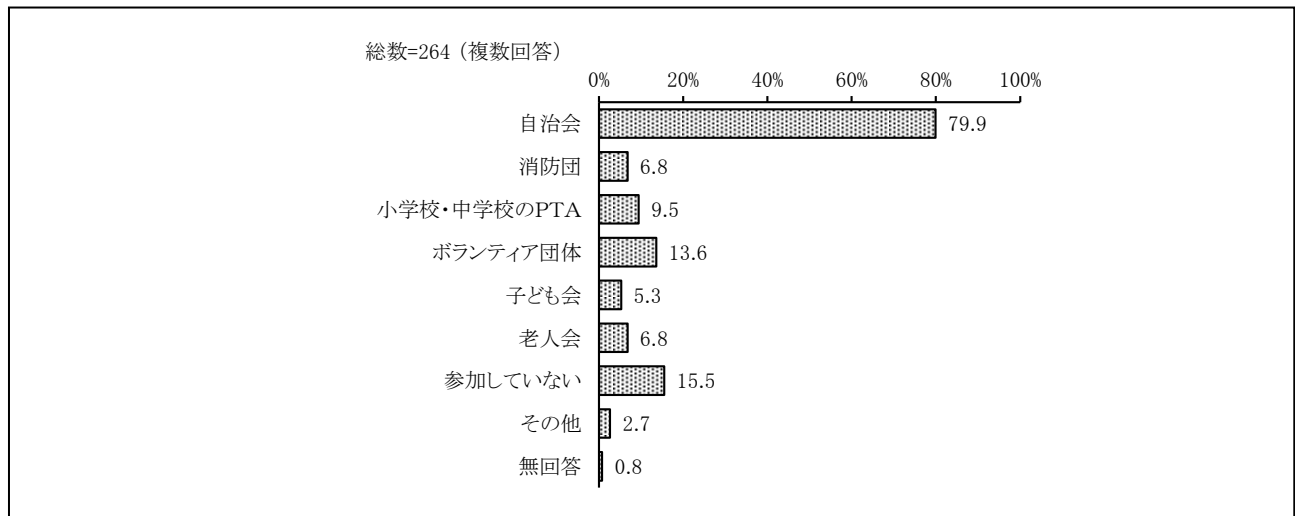
【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	ホームページで必要な情報が入手できない	電子申請で利用可能な行政手続きが限られている	オンラインで完結できるサービスが少ない	申請や届け出が正確にできているかわからない	対面で申請や手続きを行いたい	その他	無回答
全体		84	25.0	14.3	16.7	13.1	14.3	7.1	9.5
年齢	20代	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	30代	5	-	40.0	60.0	-	-	-	-
	40代	14	28.6	21.4	28.6	14.3	-	7.1	-
	50代	5	40.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0
	60代	21	23.8	23.8	19.0	4.8	4.8	9.5	14.3
	70代	28	25.0	3.6	3.6	21.4	28.6	10.7	7.1
	80歳以上	9	22.2	-	11.1	22.2	22.2	-	22.2
居住地区	煤ヶ谷上地区	13	30.8	7.7	30.8	7.7	15.4	7.7	-
	煤ヶ谷中地区	23	13.0	4.3	30.4	17.4	13.0	13.0	8.7
	清水ヶ丘・金翅地区	28	17.9	17.9	7.1	14.3	25.0	3.6	14.3
	煤ヶ谷下地区	14	42.9	28.6	7.1	7.1	-	-	14.3
	宮ヶ瀬・札掛地区	5	60.0	20.0	-	-	-	20.0	-

1-5 地域活動

問 13 ご家族の方は、現在、住民組織に参加されていますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「自治会」が 79.9%で最も多く、「ボランティア団体」の 13.6%が続いている。一方、「参加していない」は 15.5%となっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、大きさ変化はみられないが、「自治会」は 4.3 ポイント増加している一方、「ボランティア団体」は 4.0 ポイント減少している。また、「参加していない」は 3.7 ポイント増加している。

	全体	自治会	消防団	小学校・中学校のPTA	ボランティア団体	子ども会	老人会	参加していない	その他
令和3年度	264	79.9	6.8	9.5	13.6	5.3	6.8	15.5	2.7
平成28年度	119	75.6	7.6	11.8	17.6	5.9	6.7	11.8	5.9

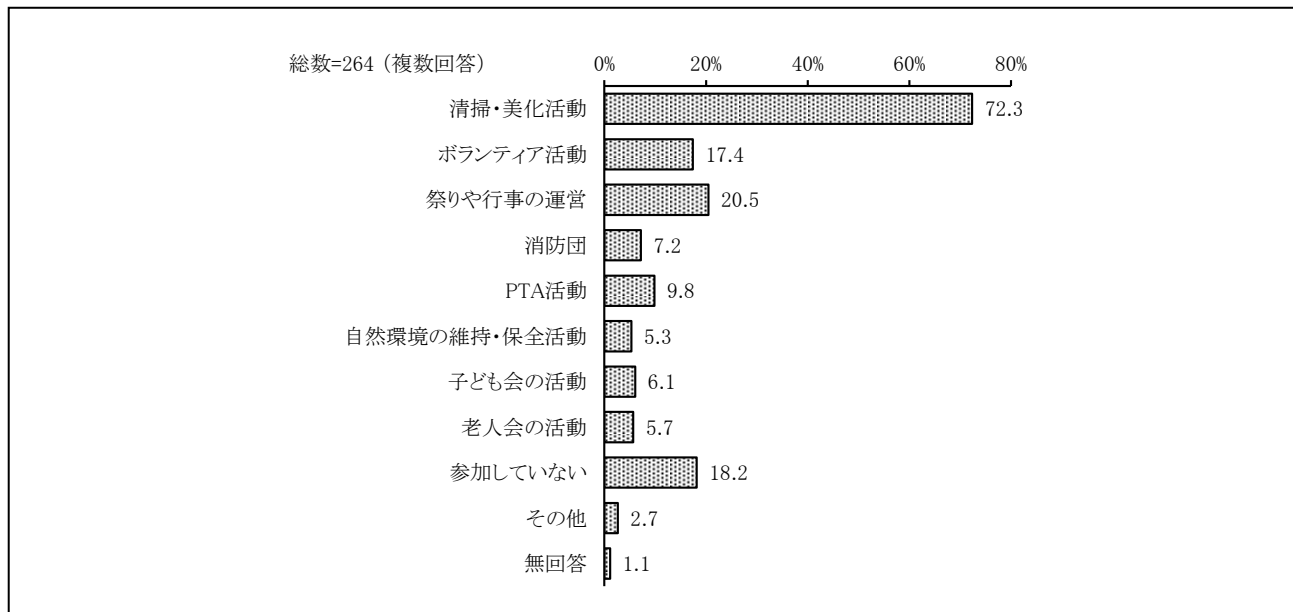
【属性別】

年齢別にみると、「消防団」、「小学校・中学校のPTA」、「子ども会」は30～50代の比較的低年齢層で多い。一方、「ボランティア団体」は60代以上の高年齢層で多い傾向がみられる。

地区別にみると、「自治会」は煤ヶ谷上地区や清水ヶ丘・金翅地区で90%前後と高い。

		全体	自治会	消防団	小学校・中学校のPTA	ボランティア団体	子ども会	老人会	参加していない	その他	無回答
全体		264	79.9	6.8	9.5	13.6	5.3	6.8	15.5	2.7	0.8
年齢	20代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	11	54.5	18.2	18.2	-	-	-	45.5	-	-
	40代	32	78.1	15.6	37.5	6.3	15.6	-	15.6	-	-
	50代	23	78.3	17.4	17.4	4.3	13.0	13.0	17.4	8.7	4.3
	60代	65	83.1	4.6	4.6	21.5	4.6	3.1	12.3	4.6	-
	70代	91	78.0	2.2	3.3	16.5	2.2	3.3	16.5	1.1	1.1
	80歳以上	37	86.5	5.4	-	10.8	-	24.3	10.8	2.7	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	91.3	6.5	2.2	15.2	4.3	4.3	8.7	-	-
	煤ヶ谷中地区	73	76.7	5.5	15.1	12.3	6.8	8.2	19.2	2.7	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	86.8	2.6	9.2	17.1	3.9	7.9	9.2	2.6	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	69.6	10.9	8.7	13.0	4.3	4.3	26.1	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	61.5	30.8	15.4	7.7	15.4	15.4	15.4	15.4	-

問 14 ご家族の方は、現在どのような地域活動に参加されていますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「清掃・美化活動」が 72.3%で最も多く、「祭りや行事の運営」20.5%、「ボランティア活動」17.4%がこれに続いている。「参加していない」は 18.2%となっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、大きさ変化はみられないが、「祭りや行事の運営」は 8.9 ポイント減少している。また、「参加していない」は 3.9 ポイント増加している。

	全体	清掃・美化活動	ボランティア活動	祭りや行事の運営	消防団	PTA活動	自然環境の維持・保全活動	子ども会の活動	老人会の活動	参加していない	その他
令和3年度	264	72.3	17.4	20.5	7.2	9.8	5.3	6.1	5.7	18.2	2.7
平成28年度	119	69.7	18.5	29.4	5.9	10.9	3.4	6.7	5.9	14.3	5.9

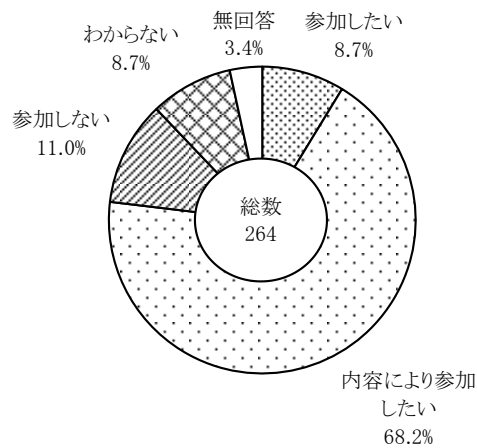
【属性別】

年齢別にみると、「祭りや行事の運営」は50代の34.8%ピークに多くなっている。また、「PTA活動」は40代の34.4%をピークに30～50代で比較的多い。

地区別にみると、「清掃・美化活動」は煤ヶ谷下地区で60.9%と少ない。また、煤ヶ谷上地区では「祭りや行事の運営」が10.9%と他地区に比べて少ない。

		全体	清掃・美化活動	ボランティア活動	祭りや行事の運営	消防団	PTA活動	自然環境の維持・保全活動	子ども会の活動	老人会の活動	参加していない	その他	無回答
全体		264	72.3	17.4	20.5	7.2	9.8	5.3	6.1	5.7	18.2	2.7	1.1
年齢	20代	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	30代	11	63.6	18.2	9.1	18.2	18.2	-	-	-	27.3	-	-
	40代	32	75.0	9.4	21.9	15.6	34.4	-	15.6	-	12.5	-	-
	50代	23	65.2	13.0	34.8	17.4	21.7	4.3	13.0	8.7	21.7	-	4.3
	60代	65	73.8	20.0	24.6	4.6	4.6	9.2	6.2	1.5	21.5	3.1	-
	70代	91	70.3	23.1	18.7	3.3	5.5	6.6	4.4	3.3	17.6	5.5	1.1
	80歳以上	37	75.7	10.8	13.5	5.4	-	2.7	-	24.3	16.2	-	2.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	73.9	19.6	10.9	6.5	6.5	2.2	8.7	2.2	21.7	2.2	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	72.6	16.4	20.5	6.8	13.7	1.4	5.5	6.8	16.4	1.4	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	76.3	21.1	21.1	2.6	7.9	7.9	5.3	7.9	13.2	2.6	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	60.9	13.0	21.7	10.9	10.9	4.3	4.3	4.3	30.4	4.3	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	69.2	15.4	46.2	30.8	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7	-	-

問 15-1 ご家族の方は、今後の地域活動への参加をどのように考えていますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「内容により参加したい」が 68.2%で最も多く、「参加したい」の 8.7%を合わせると 76.9%が参加意向を持っている。一方、「参加しない」は 11.0%となっている。

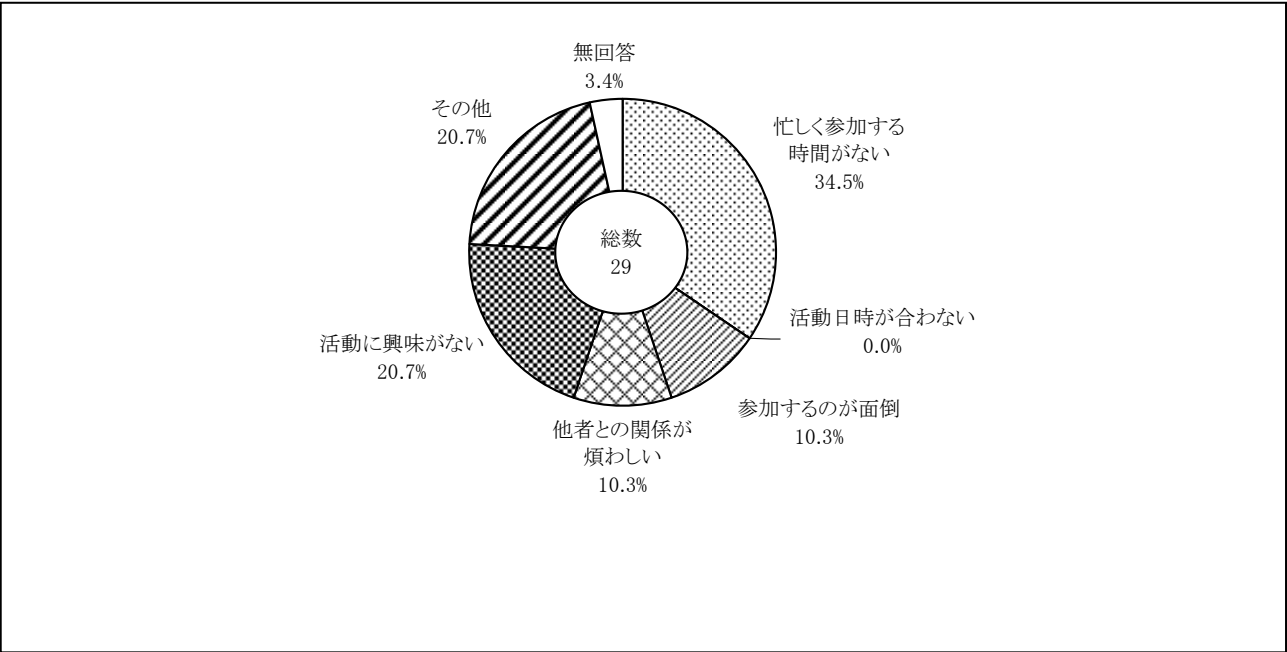
【属性別】

年齢別にみると、80 歳以上では「内容により参加したい」が 40.5%と他の年齢層に比べて少ない。

地区別にみると、煤ヶ谷上地区では「内容により参加したい」が 54.3%と少なく、他地区に比べ参加意向を持っている人が少ない。

		全体	参加したい	内容により参加したい	参加しない	わからない	無回答
	全体	264	8.7	68.2	11.0	8.7	3.4
年齢	20代	1	-	100.0	-	-	-
	30代	11	9.1	72.7	9.1	9.1	-
	40代	32	15.6	65.6	12.5	6.3	-
	50代	23	8.7	69.6	13.0	4.3	4.3
	60代	65	7.7	75.4	10.8	6.2	-
	70代	91	5.5	73.6	8.8	9.9	2.2
	80歳以上	37	13.5	40.5	16.2	13.5	16.2
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	13.0	54.3	13.0	15.2	4.3
	煤ヶ谷中地区	73	4.1	71.2	12.3	8.2	4.1
	清水ヶ丘・金翅地区	76	11.8	72.4	5.3	6.6	3.9
	煤ヶ谷下地区	46	8.7	69.6	13.0	8.7	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	7.7	69.2	15.4	7.7	-

問 15-2 問 15-1 で、「3. 参加しない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

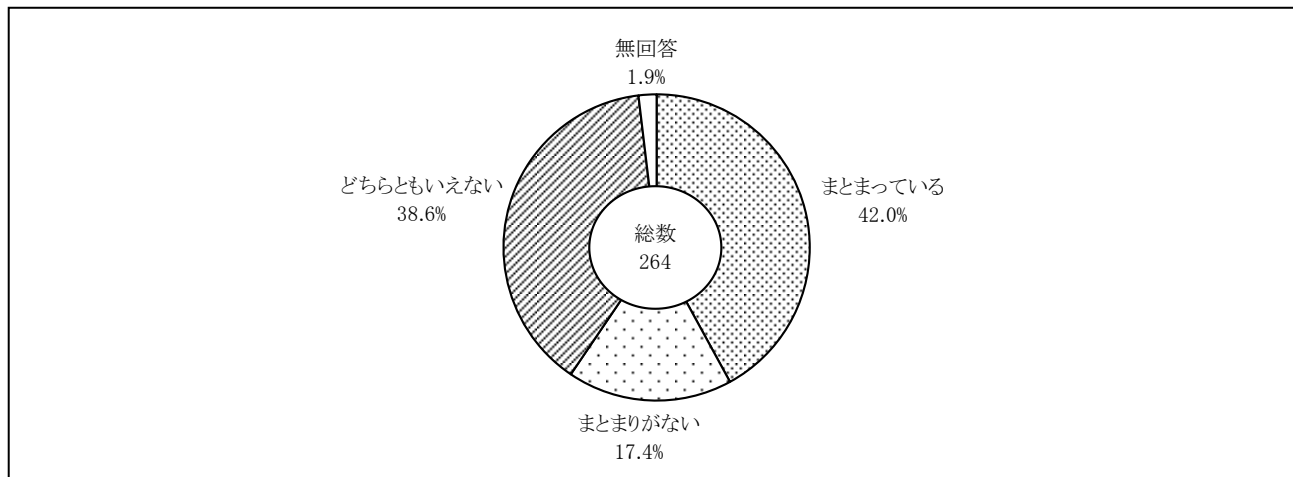
「忙しく参加する時間がない」が 34.5%で最も多いが、「活動に興味が無い」20.7%、「参加するのが面倒」10.3%、「他者との関係が煩わしい」10.3%といった参加に否定的な意見も比較的多くなっている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	忙しく参加する時間がない	活動日時が合わない	参加するのが面倒	他者との関係が煩わしい	活動に興味がない	その他	無回答
	全体	29	34.5	-	10.3	10.3	20.7	20.7	3.4
年齢	20代	-	*	*	*	*	*	*	*
	30代	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	40代	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-
	50代	3	66.7	-	-	33.3	-	-	-
	60代	7	42.9	-	-	-	42.9	14.3	-
	70代	8	12.5	-	25.0	12.5	25.0	25.0	-
	80歳以上	6	-	-	-	16.7	16.7	50.0	16.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	6	16.7	-	16.7	-	16.7	33.3	16.7
	煤ヶ谷中地区	9	33.3	-	-	22.2	33.3	11.1	-
	清水ヶ丘・金翅地区	4	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-
	煤ヶ谷下地区	6	50.0	-	16.7	-	33.3	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	2	100.0	-	-	-	-	-	-

問 16 現在お住まいの地域の皆さんは、まとまりがあると思いますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「まとまっている」が 42.0%、「まとまりがない」は 17.4%で、「どちらともいえない」は 38.6%となっている。

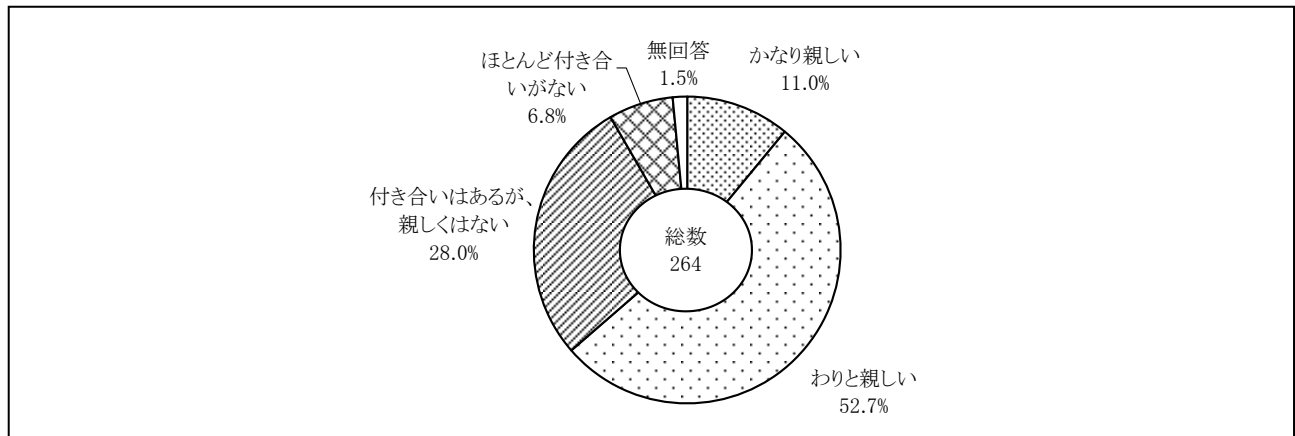
【属性別】

年齢別にみると、40～50代では「まとまっている」が 50%以上と多い。

地区別にみると、「まとまてついる」は煤ヶ谷下地区で 20%台と他地区に比べて少ない。

		全体	まとまっている	まとまりがない	どちらともいえない	無回答
	全体	264	42.0	17.4	38.6	1.9
年齢	20代	1	—	—	100.0	—
	30代	11	27.3	27.3	45.5	—
	40代	32	50.0	12.5	37.5	—
	50代	23	56.5	13.0	26.1	4.3
	60代	65	40.0	20.0	40.0	—
	70代	91	36.3	18.7	42.9	2.2
	80歳以上	37	45.9	16.2	32.4	5.4
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	37.0	17.4	41.3	4.3
	煤ヶ谷中地区	73	49.3	11.0	37.0	2.7
	清水ヶ丘・金翅地区	76	47.4	14.5	36.8	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	28.3	21.7	50.0	—
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	30.8	46.2	23.1	—

問 17 ご近所の皆さんとの関係性はいかがですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「わりと親しい」が52.7%で最も多く、「かなり親しい」の11.0%を合わせると、60%以上が親しい関係を築いている。また、「ほとんど付き合いがない」は6.8%にとどまっている。

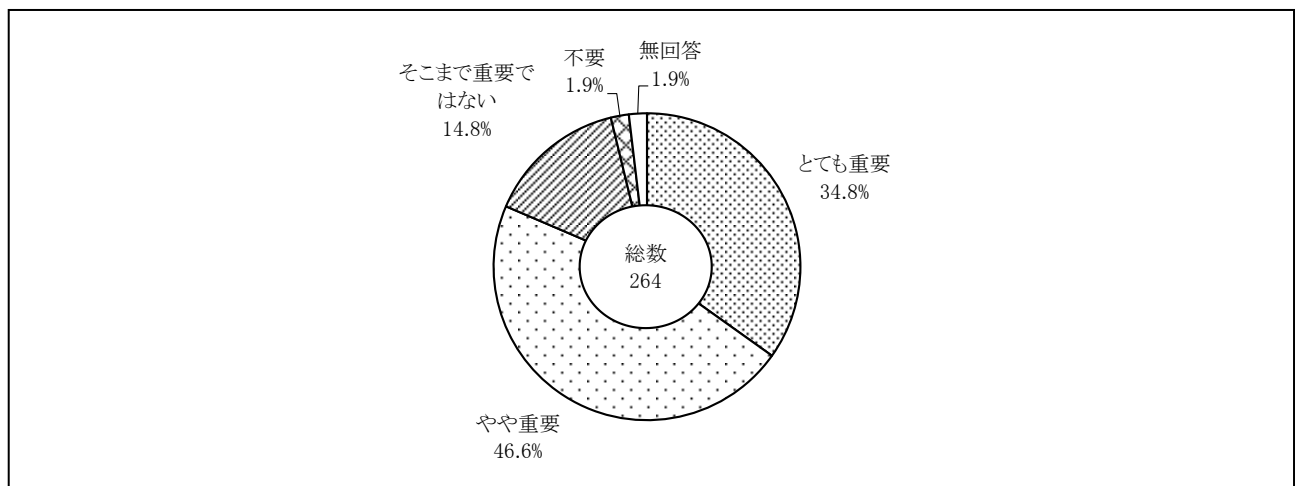
【属性別】

年齢別にみると、40代などの低年齢層では「かなり親しい」と「わりと親しい」の合計が他の年齢層に比べると少ない。

地区別にみると、煤ヶ谷下地区では「付き合いはあるが、親しくはない」が43.5%と他地区に比べると多い。また、煤ヶ谷中地区では「ほとんど付き合いがない」が12.3%と他地区に比べて多い。

		全体	かなり親しい	わりと親しい	付き合いはあるが、親しくはない	ほとんど付き合いがない	無回答
	全体	264	11.0	52.7	28.0	6.8	1.5
年齢	20代	1	-	-	-	100.0	-
	30代	11	9.1	45.5	18.2	27.3	-
	40代	32	3.1	46.9	34.4	15.6	-
	50代	23	17.4	52.2	21.7	4.3	4.3
	60代	65	6.2	61.5	26.2	6.2	-
	70代	91	12.1	50.5	34.1	2.2	1.1
	80歳以上	37	21.6	48.6	18.9	5.4	5.4
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	8.7	63.0	21.7	4.3	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	16.4	49.3	20.5	12.3	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	7.9	56.6	30.3	3.9	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	6.5	45.7	43.5	4.3	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	-	53.8	38.5	7.7	-

問 18 地域の活性化のため、地域にお住まいの皆さんどうしの関係を深めることについて、どのように考えますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「やや重要」が46.6%、「とても重要」が34.8%で、合計すると81.4%が関係を深めることが重要と考えている。「そこまで重要ではない」は14.8%、「不要」は1.9%と少ない。

【属性別】

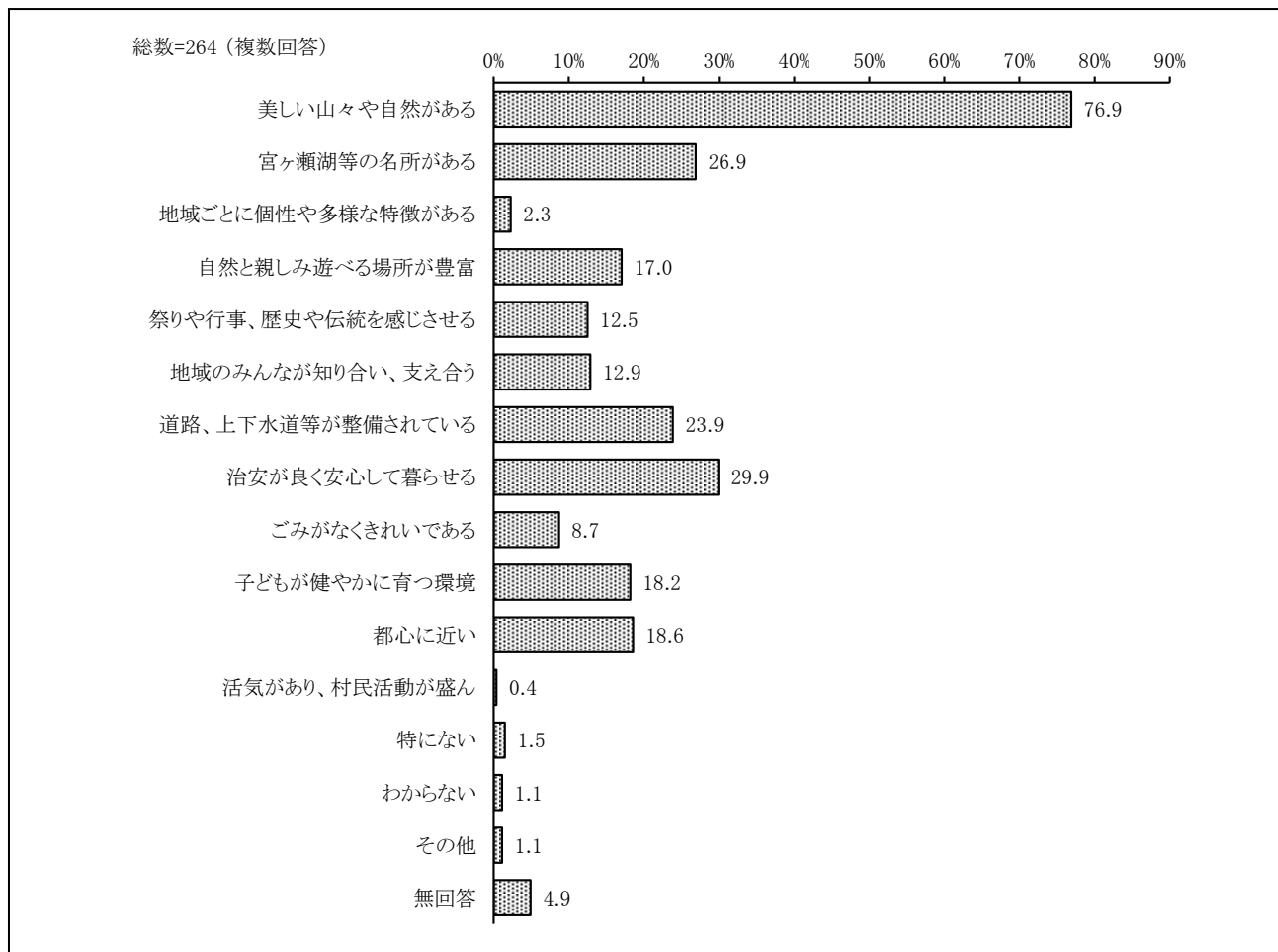
年齢別にみると、「とても重要」は80歳以上で50%以上、50代では40%台と他の年齢層に比べて多い。

地区別にみると、「とても重要」と「やや重要」の合計は、煤ヶ谷上地区で71.7%と他地区に比べて少ない。

		全体	とても重要	やや重要	そこまで重要ではない	不要	無回答
全体		264	34.8	46.6	14.8	1.9	1.9
年齢	20代	1	-	-	100.0	-	-
	30代	11	9.1	63.6	27.3	-	-
	40代	32	31.3	56.3	9.4	3.1	-
	50代	23	43.5	30.4	17.4	4.3	4.3
	60代	65	29.2	55.4	15.4	-	-
	70代	91	36.3	44.0	15.4	1.1	3.3
	80歳以上	37	51.4	29.7	10.8	5.4	2.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	32.6	39.1	21.7	4.3	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	27.4	56.2	9.6	4.1	2.7
	清水ヶ丘・金翅地区	76	43.4	39.5	15.8	-	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	26.1	54.3	17.4	-	2.2
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	46.2	38.5	15.4	-	-

1-6 村の将来像

問 19 ご家族の皆さんが、清川村の誇れるところはどうのようなところだと思いますか。該当する主なもの3つまで選んでください。



【全体】

「美しい山々や自然がある」が 76.9%で最も多く、「治安が良く安心して暮らせる」29.9%、「宮ヶ瀬湖等の名所がある」26.9%が続いている。「自然と親しみ遊べる場所が豊富」も 17.0%と比較的多いなど、水や緑の環境を誇りに思っている人が多くなっている。

【前回比較】

「美しい山々や自然がある」や「宮ヶ瀬湖等の名所がある」、「自然と親しみ遊べる場所が豊富」などの水や緑の環境に関するものや「都心に近い」では比率が上昇している。一方、「子どもが健やかに育つ環境」、「地域の人々が知り合い、支え合う」、「祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる」では比率が低下している。

	全体	美しい山々や自然がある	宮ヶ瀬湖等の名所がある	地域ごとに個性や多様な特徴がある	自然と親しみ遊べる場所が豊富	祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる	地域のみんなが知り合い、支え合う	道路、上下水道等が整備されている	治安が良く安心して暮らせる	ごみがなくきれいだである	子どもが健やかに育つ環境	都心に近い	活気があり、村民活動が盛ん	特にな	わからない	その他
令和3年度	264	76.9	26.9	2.3	17.0	12.5	12.9	23.9	29.9	8.7	18.2	18.6	0.4	1.5	1.1	1.1
平成28年度	119	68.1	20.2	2.5	10.9	19.3	20.2	18.5	26.1	5.0	26.1	8.4	2.5	7.6	5.9	0.0

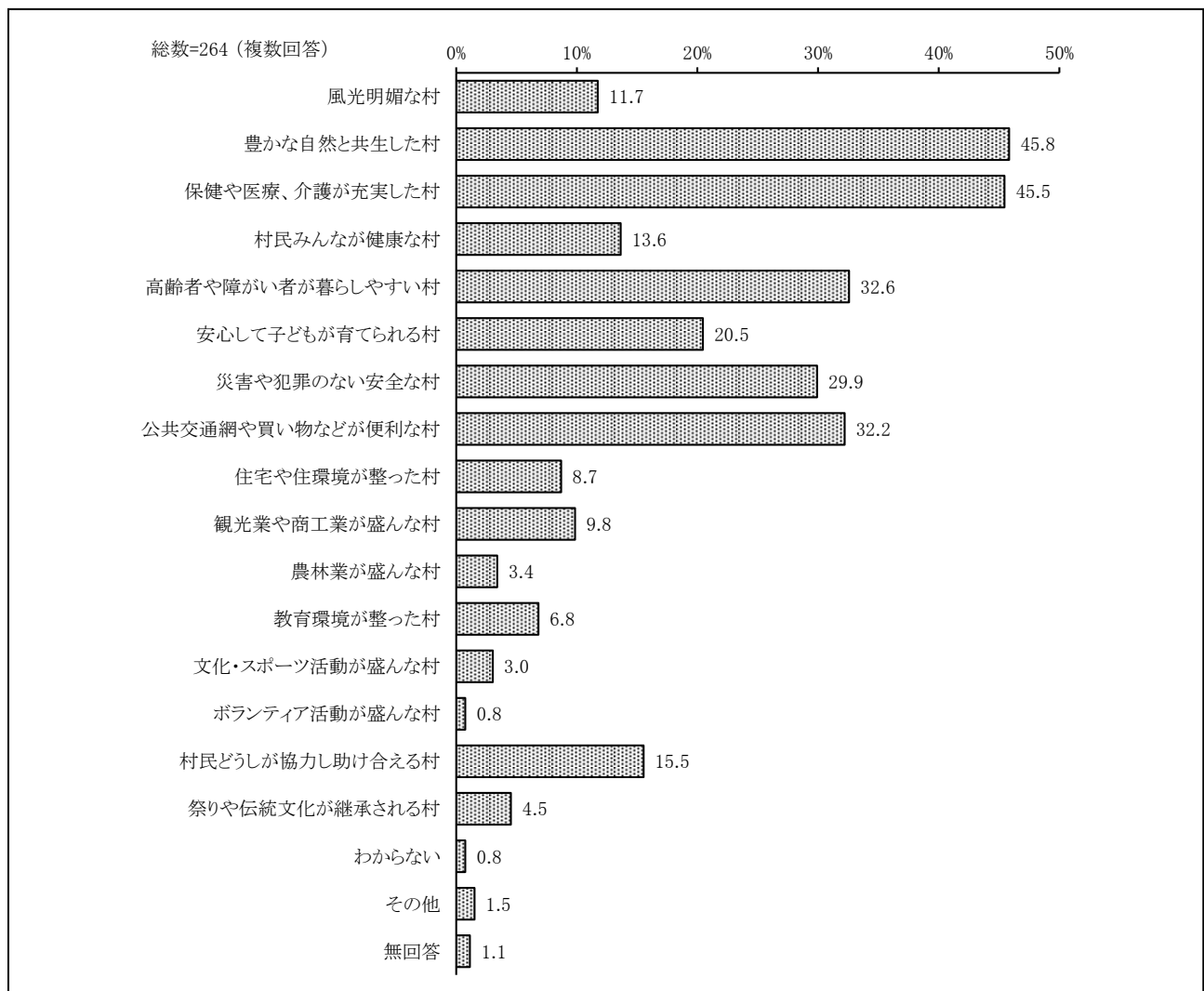
【属性別】

年齢別にみると、50代では「美しい山々や自然がある」や「宮ヶ瀬湖等の名所がある」、「自然と親しみ遊べる場所が豊富」などの水や緑の環境に関するものが他の年齢層に比べて少ない。また、「都市に近い」は70代を中心に高年齢層ほど比率が高い傾向がみられる。

地区別にみると、煤ヶ谷下地区では「宮ヶ瀬湖等の名所がある」が他地区に比べて少ない一方、「祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる」は多くなっている。

	全体	美しい山々や自然がある	宮ヶ瀬湖等の名所がある	地域ごとに個性や多様な特徴がある	自然と親しみ遊べる場所が豊富	祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる	地域のみんなが知り合い、支え合う	道路、上下水道等が整備されている	治安が良く安心して暮らせる	ごみがなくきれいだである	子どもが健やかに育つ環境	都心に近い	活気があり、村民活動が盛ん	特にな	わからない	その他	無回答
全体	264	76.9	26.9	2.3	17.0	12.5	12.9	23.9	29.9	8.7	18.2	18.6	0.4	1.5	1.1	1.1	4.9
年齢	20代	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	30代	11	72.7	27.3	-	9.1	45.5	-	18.2	45.5	18.2	27.3	-	-	-	-	9.1
	40代	32	75.0	37.5	-	31.3	9.4	12.5	9.4	21.9	6.3	18.8	12.5	-	3.1	-	12.5
	50代	23	56.5	17.4	-	8.7	17.4	8.7	17.4	34.8	8.7	30.4	17.4	-	4.3	-	8.7
	60代	65	84.6	35.4	3.1	27.7	9.2	13.8	21.5	32.3	1.5	15.4	20.0	-	-	-	1.5
	70代	91	83.5	23.1	1.1	13.2	11.0	12.1	30.8	24.2	11.0	19.8	27.5	1.1	1.1	2.2	2.2
	80歳以上	37	64.9	16.2	8.1	5.4	13.5	21.6	29.7	35.1	10.8	8.1	8.1	-	-	2.7	8.1
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	84.8	26.1	4.3	15.2	6.5	10.9	21.7	34.8	13.0	15.2	8.7	2.2	2.2	2.2	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	67.1	26.0	2.7	16.4	11.0	15.1	20.5	32.9	5.5	15.1	27.4	-	4.1	-	6.8
	清水ヶ丘・金翅地区	76	80.3	34.2	1.3	18.4	10.5	11.8	27.6	28.9	10.5	22.4	14.5	-	-	2.6	5.3
	煤ヶ谷下地区	46	73.9	13.0	2.2	10.9	28.3	13.0	26.1	28.3	4.3	19.6	17.4	-	-	-	4.3
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	76.9	38.5	-	38.5	-	7.7	23.1	15.4	7.7	15.4	30.8	-	-	-	7.7

問 20 10 年後の清川村の将来は、どのようなすがたが望ましいと考えますか。該当する主なもの 3つを選んでください。



【全体】

「豊かな自然と共生した村」と「保健や医療、介護が充実した村」がそれぞれ 45.8%、45.5% で並んでいる。以下、「高齢者や障がい者が暮らしやすい村」32.6%、「公共交通網や買い物などが便利な村」32.2%、「災害や犯罪のない安全な村」29.9%が 30%前後で続いている。

【前回比較】

上位 1・2 位である「豊かな自然と共生した村」と「保健や医療、介護が充実した村」は前回に比べそれぞれ 10 ポイント以上増加している。また、「災害や犯罪のない安全な村」も 10 ポイント以上の増加となっている。一方、「公共交通網や買い物などが便利な村」や「観光業や商工業が盛んな村」は 10 ポイント以上減少している。

	全体	風光明媚な村	豊かな自然と共生した村	保健や医療、介護が充実した村	村民みんなが健康な村	高齢者や障がい者が暮らしやすい村	安心して子どもが育てられる村	災害や犯罪のない安全な村	公共交通網や買い物などが便利な村	住宅や住環境が整った村	観光業や商工業が盛んな村	農林業が盛んな村	教育環境が整った村	文化・スポーツ活動が盛んな村	ボランティア活動が盛んな村	村民どうしが協力し助け合える村	祭りや伝統文化が継承される村	わからない	その他
令和3年度	264	11.7	45.8	45.5	13.6	32.6	20.5	29.9	32.2	8.7	9.8	3.4	6.8	3.0	0.8	15.5	4.5	0.8	1.5
平成28年度	119	14.3	34.5	33.6	11.8	31.9	21.0	18.5	46.2	6.7	22.7	4.2	5.0	0.8	0.8	14.3	5.9	1.7	2.5

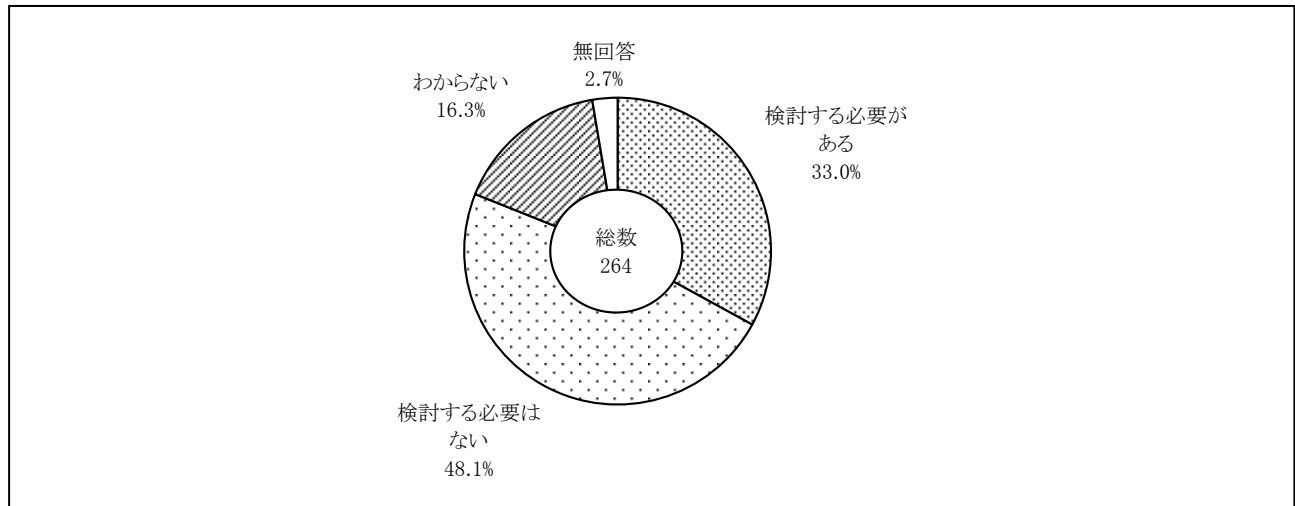
【属性別】

年齢別にみると、「豊かな自然と共生した村」は60代を中心とした高年齢層で多い。また、「高齢者や障がい者が暮らしやすい村」も70代、80歳以上では40%以上と多い。一方、「安心して子どもが育てられる村」や「教育環境が整った村」は40代などで多いという特徴がみられる。

地区別にみると、「公共交通網や買い物などが便利な村」は清水ヶ丘・金翅地区で多く、「高齢者や障がい者が暮らしやすい村」は煤ヶ谷下地区で少なくなっている。

	全体	風光明媚な村	豊かな自然と共生した村	保健や医療、介護が充実した村	村民みんなが健康な村	高齢者や障がい者が暮らしやすい村	安心して子どもが育てられる村	災害や犯罪のない安全な村	公共交通網や買い物などが便利な村	住宅や住環境が整った村	観光業や商工業が盛んな村	農林業が盛んな村	教育環境が整った村	文化・スポーツ活動が盛んな村	ボランティア活動が盛んな村	村民どうしが協力し助け合える村	祭りや伝統文化が継承される村	わからない	その他	無回答
全体	264	11.7	45.8	45.5	13.6	32.6	20.5	29.9	32.2	8.7	9.8	3.4	6.8	3.0	0.8	15.5	4.5	0.8	1.5	1.1
年齢	20代	1	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	30代	11	27.3	45.5	18.2	9.1	-	63.6	27.3	45.5	18.2	9.1	-	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-
	40代	32	6.3	46.9	46.9	6.3	15.6	37.5	28.1	18.8	12.5	9.4	-	21.9	9.4	-	9.4	3.1	6.3	-
	50代	23	-	47.8	39.1	8.7	26.1	13.0	43.5	26.1	4.3	8.7	4.3	8.7	4.3	-	17.4	8.7	4.3	4.3
	60代	65	15.4	58.5	41.5	18.5	23.1	18.5	32.3	30.8	12.3	10.8	6.2	10.8	1.5	-	10.8	3.1	-	1.5
	70代	91	14.3	40.7	48.4	12.1	46.2	12.1	26.4	39.6	7.7	11.0	3.3	1.1	2.2	-	22.0	4.4	-	-
	80歳以上	37	8.1	35.1	51.4	21.6	43.2	18.9	24.3	32.4	-	8.1	2.7	-	-	2.7	18.9	5.4	-	2.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	13.0	41.3	50.0	19.6	32.6	13.0	39.1	26.1	8.7	8.7	2.2	4.3	-	2.2	17.4	4.3	2.2	2.2
	煤ヶ谷中地区	73	6.8	43.8	52.1	17.8	34.2	24.7	23.3	27.4	13.7	6.8	4.1	4.1	2.7	-	16.4	1.4	1.4	2.7
	清水ヶ丘・金翅地区	76	15.8	48.7	40.8	7.9	38.2	17.1	23.7	42.1	2.6	15.8	2.6	7.9	5.3	1.3	14.5	3.9	-	1.3
	煤ヶ谷下地区	46	8.7	47.8	39.1	15.2	19.6	23.9	39.1	30.4	8.7	10.9	4.3	10.9	2.2	-	8.7	13.0	-	2.2
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	7.7	46.2	46.2	-	38.5	46.2	30.8	38.5	15.4	-	-	15.4	-	-	7.7	-	-	7.7

問 21-1 市町村合併についてどのように考えますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「検討する必要はない」が 48.1%を占め、「検討する必要がある」の 33.0%を上回っている。「わからない」は 16.3%となっている。

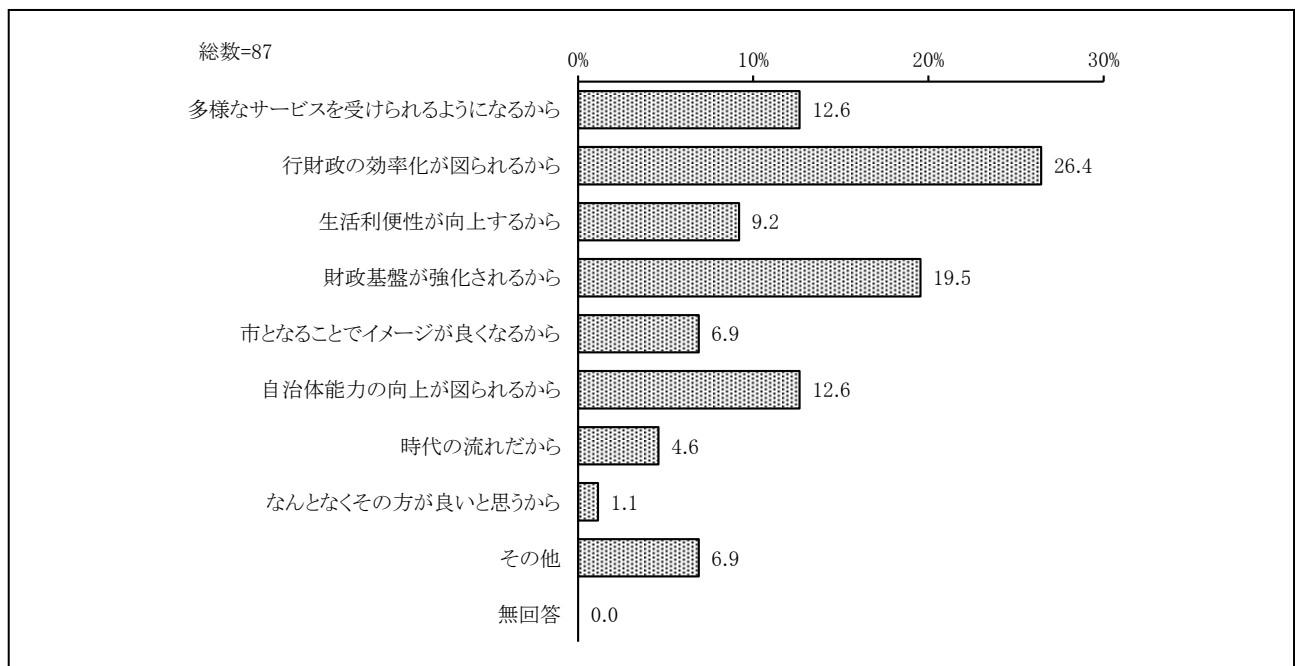
【属性別】

年齢別にみると、「検討する必要がある」は 70 代で 44.0%と多い。「検討する必要はない」は 50 代で 73.9%、40 代で 68.8%となっており、中年層で多くなっている。

地区別にみると、「検討する必要がある」は煤ヶ谷上地区で 50.0%と多い一方で煤ヶ谷下地区では 23.9%と少ない。清水ヶ丘・金翅地区で 80~90%程度と多い。一方、宮ヶ瀬・札掛地区では「検討する必要はない」は煤ヶ谷上地区では 30.4%と他地区に比べて少ない。

		全体	検討する必要がある	検討する必要はない	わからない	無回答
	全体	264	33.0	48.1	16.3	2.7
年齢	20代	1	-	100.0	-	-
	30代	11	36.4	45.5	18.2	-
	40代	32	12.5	68.8	18.8	-
	50代	23	17.4	73.9	4.3	4.3
	60代	65	36.9	46.2	15.4	1.5
	70代	91	44.0	39.6	14.3	2.2
	80歳以上	37	24.3	40.5	27.0	8.1
居住地区	煤ヶ谷上地区	46	50.0	30.4	15.2	4.3
	煤ヶ谷中地区	73	30.1	49.3	19.2	1.4
	清水ヶ丘・金翅地区	76	34.2	51.3	10.5	3.9
	煤ヶ谷下地区	46	23.9	58.7	17.4	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	13	15.4	53.8	30.8	-

問 21-2 問 21-1 で「1. 検討する必要がある」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。
該当するもの1つを選んでください。



【全体】

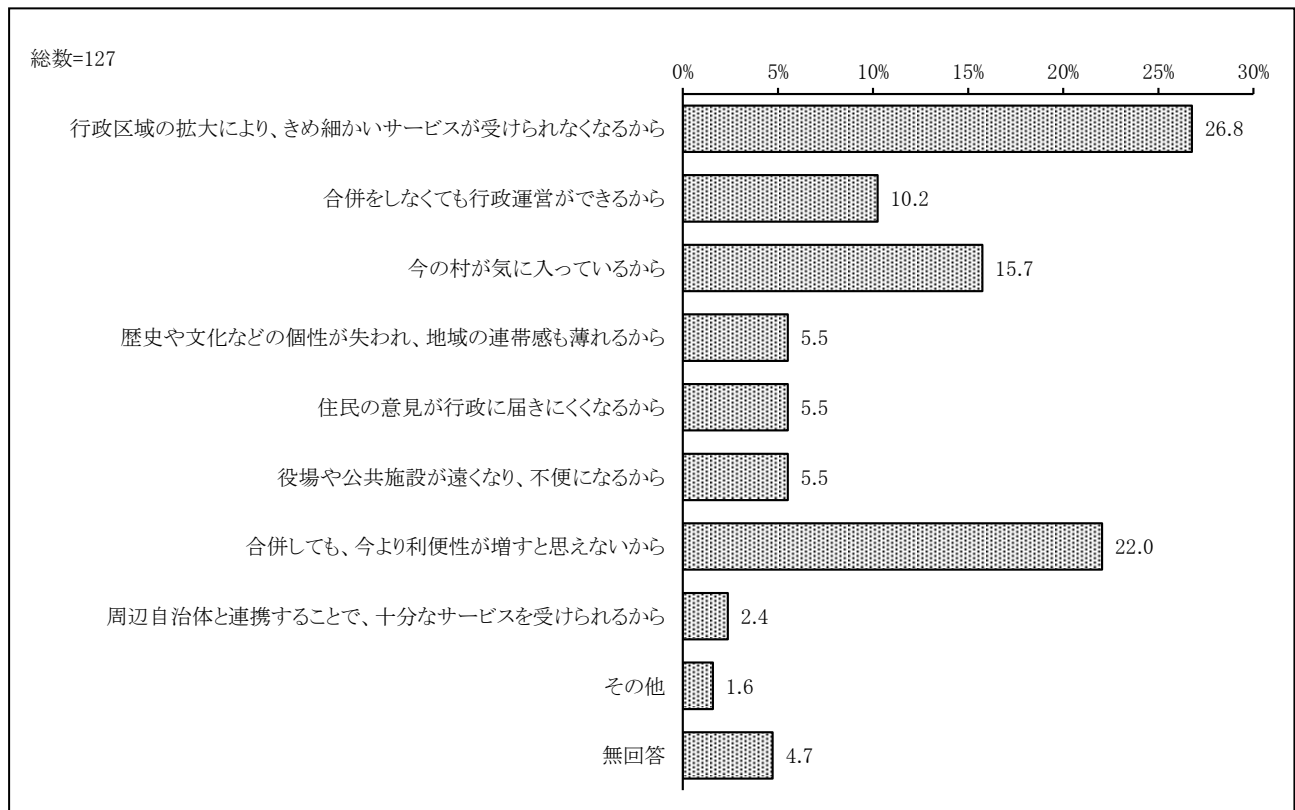
「行財政の効率化が図られるから」が 26.4%で最も多く、以下「財政基盤が強化されるから」19.5%、「多様なサービスを受けられるようになるから」及び「自治体能力の向上が図られるから」が 12.6%で続いている。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

			多様なサービスを受けられるようになるから	行財政の効率化が図られるから	生活利便性が向上するから	財政基盤が強化されるから	市となることでイメージが良くなるから	自治体能力の向上が図られるから	時代の流れだから	なんとなくその方が良いと思うから	その他	無回答
	全体	87	12.6	26.4	9.2	19.5	6.9	12.6	4.6	1.1	6.9	-
年齢	20代	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	30代	4	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-
	40代	4	-	25.0	-	-	-	75.0	-	-	-	-
	50代	4	-	25.0	-	50.0	-	-	25.0	-	-	-
	60代	24	8.3	29.2	8.3	29.2	8.3	16.7	-	-	-	-
	70代	40	15.0	20.0	10.0	20.0	7.5	10.0	2.5	2.5	12.5	-
	80歳以上	9	11.1	55.6	11.1	-	11.1	-	11.1	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	23	4.3	13.0	13.0	39.1	4.3	-	13.0	-	13.0	-
	煤ヶ谷中地区	22	22.7	22.7	4.5	18.2	4.5	18.2	-	4.5	4.5	-
	清水ヶ丘・金翅地区	26	11.5	34.6	11.5	3.8	11.5	26.9	-	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	11	9.1	36.4	-	18.2	9.1	-	9.1	-	18.2	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-

問 21-3 問 21-1 で「2. 検討する必要はない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。
該当するもの1つを選んでください。



【全体】

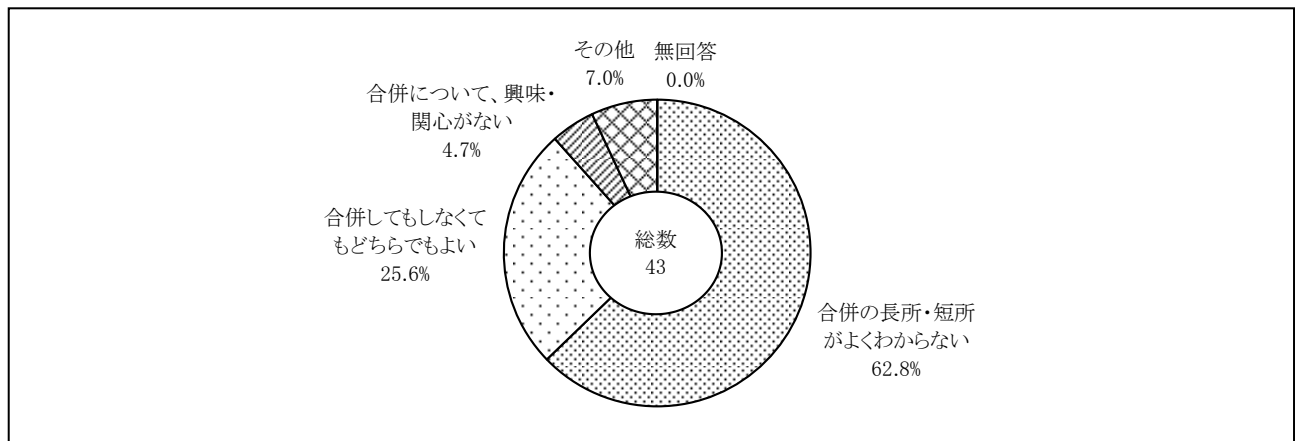
「行政区域の拡大により、きめ細かいサービスが受けられなくなるから」が 26.8%で最も多く、「合併しても、今より利便性が増すと思えないから」22.0%、「今の村が気に入っているから」15.7%が続いている。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	行政区域の拡大により、きめ細かいサービスが受けられなくなるから	合併をしなくても行政運営ができるから	今の村が気に入っているから	歴史や文化などの個性が失われ、地域の連帯感も薄れるから	住民の意見が行政に届きにくくなるから	役場や公共施設が遠くなり、不便になるから	合併しても、今より利便性が増すと思えないから	周辺自治体と連携することで、十分なサービスを受けられるから	その他	無回答
	全体	127	26.8	10.2	15.7	5.5	5.5	5.5	22.0	2.4	1.6	4.7
年齢	20代	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	30代	5	-	-	20.0	20.0	-	-	40.0	-	-	20.0
	40代	22	36.4	9.1	18.2	4.5	4.5	9.1	9.1	-	4.5	4.5
	50代	17	41.2	5.9	41.2	5.9	-	-	5.9	-	-	-
	60代	30	20.0	10.0	6.7	-	3.3	3.3	36.7	10.0	3.3	6.7
	70代	36	19.4	11.1	13.9	11.1	11.1	8.3	25.0	-	-	-
	80歳以上	15	40.0	20.0	6.7	-	6.7	6.7	13.3	-	-	6.7
居住地区	煤ヶ谷上地区	14	42.9	7.1	21.4	7.1	7.1	-	7.1	7.1	-	-
	煤ヶ谷中地区	36	25.0	8.3	13.9	8.3	2.8	8.3	25.0	-	-	8.3
	清水ヶ丘・金翅地区	39	30.8	10.3	17.9	7.7	7.7	2.6	20.5	2.6	-	-
	煤ヶ谷下地区	27	22.2	7.4	11.1	-	3.7	7.4	33.3	3.7	3.7	7.4
	宮ヶ瀬・札掛地区	7	14.3	28.6	28.6	-	-	-	14.3	-	-	14.3

問 21-4 問 21-1 で「3. わからない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「合併の長所・短所がよくわからない」が 62.8%で最も多く、情報不足が判断できない要因となっている。以下、「合併してもしなくてもどちらでもよい」の 25.6%、「合併について、興味・関心がない」が 4.7%で続いている。

【属性別】

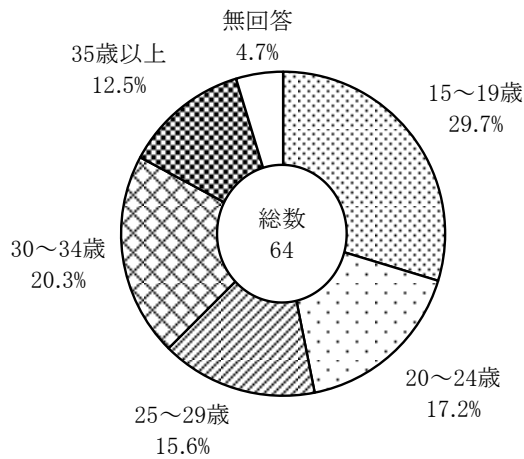
※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	合併の長所・短所がよくわからない	合併してもしなくてもどちらでもよい	合併について、興味・関心がない	その他	無回答
全体		43	62.8	25.6	4.7	7.0	-
年齢	20代	-	*	*	*	*	*
	30代	2	100.0	-	-	-	-
	40代	6	83.3	16.7	-	-	-
	50代	1	100.0	-	-	-	-
	60代	10	60.0	10.0	20.0	10.0	-
	70代	13	38.5	46.2	-	15.4	-
	80歳以上	10	70.0	30.0	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	85.7	14.3	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	14	64.3	21.4	7.1	7.1	-
	清水ヶ丘・金翅地区	8	37.5	50.0	-	12.5	-
	煤ヶ谷下地区	8	62.5	25.0	12.5	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	75.0	-	-	25.0	-

2 若者編

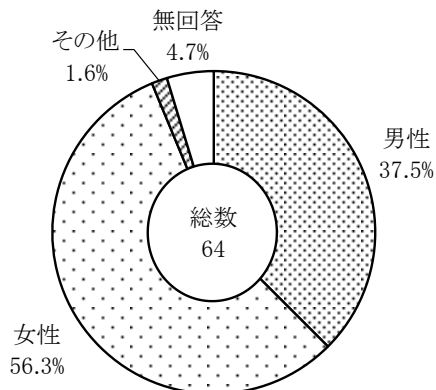
■回答者の属性

【年齢】



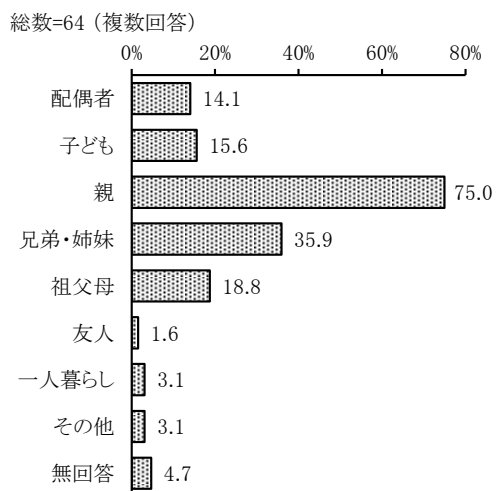
○15～19 歳が 29.7%で最も多く、30～34 歳が 20.3%、20～24 歳が 17.2%、25～29 歳が 15.6%が続いている。また、35 歳以上は 12.5%となっている。

【性別】



○男性が37.5%以上で、女性は56.3%と、家族編とは逆で女性が多くなっている。

【家族構成】

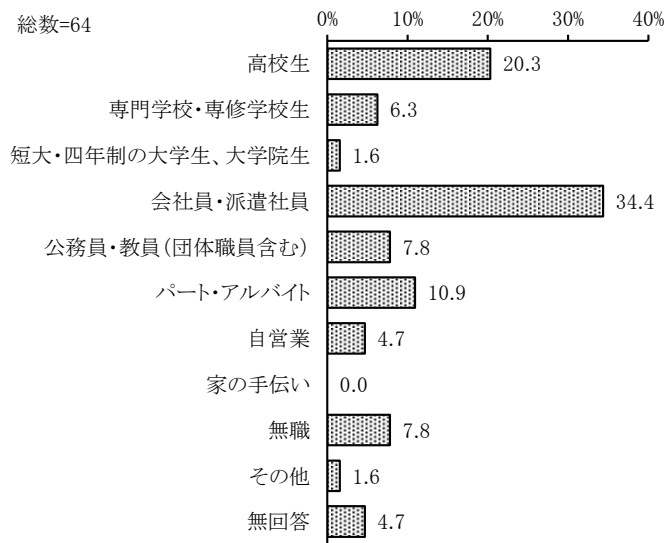


○75%は「親」と同居している。

○「配偶者」や「子ども」と同居しているのは10%台となっている。

○一人暮らしは3.1%と少なく、ほとんどは同居している人がある。

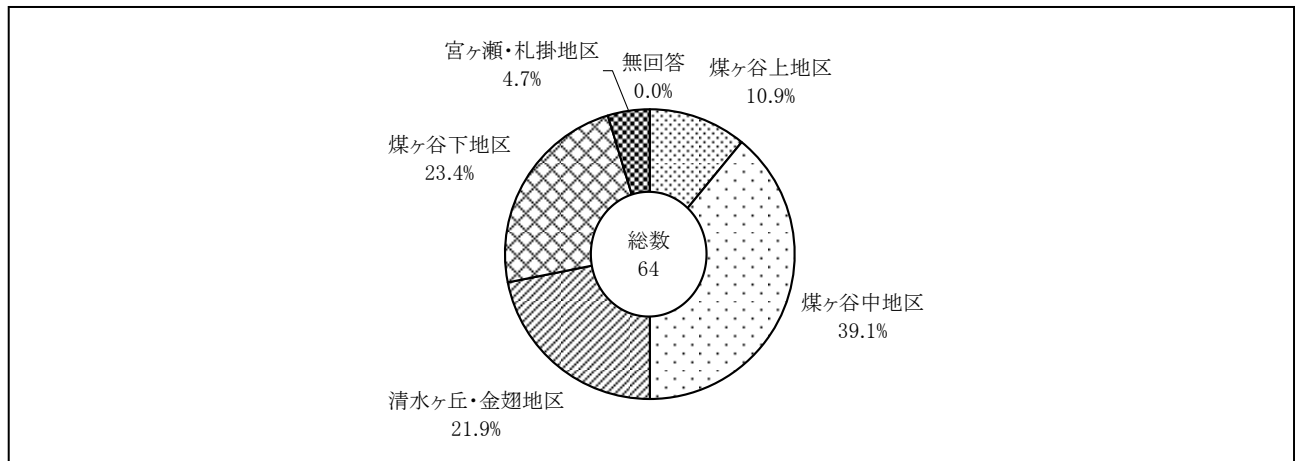
【就業状況】



○「会社員・派遣社員」が 34.4%で最も多く、「高校生」が 20.3%が続いている。

2-1 住まいの状況・生活実態

問1 あなたが、居住する地域はどちらですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

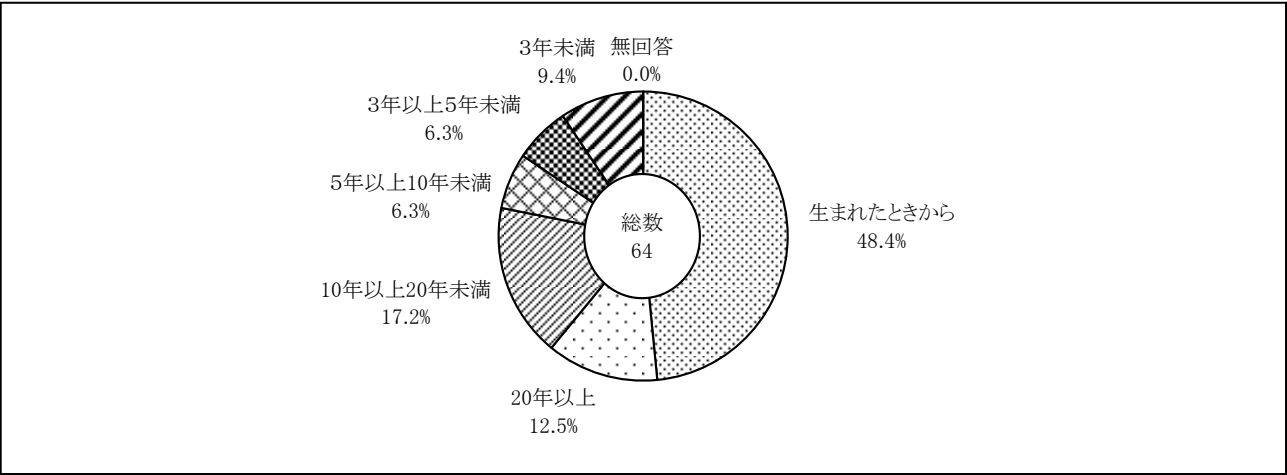
「煤ヶ谷中地区」が 39.1%で最も多く、「煤ヶ谷下地区」23.4%、「清水ヶ丘・金翅地区」21.9%、「煤ヶ谷上地区」10.9%、「宮ヶ瀬・札掛地区」4.7%となっている。

【属性別】

年齢別にみると、40代で「煤ヶ谷中地区」が 43.8%と多く、50代では「煤ヶ谷上地区」が 34.8%と多い。また、70代及び80歳以上では「清水ヶ丘・金翅地区」が 30%台前半と比較的が多くなっている。

		全体	煤ヶ谷上地区	煤ヶ谷中地区	清水ヶ丘・金翅地区	煤ヶ谷下地区	宮ヶ瀬・札掛地区	無回答
全体		64	10.9	39.1	21.9	23.4	4.7	-
年齢	15～19歳	19	21.1	31.6	10.5	31.6	5.3	-
	20～24歳	11	9.1	36.4	27.3	18.2	9.1	-
	25～29歳	10	-	50.0	20.0	30.0	-	-
	30～34歳	13	15.4	53.8	15.4	15.4	-	-
	35歳以上	8	-	25.0	62.5	12.5	-	-

問2 あなたは、清川村に何年お住まいですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

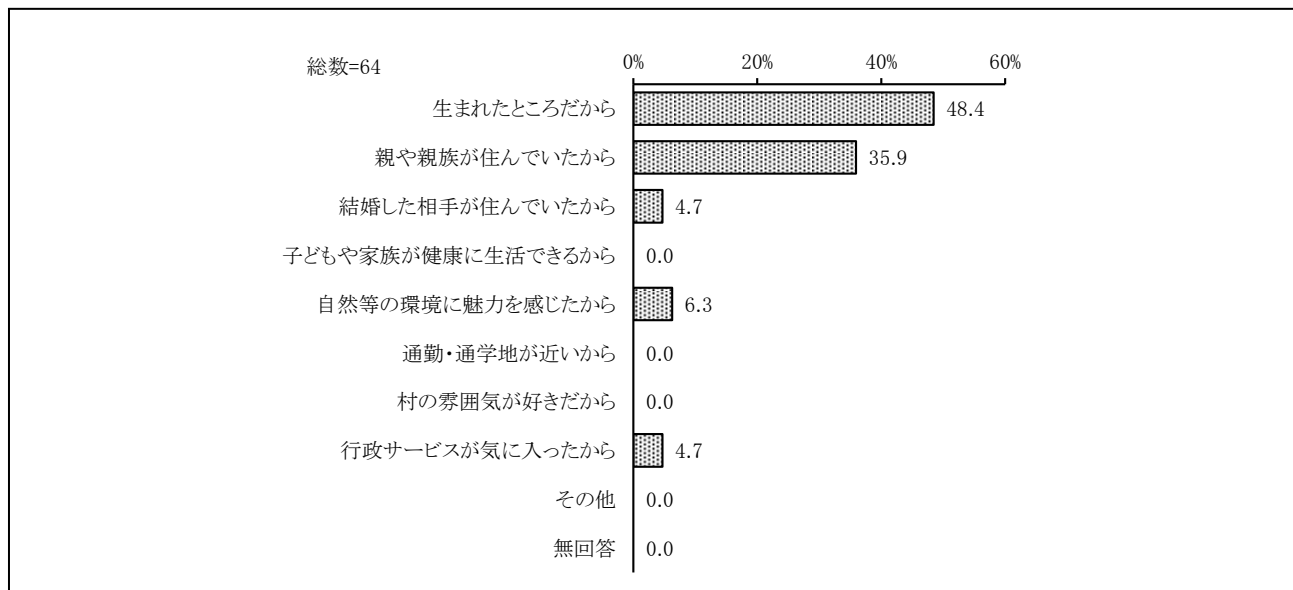
「生まれたところだから」が 48.4%で最も多く、「10 年以上 20 年未満」の 17.2%、「20 年以上」の 12.5%が続いている。「3 年未満」の比較的最近転居してきた方は 9.4%で、10 年未満の人は合計で 21.9%となっている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	生まれたときから	20年以上	10年以上20年未満	5年以上10年未満	3年以上5年未満	3年未満	無回答
全体		64	48.4	12.5	17.2	6.3	6.3	9.4	-
年齢	15～19歳	19	63.2	-	31.6	5.3	-	-	-
	20～24歳	11	36.4	27.3	18.2	9.1	-	9.1	-
	25～29歳	10	50.0	30.0	-	-	10.0	10.0	-
	30～34歳	13	38.5	7.7	7.7	-	23.1	23.1	-
	35歳以上	8	25.0	12.5	25.0	25.0	-	12.5	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	42.9	-	57.1	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	48.0	8.0	12.0	4.0	16.0	12.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	35.7	35.7	7.1	7.1	-	14.3	-
	煤ヶ谷下地区	15	66.7	6.7	13.3	6.7	-	6.7	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	-	33.3	33.3	-	-	-

問3 あなたが、清川村にお住まいになったきっかけは何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「生まれたところだから」が48.4%で最も多く、「親や親戚が住んでいたから」が35.9%となっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「結婚した相手が住んでいたから」が13.3%から4.7%に減少しているのが目立っている。

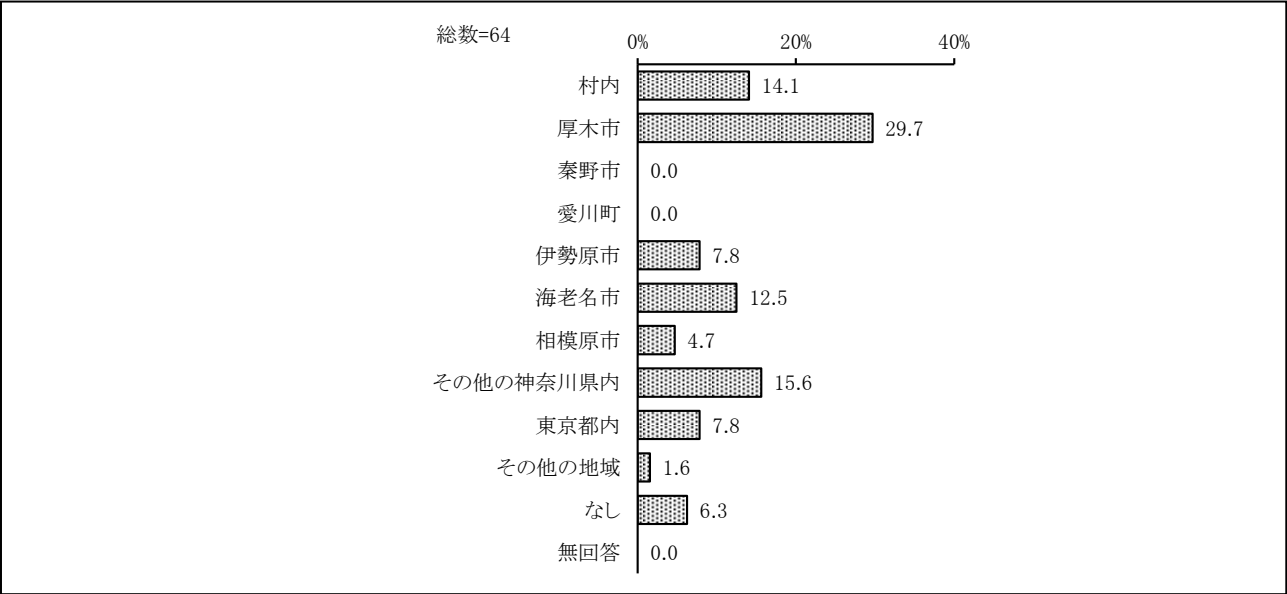
	全体	生まれたところだから	親や親族が住んでいたから	結婚した相手が住んでいたから	子どもや家族が健康に生活できるから	自然等の環境に魅力を感じたから	通勤・通学地が近いから	村の雰囲気が好きだから	行政サービスが気に入ったから	その他	無回答
令和3年度	64	48.4	35.9	4.7	-	6.3	-	-	4.7	-	-
平成28年度	98	43.9	30.6	13.3	1.0	4.1	-	1.0	-	4.1	2.0

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	生まれたところだから	親や親族が住んでいたから	結婚した相手が住んでいたから	子どもや家族が健康に生活できるから	自然等の環境に魅力を感じたから	通勤・通学地が近いから	村の雰囲気が好きだから	行政サービスが気に入ったから	その他	無回答
	全体	64	48.4	35.9	4.7	-	6.3	-	-	4.7	-	-
年齢	15～19歳	19	68.4	31.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	20～24歳	11	36.4	45.5	9.1	-	9.1	-	-	-	-	-
	25～29歳	10	40.0	40.0	-	-	10.0	-	-	10.0	-	-
	30～34歳	13	38.5	38.5	15.4	-	-	-	-	7.7	-	-
	35歳以上	8	37.5	25.0	-	-	25.0	-	-	12.5	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	71.4	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	40.0	40.0	8.0	-	4.0	-	-	8.0	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	35.7	42.9	7.1	-	14.3	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	66.7	26.7	-	-	-	-	-	6.7	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	-

問4 あなたの通勤・通学の場所はどこですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「厚木市」が 29.7%で最も多く、以下、「その他神奈川県内」15.6%、「村内」14.1%、「海老名市」12.5%の順で続いている。県内が約 80%を占め、東京都やその他の地域は 10%未満となっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「海老名市」が増加している。

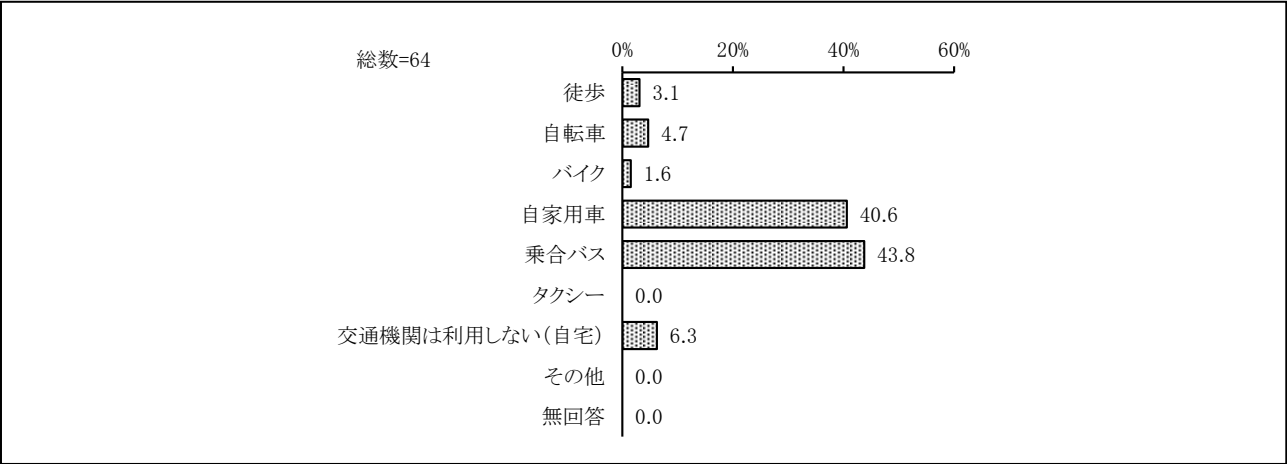
	全体	村内	厚木市	秦野市	愛川町	伊勢原市	海老名市	相模原市	その他の神奈川県内	東京都内	その他の地域	なし	無回答
令和3年度	64	14.1	29.7	-	-	7.8	12.5	4.7	15.6	7.8	1.6	6.3	-
平成28年度	98	13.3	27.6	3.1	6.1	1.0	2.0	6.1	12.2	11.2	3.1	8.2	6.1

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	村内	厚木市	秦野市	愛川町	伊勢原市	海老名市	相模原市	その他の神奈川県内	東京都内	その他の地域	なし	無回答
	全体	64	14.1	29.7	-	-	7.8	12.5	4.7	15.6	7.8	1.6	6.3	-
年齢	15～19歳	19	-	36.8	-	-	10.5	21.1	-	31.6	-	-	-	-
	20～24歳	11	27.3	18.2	-	-	18.2	-	-	9.1	9.1	-	18.2	-
	25～29歳	10	20.0	40.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-
	30～34歳	13	15.4	23.1	-	-	-	15.4	7.7	7.7	15.4	7.7	7.7	-
	35歳以上	8	12.5	25.0	-	-	12.5	-	-	25.0	12.5	-	12.5	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	28.6	-	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	12.0	28.0	-	-	4.0	16.0	8.0	16.0	4.0	4.0	8.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	14.3	14.3	-	-	14.3	14.3	7.1	7.1	14.3	-	14.3	-
	煤ヶ谷下地区	15	6.7	53.3	-	-	-	6.7	-	20.0	13.3	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-

問5 あなたが、通勤・通学に利用している主な交通手段は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「乗合バス」が 43.8%で最も多く、以下、「自家用車」40.6%が続いている。「自転車」、「徒歩」、「バイク」などは1桁台と少ない。「交通機関は利用しない(自宅)」は 6.3%となっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「乗合バス」が 19.4%から 43.8%へと大幅に増加している。これは高校生の比率が前回調査の 1.0%から 20.3%に増加していることが影響していると考えられる。

	全体	徒歩	自転車	バイク	自家用車	乗合バス	タクシー	交通機関は利用しない(自宅)	その他	無回答
令和3年度	64	3.1	4.7	1.6	40.6	43.8	-	6.3	-	-
平成28年度	98	4.1	-	4.1	54.1	19.4	-	5.1	3.1	10.2

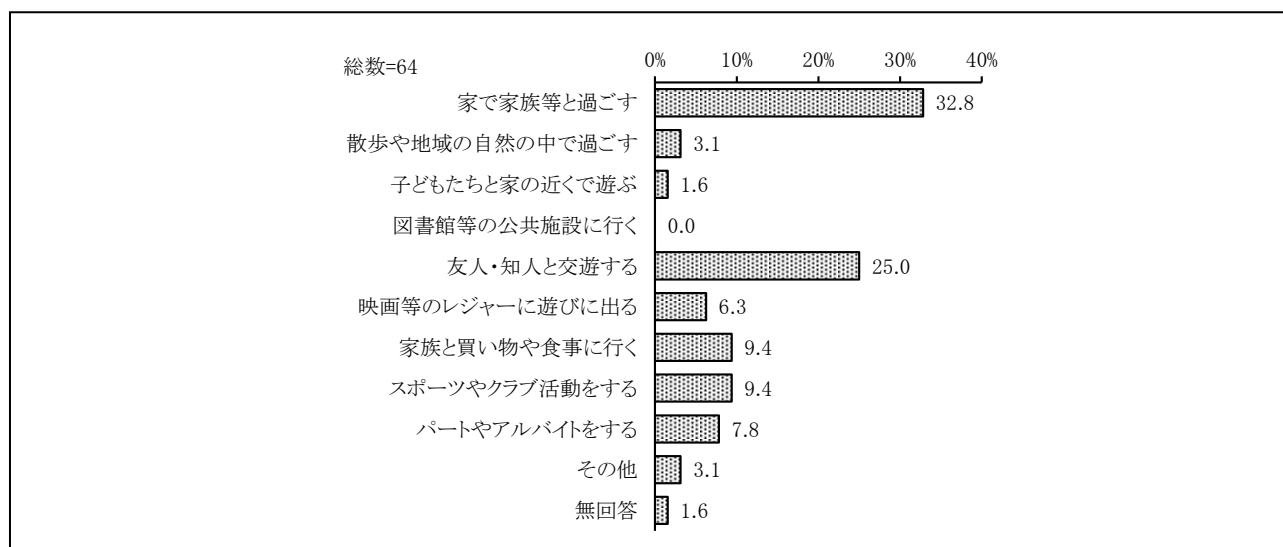
【属性別】

「乗合バス」は15～19歳では73.7%を占めている。

		全体	徒歩	自転車	バイク	自家用車	乗合バス	タクシー	交通機関は利用しない (自宅)	その他	無回答
	全体	64	3.1	4.7	1.6	40.6	43.8	-	6.3	-	-
年齢	15～19歳	19	5.3	10.5	-	10.5	73.7	-	-	-	-
	20～24歳	11	-	-	-	63.6	27.3	-	9.1	-	-
	25～29歳	10	10.0	10.0	-	40.0	40.0	-	-	-	-
	30～34歳	13	-	-	7.7	46.2	30.8	-	15.4	-	-
	35歳以上	8	-	-	-	75.0	25.0	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	14.3	-	-	28.6	42.9	-	14.3	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	4.0	4.0	4.0	48.0	36.0	-	4.0	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	-	-	-	50.0	42.9	-	7.1	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	-	13.3	-	26.7	60.0	-	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	-	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-

■日常生活などについてお伺いします

問6-1 あなたは、休日を主にどのようにしてお過ごしですか。該当する主なもの1つを選んでください。



【全体】

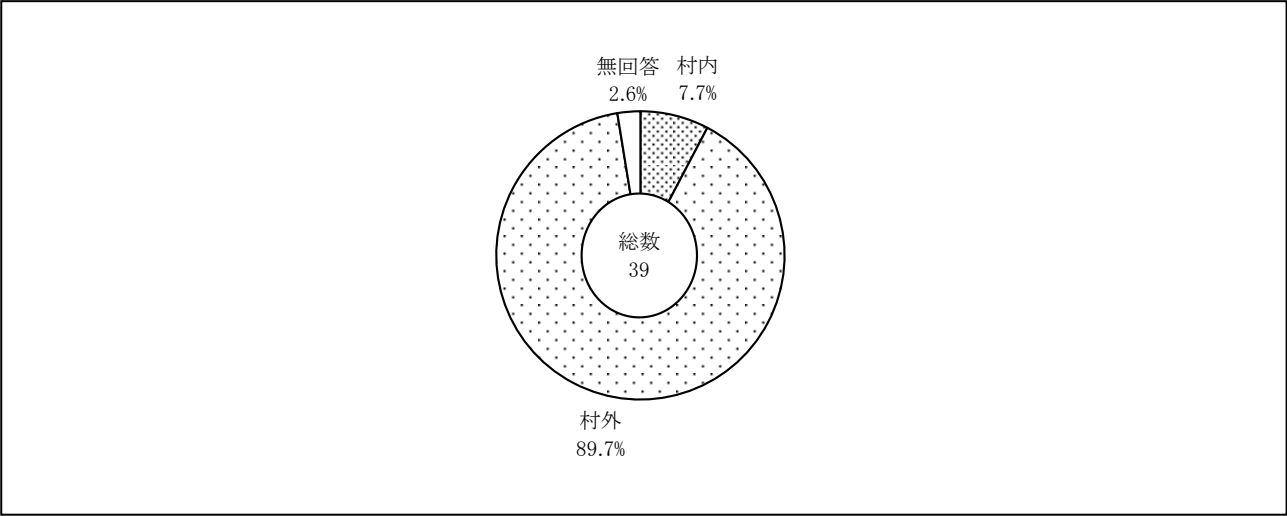
「家で家族等と過ごす」が32.8%で最も多く、「友人・知人と交遊する」が25.0%、「家族と買い物や食事に行く」及び「スポーツやクラブ活動をする」が9.4%が続いている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	家で家族等と過ごす	散歩や地域の自然の中で過ごす	子どもたちと家の近くで遊ぶ	図書館等の公共施設に行く	友人・知人と交遊する	映画等のレジャーに遊びに出る	家族と買い物や食事に行く	スポーツやクラブ活動をする	パートやアルバイトをする	その他	無回答
全体		64	32.8	3.1	1.6	-	25.0	6.3	9.4	9.4	7.8	3.1	1.6
年齢	15～19歳	19	31.6	5.3	-	-	15.8	-	-	21.1	21.1	5.3	-
	20～24歳	11	27.3	-	-	-	27.3	9.1	9.1	-	9.1	9.1	9.1
	25～29歳	10	30.0	-	-	-	70.0	-	-	-	-	-	-
	30～34歳	13	46.2	-	7.7	-	-	7.7	30.8	7.7	-	-	-
	35歳以上	8	12.5	12.5	-	-	25.0	25.0	12.5	12.5	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	-	-	-	42.9	-	-	14.3	14.3	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	32.0	4.0	4.0	-	28.0	8.0	12.0	12.0	-	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	28.6	7.1	-	-	21.4	7.1	14.3	7.1	14.3	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	33.3	-	-	-	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	6.7
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-

問6-2 問6-1で選択肢「5～10」を選んだ方にお伺いします。そのようにして過ごす主な場所はどこですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「家族と家で」や「地域の自然の中で」といった過ごし方をしない、人では、「村外」が 89.7%と圧倒的に多い。「村内」は 7.7%と少なく、休日は村外に出る人が圧倒的に多い。

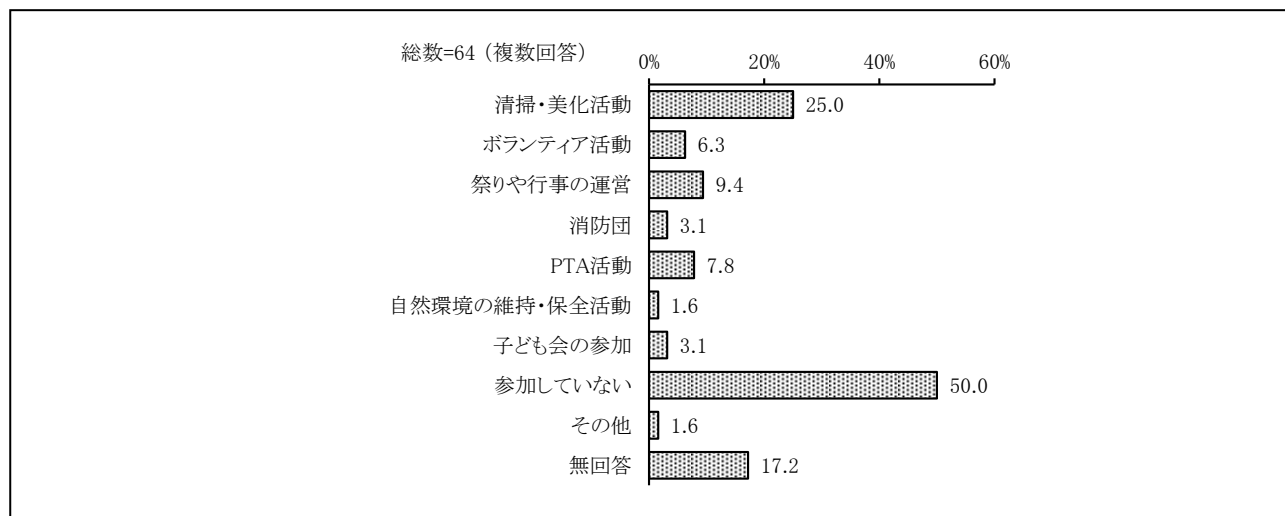
【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	村内	村外	無回答
全体		39	7.7	89.7	2.6
年齢	15～19歳	12	16.7	83.3	-
	20～24歳	7	-	85.7	14.3
	25～29歳	7	-	100.0	-
	30～34歳	6	16.7	83.3	-
	35歳以上	6	-	100.0	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	5	20.0	80.0	-
	煤ヶ谷中地区	15	-	100.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	9	11.1	88.9	-
	煤ヶ谷下地区	9	11.1	88.9	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	1	-	-	100.0

2-2 地域活動

問7 あなたは、地域の活動に参加されていますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

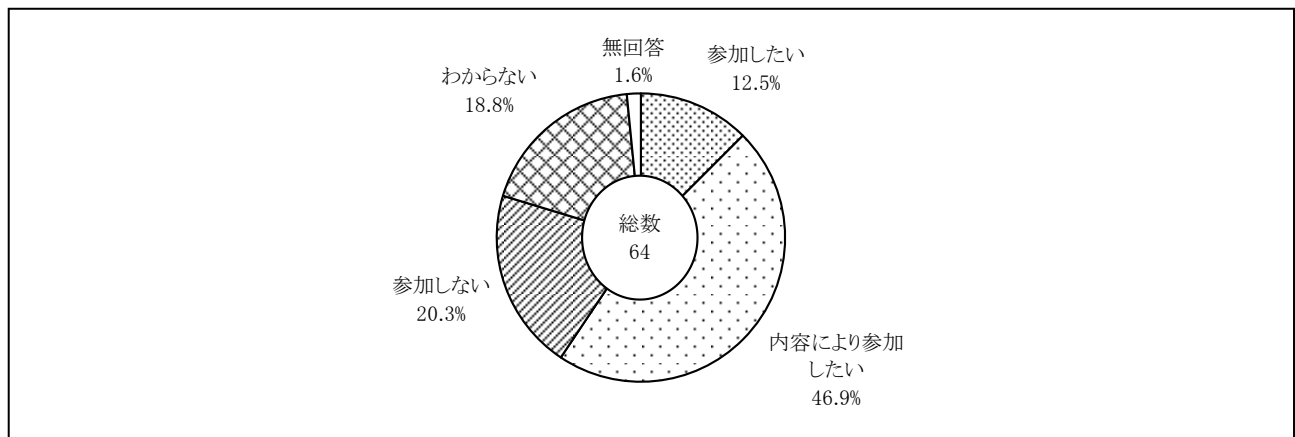
「参加していない」が半数を占める。参加している人では「清掃・美化活動」が25.0%で最も多く、「祭りや行事の運営」9.4%、「PTA活動」7.8%、「ボランティア活動」6.3%などがこれに続いている。

【属性別】

サンプル数が少なく分析できない。

		全体	清掃・美化活動	ボランティア活動	祭りや行事の運営	消防団	PTA活動	自然環境の維持・保全活動	子ども会の参加	参加していない	その他	無回答
	全体	64	25.0	6.3	9.4	3.1	7.8	1.6	3.1	50.0	1.6	17.2
年齢	15～19歳	19	31.6	15.8	21.1	-	-	-	-	36.8	5.3	21.1
	20～24歳	11	27.3	-	9.1	9.1	-	-	-	54.5	-	9.1
	25～29歳	10	20.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-	50.0	-	20.0
	30～34歳	13	23.1	-	-	-	15.4	7.7	7.7	61.5	-	15.4
	35歳以上	8	25.0	-	-	-	37.5	-	12.5	62.5	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	-	28.6	14.3	-	-	-	42.9	14.3	-
	煤ヶ谷中地区	25	28.0	8.0	4.0	4.0	12.0	4.0	8.0	48.0	-	20.0
	清水ヶ丘・金翅地区	14	14.3	-	7.1	-	14.3	-	-	57.1	-	14.3
	煤ヶ谷下地区	15	26.7	13.3	13.3	-	-	-	-	53.3	-	20.0
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3

問8-1 あなたは、今後の地域活動への参加をどのように考えていますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「内容により参加したい」が46.9%で最も多く、「参加したい」の12.5%を合わせると60%弱が参加意向を持っている。一方、「参加しない」は20.3%となっている。

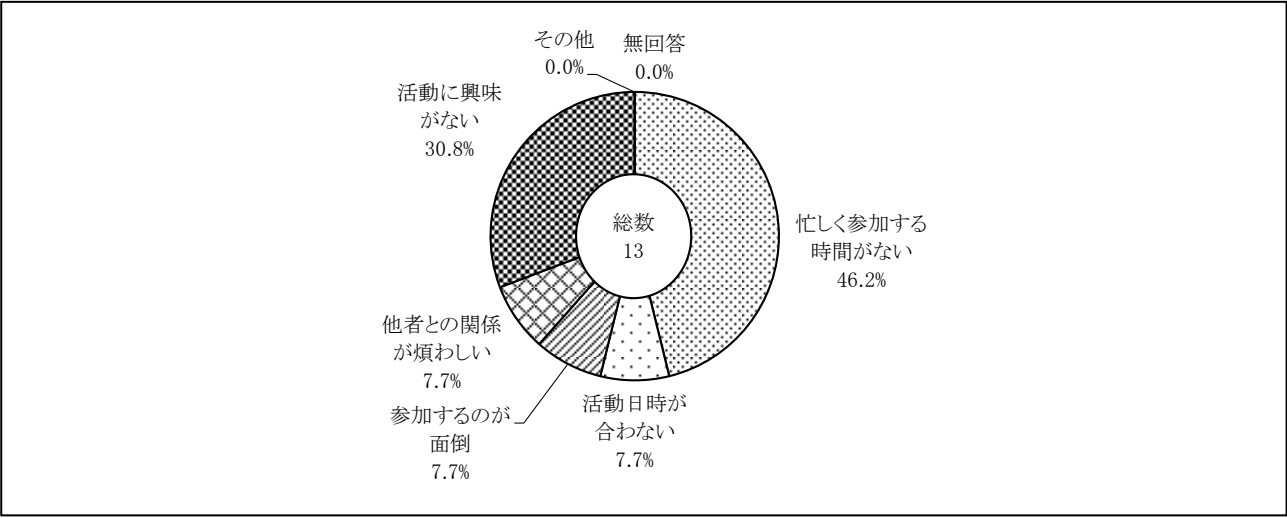
家族編の結果と比較すると参加意向は少なく、「参加しない」が多くなっている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	参加したい	内容により参加したい	参加しない	わからない	無回答
全体		64	12.5	46.9	20.3	18.8	1.6
年齢	15～19歳	19	26.3	47.4	15.8	10.5	-
	20～24歳	11	9.1	36.4	9.1	45.5	-
	25～29歳	10	10.0	50.0	30.0	10.0	-
	30～34歳	13	7.7	53.8	23.1	7.7	7.7
	35歳以上	8	-	62.5	25.0	12.5	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	42.9	42.9	-	14.3	-
	煤ヶ谷中地区	25	4.0	56.0	16.0	20.0	4.0
	清水ヶ丘・金翅地区	14	7.1	64.3	14.3	14.3	-
	煤ヶ谷下地区	15	20.0	20.0	33.3	26.7	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	33.3	66.7	-	-

問8-2 問8-1で、「3. 参加しない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「忙しく参加する時間がない」が46.3%で最も多いが、「活動に興味がない」30.8%、「参加するのが面倒」7.7%、「他者との関係が煩わしい」7.7%といった参加に否定的な意見の合計もほぼ同数となっている。

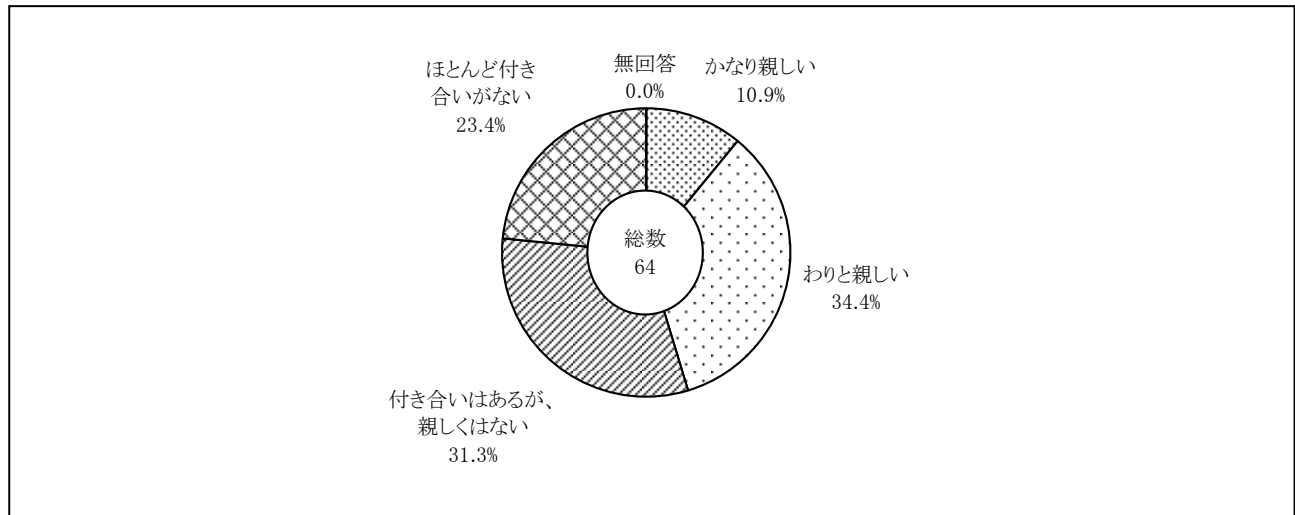
家族編の結果と比較すると「忙しく参加する時間がない」や「活動に興味がない」がともに10ポイント程度多い。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	忙しく参加する時間がない	活動日時が合わない	参加するのが面倒	他者との関係が煩わしい	活動に興味がない	その他	無回答
全体		13	46.2	7.7	7.7	7.7	30.8	-	-
年齢	15～19歳	3	100.0	-	-	-	-	-	-
	20～24歳	1	-	-	100.0	-	-	-	-
	25～29歳	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-
	30～34歳	3	66.7	-	-	-	33.3	-	-
	35歳以上	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	-	*	*	*	*	*	*	*
	煤ヶ谷中地区	4	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	2	-	-	-	50.0	50.0	-	-
	煤ヶ谷下地区	5	80.0	-	-	-	20.0	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-

問9 ご近所の皆さんとの関係性はいかがですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「わりと親しい」が34.4%で最も多いものの、「付き合いはあるが、親しくはない」も31.3%と多く、「ほとんど付き合いがない」も23.4%となっておる。

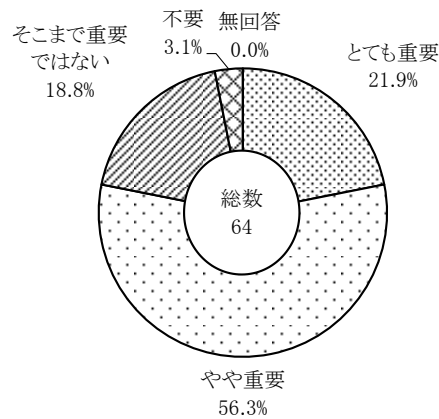
家族編の結果と比較すると、近所と親しく付き合っている人は少なく、若い世代では付き合いが希薄になっている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	かなり親しい	わりと親しい	付き合いはあるが、親しくはない	ほとんど付き合いがない	無回答
全体		64	10.9	34.4	31.3	23.4	-
年齢	15～19歳	19	26.3	47.4	21.1	5.3	-
	20～24歳	11	-	45.5	36.4	18.2	-
	25～29歳	10	10.0	20.0	50.0	20.0	-
	30～34歳	13	7.7	23.1	15.4	53.8	-
	35歳以上	8	-	12.5	50.0	37.5	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	14.3	42.9	14.3	28.6	-
	煤ヶ谷中地区	25	12.0	32.0	32.0	24.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	7.1	21.4	42.9	28.6	-
	煤ヶ谷下地区	15	13.3	40.0	26.7	20.0	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	66.7	33.3	-	-

問 10 地域の活性化のため、地域にお住まいの皆さんどうしの関係を深めることについて、どのように考えますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「やや重要」が56.3%、「とても重要」が21.9%で、合計すると80%弱が関係を深めることが重要と考えている。「そこまで重要ではない」は18.8%、「不要」は3.1%と少ない。

家族編の結果と比較すると、大きな差はなく、現在の付き合いは少ないものの、近所関係を深めることについては、若い世代も家族編と同様に重要と考えていることが示されている。

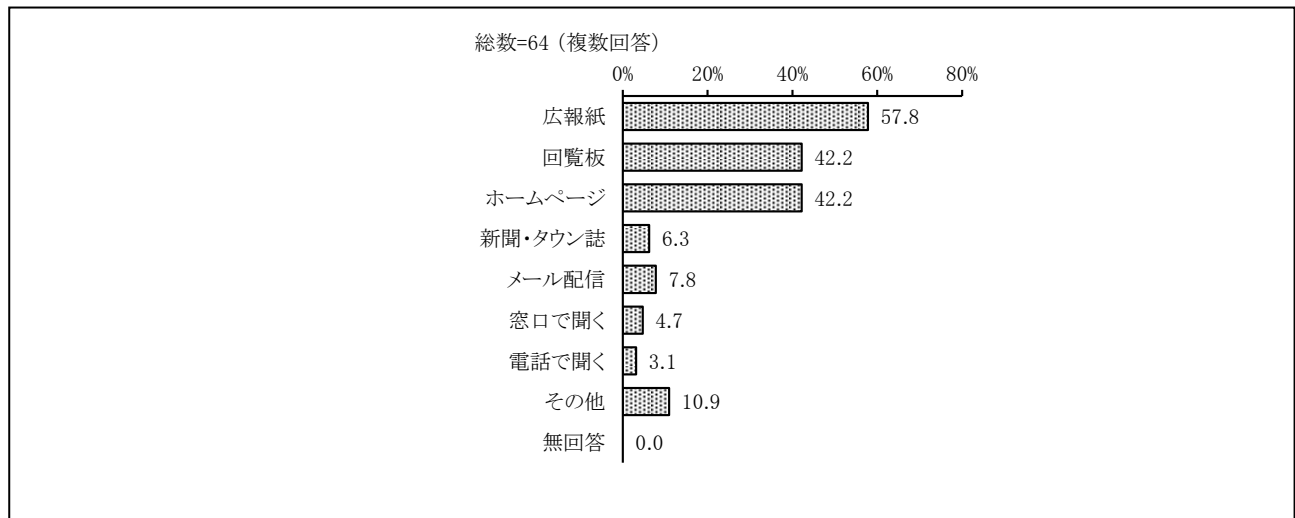
【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	とても重要	やや重要	そこまで重要ではない	不要	無回答
全体		64	21.9	56.3	18.8	3.1	-
年齢	15～19歳	19	31.6	52.6	15.8	-	-
	20～24歳	11	36.4	54.5	9.1	-	-
	25～29歳	10	10.0	80.0	10.0	-	-
	30～34歳	13	23.1	15.4	46.2	15.4	-
	35歳以上	8	-	87.5	12.5	-	-
	35歳以上	8	-	87.5	12.5	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	42.9	28.6	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	20.0	56.0	20.0	4.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	28.6	57.1	14.3	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	13.3	60.0	20.0	6.7	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	66.7	-	-	-

2-3 情報通信

問 11 あなたは、清川村の情報をどのように得ていますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

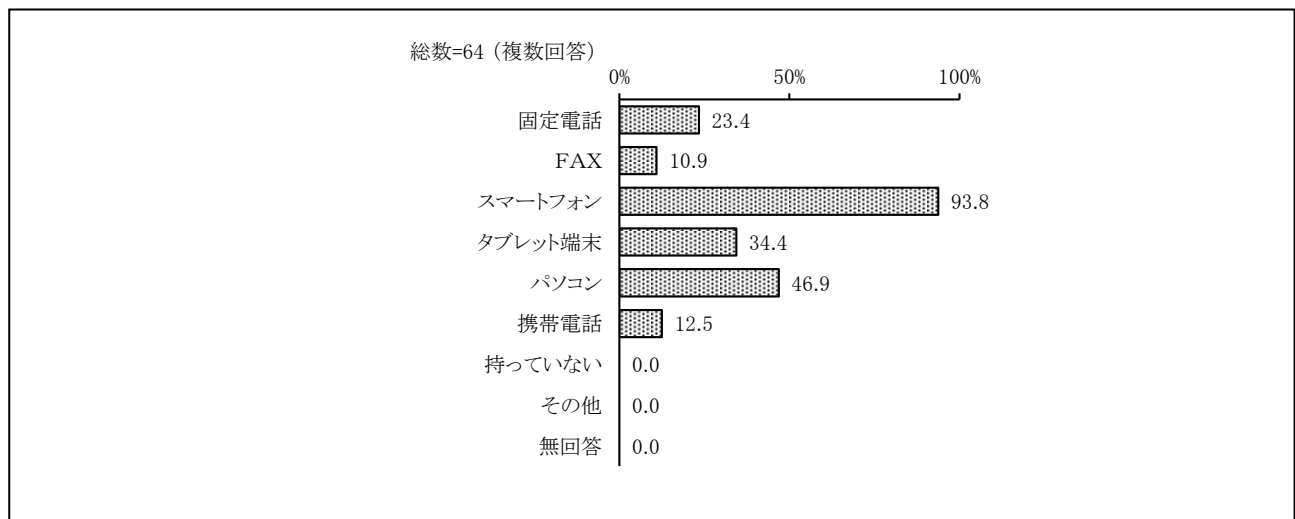
「広報紙」が 57.8%で最も多く、「回覧板」及び「ホームページ」が 42.2%が続いている。家族編の結果と比較すると、「広報紙」や「回覧板」、「新聞・タウン誌」が 20～30 ポイント程度少ない一方、「ホームページ」は 10 ポイント程度高くなっている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	広報紙	回覧板	ホームページ	新聞・タウン誌	メール配信	窓口で聞く	電話で聞く	その他	無回答
全体		64	57.8	42.2	42.2	6.3	7.8	4.7	3.1	10.9	-
年齢	15～19歳	19	47.4	42.1	31.6	5.3	-	5.3	-	5.3	-
	20～24歳	11	63.6	36.4	18.2	9.1	9.1	-	-	18.2	-
	25～29歳	10	70.0	50.0	60.0	-	10.0	10.0	-	20.0	-
	30～34歳	13	61.5	46.2	53.8	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	-
	35歳以上	8	75.0	25.0	62.5	-	25.0	-	12.5	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	71.4	14.3	42.9	14.3	-	14.3	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	56.0	48.0	56.0	4.0	12.0	8.0	4.0	12.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	78.6	35.7	35.7	-	14.3	-	7.1	7.1	-
	煤ヶ谷下地区	15	40.0	53.3	26.7	13.3	-	-	-	13.3	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	33.3	-

問 12 あなたはどのような情報通信機器を利用していますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「スマートフォン」が 93.8%で最も多く、「パソコン」46.9%、「タブレット端末」34.4%が続いている。「固定電話」は 23.4%となっている。

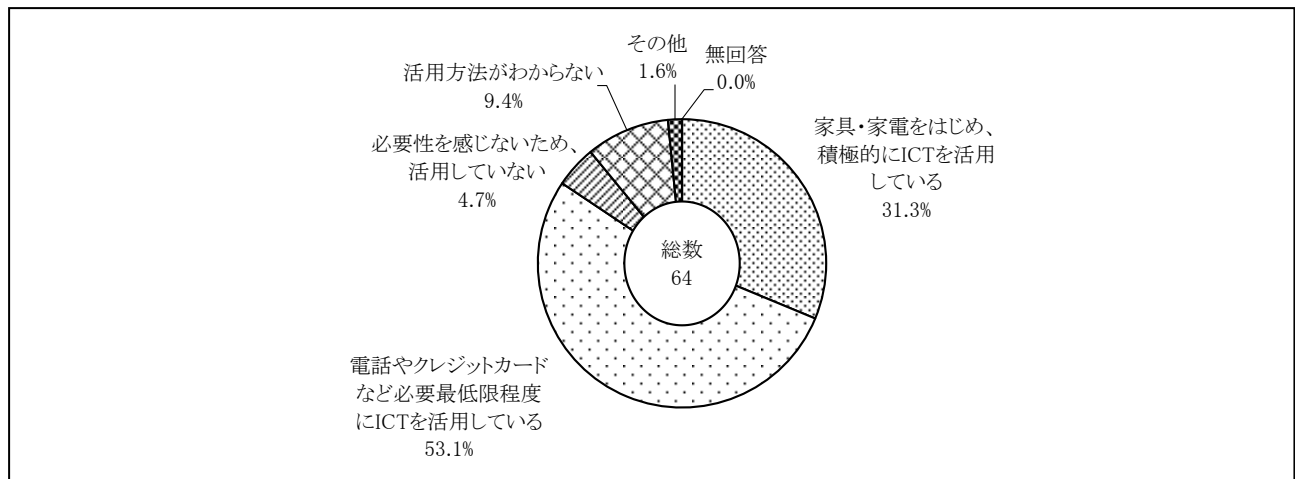
家族編の結果と比較すると、「パソコン」はほぼ同じであるのに対し、「スマートフォン」では 30 ポイント程度、「タブレット端末」では 15.8 ポイント多く、若い世代ではデジタル通信機器の普及が進んでいる。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全 体	固 定 電 話	F A X	ス マ ー ト フ ォ ン	タ ブ レ ッ ト 端 末	パ ソ コ ン	携 帯 電 話	持 っ て い な い	そ の 他	無 回 答
全体		64	23.4	10.9	93.8	34.4	46.9	12.5	-	-	-
年 齢	15～19歳	19	21.1	-	89.5	36.8	36.8	15.8	-	-	-
	20～24歳	11	18.2	9.1	100.0	9.1	54.5	-	-	-	-
	25～29歳	10	20.0	20.0	100.0	60.0	40.0	10.0	-	-	-
	30～34歳	13	30.8	15.4	92.3	46.2	38.5	15.4	-	-	-
	35歳以上	8	37.5	25.0	87.5	12.5	75.0	25.0	-	-	-
居 住 地 区	煤ヶ谷上地区	7	-	-	85.7	14.3	28.6	28.6	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	20.0	4.0	92.0	36.0	48.0	8.0	-	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	35.7	21.4	100.0	28.6	64.3	7.1	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	33.3	20.0	93.3	46.7	46.7	20.0	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	-	100.0	33.3	-	-	-	-	-

問 13 あなたは普段の生活の中で、どの程度 ICT（情報通信技術）を活用していますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「電話やクレジットカードなど必要最低限程度に ICT を活用している」が 53.1%で最も多く、「家具・家電をはじめ、積極的に ICT を活用している」の 31.3%と合わせると 80%以上が ICT を活用している。また、「要性を感じないため、活用していない」は 4.7%、「活用方法がわからない」は 9.4%となっている。

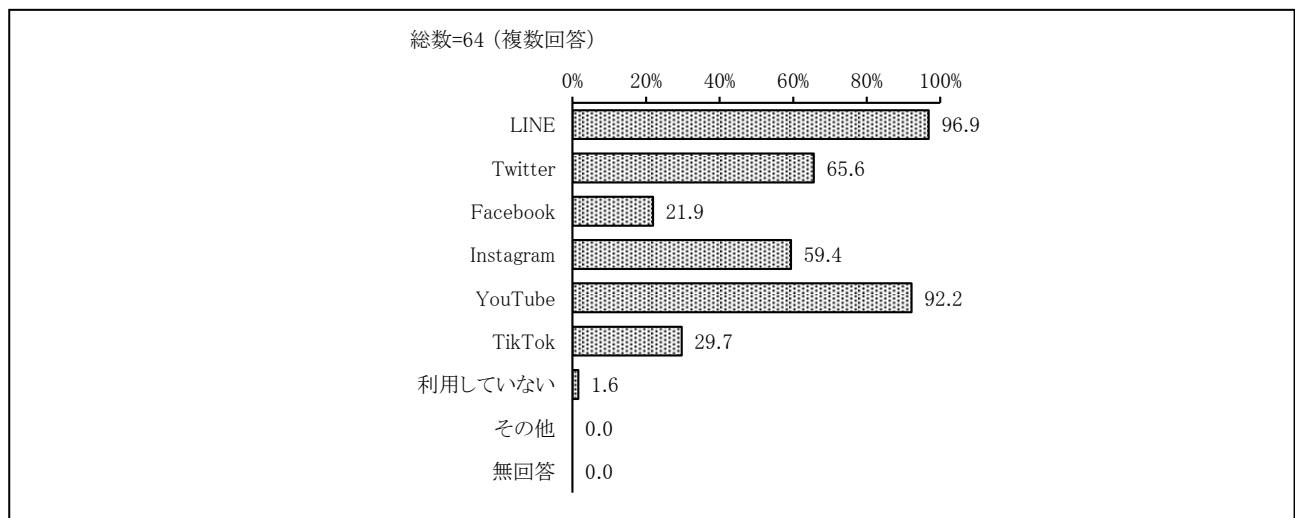
家族編の結果と比較すると、「家具・家電をはじめ、積極的に ICT を活用している」が 20 ポイント近く多く、若い世代での ICT 利用が進んでいることがうかがわれる。また、その一方で、「活用方法がわからない」は家族編とほぼ同比率で、若い世代でもいわゆるデジタル音痴といわれる層が一定数存在することを示している。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	家具・家電をはじめ、積極的に ICT を活用している	電話やクレジットカードなど必要最低限程度に ICT を活用している	必要性を感じないため、活用していない	活用方法がわからない	その他	無回答
全体		64	31.3	53.1	4.7	9.4	1.6	-
年齢	15～19歳	19	42.1	42.1	-	10.5	5.3	-
	20～24歳	11	18.2	54.5	27.3	-	-	-
	25～29歳	10	60.0	30.0	-	10.0	-	-
	30～34歳	13	15.4	69.2	-	15.4	-	-
	35歳以上	8	12.5	75.0	-	12.5	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	14.3	57.1	-	14.3	14.3	-
	煤ヶ谷中地区	25	40.0	52.0	4.0	4.0	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	35.7	50.0	-	14.3	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	26.7	53.3	6.7	13.3	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	66.7	33.3	-	-	-

問 14 あなたはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用していますか。該当するものすべてを選んでください。



【全体】

「LINE」が96.9%、「YouTube」が92.2%となっており、若い世代では圧倒的に利用者が多い。また、「Twitter」や「Instagram」も60%前後が利用している。

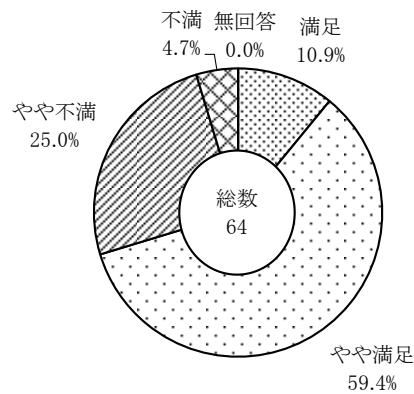
家族編の結果と比較すると、いずれのSNSサービスも若い世代の方が、利用率が高い。また、「利用していない」は家族編では約30%存在しているが、若い世代では1.6%とほとんどいない。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全 体	L I N E	T w i t t e r	F a c e b o o k	I n s t a g r a m	Y o u T u b e	T i k T o k	利 用 し て い な い	そ の 他	無 回 答
全体		64	96.9	65.6	21.9	59.4	92.2	29.7	1.6	-	-
年 齢	15～19歳	19	100.0	68.4	21.1	84.2	100.0	47.4	-	-	-
	20～24歳	11	100.0	90.9	-	45.5	90.9	27.3	-	-	-
	25～29歳	10	100.0	80.0	30.0	60.0	100.0	30.0	-	-	-
	30～34歳	13	92.3	46.2	30.8	38.5	76.9	23.1	7.7	-	-
	35歳以上	8	87.5	25.0	37.5	50.0	87.5	12.5	-	-	-
居 住 地 区	煤ヶ谷上地区	7	100.0	28.6	-	71.4	85.7	57.1	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	96.0	64.0	20.0	56.0	88.0	32.0	4.0	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	92.9	64.3	42.9	64.3	92.9	21.4	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	100.0	80.0	20.0	60.0	100.0	26.7	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	100.0	100.0	-	33.3	100.0	-	-	-	-

問 15-1 清川村の行政サービスのデジタル化の現状に対する満足度を教えてください。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

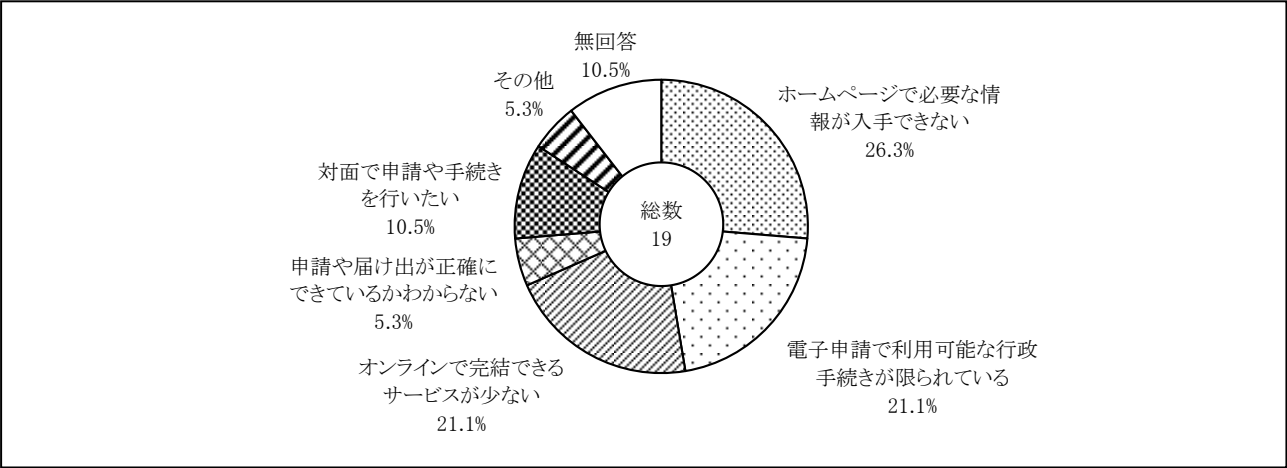
「やや満足」が 59.4%で最も多く、「満足」の 10.9%と合わせると 70%以上の人が評価している。一方、「不満」は 4.7%、「やや不満」は 25.0%で、約 30%の人は厳しい評価となっている。家族編と比較すると、評価はほぼ同様の傾向となっていて差はほとんどない。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
全体		64	10.9	59.4	25.0	4.7	-
年齢	15～19歳	19	10.5	63.2	21.1	5.3	-
	20～24歳	11	9.1	63.6	27.3	-	-
	25～29歳	10	20.0	70.0	10.0	-	-
	30～34歳	13	-	46.2	38.5	15.4	-
	35歳以上	8	12.5	62.5	25.0	-	-
	35歳以上	8	12.5	62.5	25.0	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	14.3	42.9	42.9	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	12.0	60.0	24.0	4.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	-	71.4	28.6	-	-
	煤ヶ谷下地区	15	13.3	53.3	20.0	13.3	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	33.3	66.7	-	-	-

問 15-2 問 15-1 で「3. やや不満」「4. 不満」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。
該当するもの1つを選んでください。



【全体】

行政サービスのデジタル化の不満については、「ホームページで必要な情報が入手できない」が 26.3%で最も多く、「電子申請で利用可能な行政手続きが限られている」及び「オンラインで完結できるサービスが少ない」が 21.1%で続いている。「対面で申請や手続きを行いたい」は 10.5%となっている。

家族編の結果と比較すると、傾向に大きな違いはないが、「電子申請で利用可能な行政手続きが限られている」や「オンラインで完結できるサービスが少ない」が多い一方、「申請や届け出が正確にできているかわからない」や「対面で申請や手続きを行いたい」は少なくなっている。

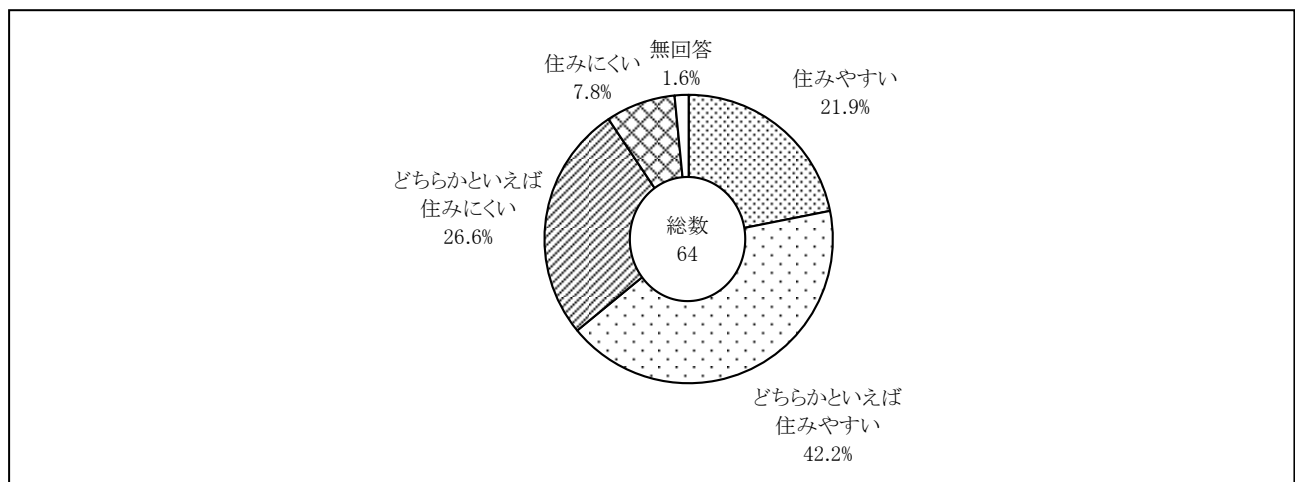
【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	ホームページで必要な情報が入手できない	電子申請で利用可能な行政手続きが限られている	オンラインで完結できるサービスが少ない	申請や届け出が正確にできているかわからない	対面で申請や手続きを行いたい	その他	無回答
全体		19	26.3	21.1	21.1	5.3	10.5	5.3	10.5
年齢	15～19歳	5	20.0	-	60.0	-	-	-	20.0
	20～24歳	3	-	33.3	-	-	-	33.3	33.3
	25～29歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	30～34歳	7	28.6	42.9	14.3	14.3	-	-	-
	35歳以上	2	50.0	-	-	-	50.0	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	3	-	33.3	66.7	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	7	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	-	14.3
	清水ヶ丘・金翅地区	4	25.0	50.0	-	-	-	25.0	-
	煤ヶ谷下地区	5	60.0	-	-	-	20.0	-	20.0
	宮ヶ瀬・札掛地区	-	*	*	*	*	*	*	*

2-3 定住意向・村づくりへの取組

問 16-1 あなたにとって、清川村は住みやすいところですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「どちらかといえば住みやすい」が42.2%、「住みやすい」が21.9%となっており、この2つを合計した「住みやすいと感じている人」が60%以上を占めている。

「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」はそれぞれ7.8%と26.2%で、「住みにくいと感じている人」は30%強になっている。

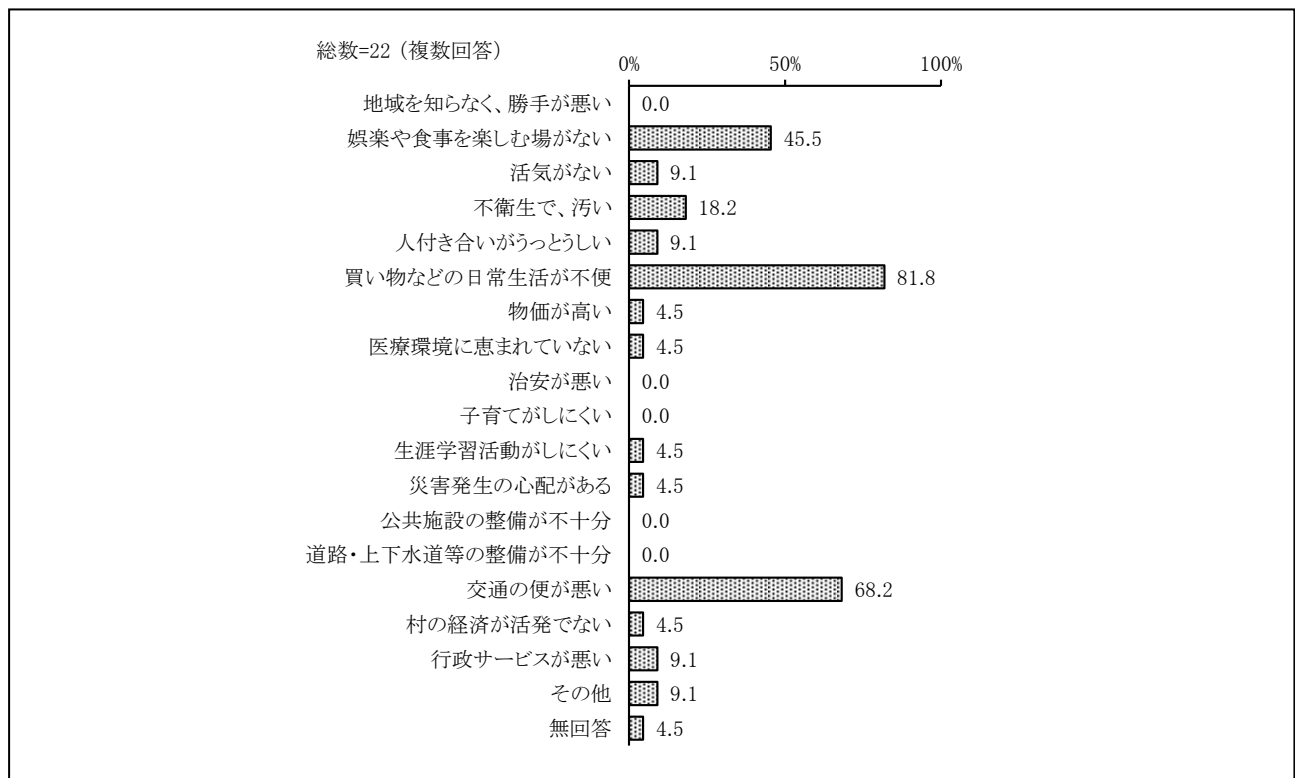
家族編の結果と比較すると、「住みやすいと感じている人」は20ポイント近く少なく、「住みにくいと感じている人」は10ポイント程度多くなっており、若い世代では住みにくいと感じている人が相対的に多い。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体		64	21.9	42.2	26.6	7.8	1.6
年齢	15～19歳	19	26.3	47.4	21.1	—	5.3
	20～24歳	11	9.1	54.5	27.3	9.1	—
	25～29歳	10	20.0	40.0	30.0	10.0	—
	30～34歳	13	30.8	23.1	23.1	23.1	—
	35歳以上	8	25.0	50.0	25.0	—	—
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	42.9	14.3	—	14.3
	煤ヶ谷中地区	25	28.0	40.0	24.0	8.0	—
	清水ヶ丘・金翅地区	14	14.3	57.1	21.4	7.1	—
	煤ヶ谷下地区	15	20.0	33.3	33.3	13.3	—
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	—	33.3	66.7	—	—

問 16-2 問 16-1 で、「3. どちらかといえば住みにくい」「4. 住みにくい」と選んだ方にお伺いします。そのように思う理由は何ですか。該当するもの3つを選んでください。



【全体】

「買い物などの日常生活が不便」が 81.8%で最も多く、以下、「交通の便が悪い」68.2%、「娯楽や食事を楽しむ場がない」45.5%が続いている。

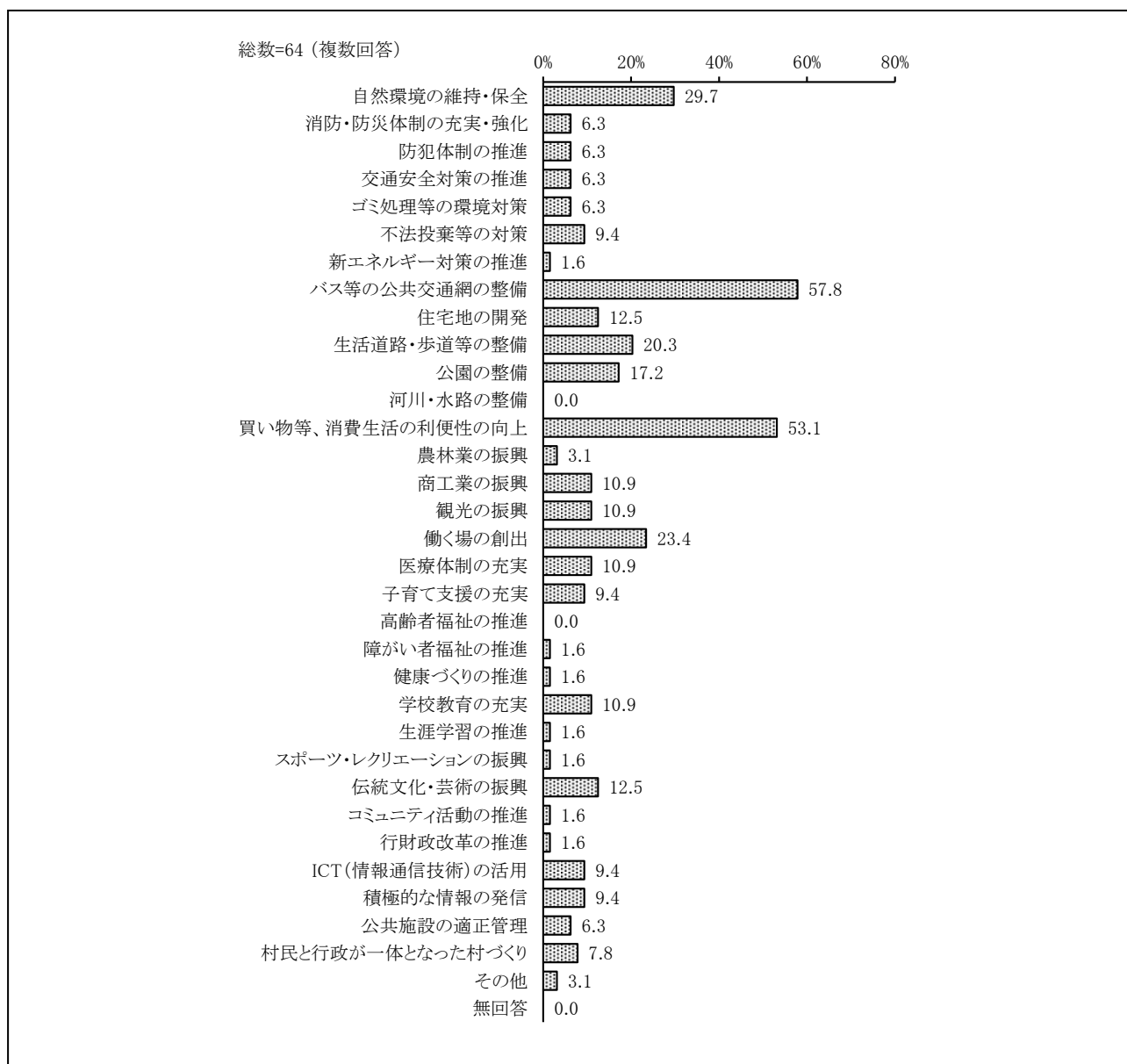
家族編と比較すると、「買い物などの日常生活が不便」や「交通の便が悪い」が多いほか、家族編では 10%台で少ない「娯楽や食事を楽しむ場がない」が 30 ポイント以上多くなっており、生活利便性の低さや若い世代が楽しめる場が不足していることが大きな不満要因になっている。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	地域を知らなく、 勝手が悪い	娯楽や食事を 楽しむ場がない	活気がない	不衛生で、 汚い	人付き合いが うっとうしい	買い物などの 日常生活が不便	物価が高い	医療環境に 恵まれていない	治安が悪い	子育てが しにくい	生涯学習活動が しにくい	災害発生の心配が ある	公共施設の整備が 不十分	道路・上下水道等の 整備が不十分	交通の便が悪い	村の経済が活発で ない	行政サービスが 悪い	その他	無回答
	全体	22	-	45.5	9.1	18.2	9.1	81.8	4.5	4.5	-	-	4.5	4.5	-	-	68.2	4.5	9.1	9.1	4.5
年齢	15～19歳	4	-	50.0	-	25.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	75.0	-	25.0	-	-
	20～24歳	4	-	75.0	25.0	25.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	25.0	-
	25～29歳	4	-	25.0	-	-	-	75.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	75.0	25.0	25.0	25.0	-
	30～34歳	6	-	50.0	-	33.3	-	66.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	16.7
	35歳以上	2	-	50.0	-	-	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	8	-	62.5	-	37.5	-	87.5	-	-	-	-	-	12.5	-	-	50.0	-	-	12.5	12.5
	清水ヶ丘・金翅地区	4	-	25.0	-	-	50.0	100.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	7	-	42.9	-	14.3	-	57.1	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-	71.4	14.3	28.6	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	2	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-

問 17 今後、より一層住みやすい清川村にしていくために、力を入れてほしいものは何ですか。該当する主なもの4つを選んでください。



【全体】

「バス等の公共交通網の整備」が 57.8%で最も多く、「買い物等、消費生活の利便性の向上」53.1%、「自然環境の維持・保全」29.7%、「働く場の創出」23.4%、「生活道路・歩道等の整備」20.3%と続いている。

【前回比較】

「買い物等、消費生活の利便性の向上」や「子育て支援の充実」は前回調査に比べて 10 ポイント以上下がっており、特に「買い物等、消費生活の利便性の向上」は 20 ポイント以上下がっている。一方、「自然環境の維持・保全」は 10 ポイント以上増加している。

		全体	自然環境の維持・保全	消防・防災体制の充実・強化	防犯体制の推進	交通安全対策の推進	ゴミ処理等の環境対策	不法投棄等の対策	新エネルギー対策の推進	バス等の公共交通網の整備	住宅地の開発	生活道路・歩道等の整備*	公園の整備	河川・水路の整備	買い物等、消費生活の利便性の向上	農林業の振興	商工業の振興	観光の振興	働く場の創出	医療体制の充実	子育て支援の充実	高齢者福祉の推進	障がい者福祉の推進	健康づくりの推進	学校教育の充実	生涯学習の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	伝統文化・芸術の振興	コミュニティ活動の推進	行財政改革の推進	ICT（情報通信技術）の活用	積極的な情報の発信	公共施設の適正管理	村民と行政が一体となった村づくり	その他
令和3年度	64	29.7	6.3	6.3	6.3	6.3	9.4	1.6	57.8	12.5	20.3	17.2	-	53.1	3.1	10.9	10.9	23.4	10.9	9.4	-	1.6	1.6	10.9	1.6	1.6	12.5	1.6	1.6	9.4	9.4	6.3	7.8	3.1	
平成28年度	98	11.2	6.1	9.2	3.1	2.0	3.1	3.1	60.2	10.2	18.4	13.3	5.1	79.6	0.0	16.3	13.3	32.7	18.4	23.5	16.3	4.1	×	10.2	1.0	6.1	3.1	2.0	2.0	×	×	×	8.2	3.1	

※過年度調査では「生活道路等の整備」と「歩道の整備」は別の選択肢であったため合算している。「×」は前回調査では選択肢がなかった項目

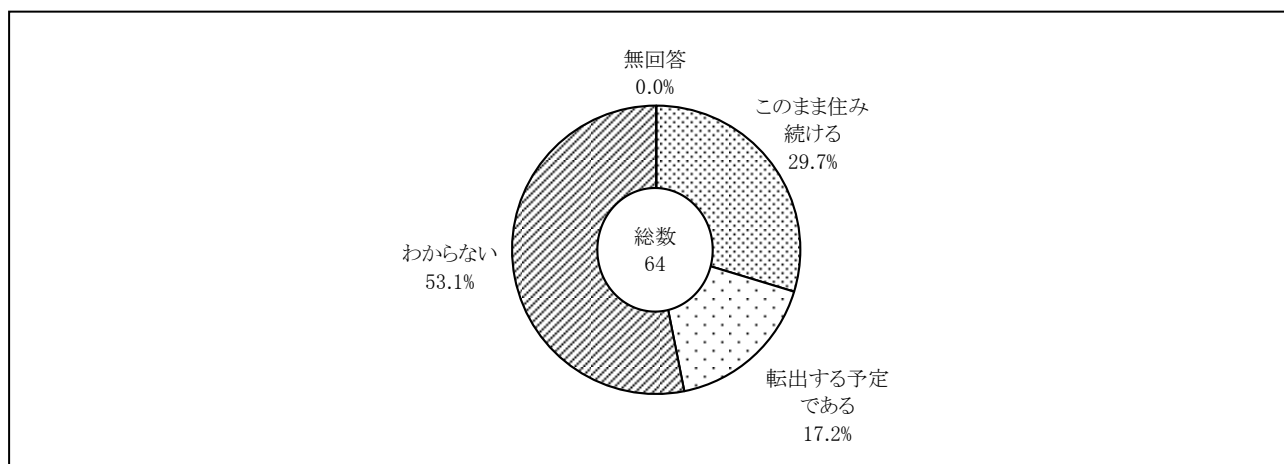
【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

|--|

■あなたの定住意向についてお伺いします

問 18-1 あなたは、今後、清川村に住み続けますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「わからない」が 53.1%で最も多い。「このまま住み続ける」は 29.7%、「転出する予定である」は 17.2%となっている。

家族編では定住意向が 90%近くと高い一方で、若い世代では約 30%にとどまっており、若い世代を引きつける魅力が十分にあるとはいえない状況にある。

【前回比較】

前回調査との比較でも、「このまま住み続ける」は 10 ポイント近く減少している。

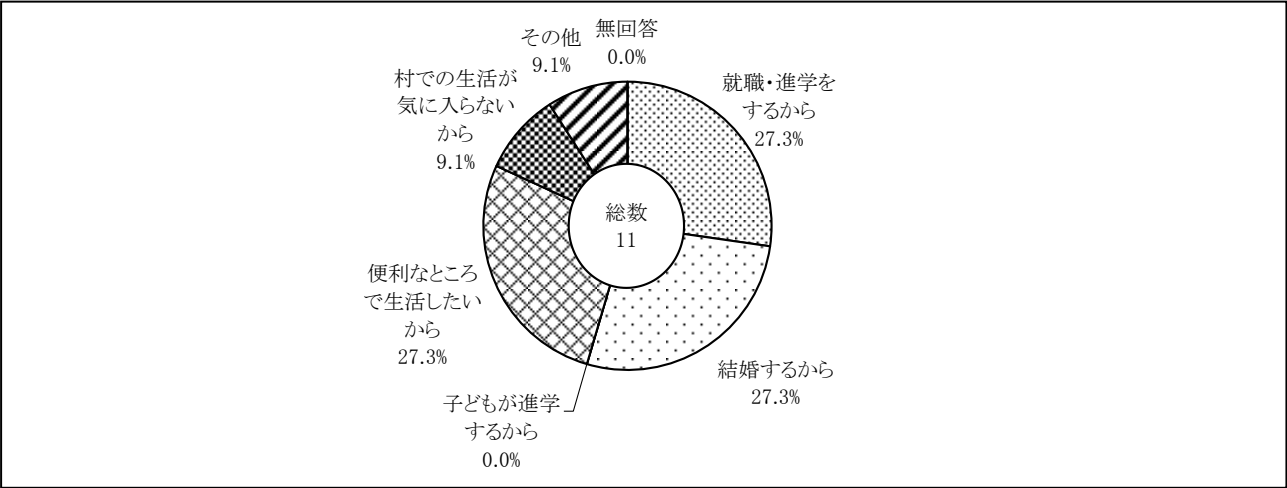
	全体	このまま住み続ける	転出する予定である	わからない
令和3年度	64	29.7	17.2	53.1
平成28年度	98	38.8	23.5	37.8

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	このまま住み続ける	転出する予定である	わからない	無回答
	全体	64	29.7	17.2	53.1	-
年齢	15～19歳	19	15.8	21.1	63.2	-
	20～24歳	11	36.4	9.1	54.5	-
	25～29歳	10	60.0	10.0	30.0	-
	30～34歳	13	23.1	38.5	38.5	-
	35歳以上	8	37.5	-	62.5	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	28.6	42.9	-
	煤ヶ谷中地区	25	44.0	8.0	48.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	14.3	7.1	78.6	-
	煤ヶ谷下地区	15	26.7	33.3	40.0	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	33.3	66.7	-

問 18-2 あなたが、転出を考える理由は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「就職・進学をするから」、「結婚するから」、「便利なところで生活したいから」が27.3%で並んでいる。

【前回比較】

※サンプル数が少ないため分析できない。

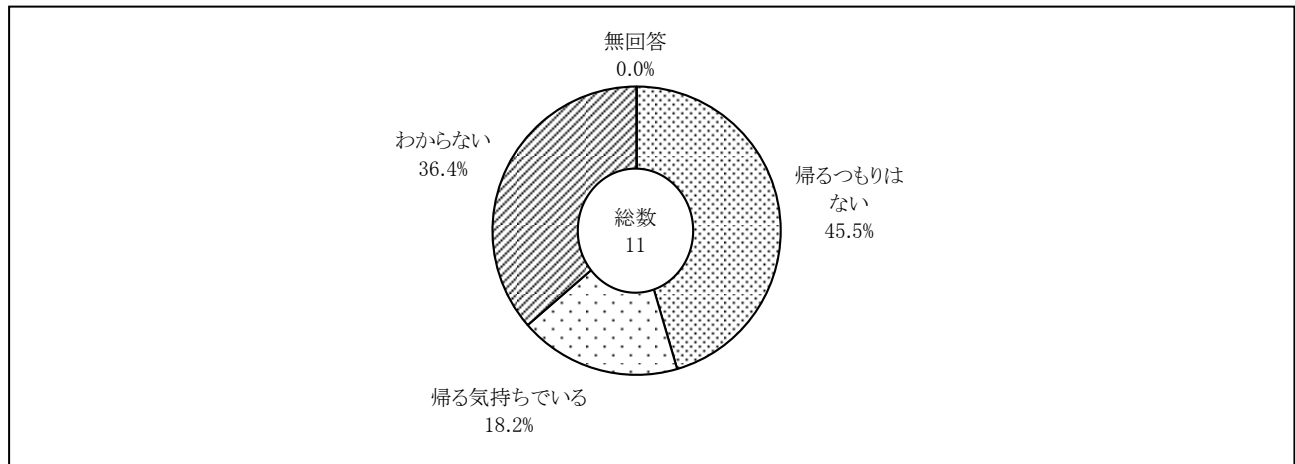
	全体	就職・進学をするから	結婚するから	子どもが進学するから	生活便利したところから	村入りの生活が気に入らないから	その他	無回答
令和3年度	11	27.3	27.3	-	27.3	9.1	9.1	-
平成28年度	23	21.7	21.7	4.3	26.1	4.3	17.4	-

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

	全体	就職・進学をするから	結婚するから	子どもが進学するから	生活便利したところから	村入りの生活が気に入らないから	その他	無回答
全体	11	27.3	27.3	-	27.3	9.1	9.1	-
年齢	15～19歳	4	75.0	-	-	25.0	-	-
	20～24歳	1	-	100.0	-	-	-	-
	25～29歳	1	-	100.0	-	-	-	-
	30～34歳	5	-	20.0	-	40.0	20.0	20.0
	35歳以上	-	*	*	*	*	*	*
居住地区	煤ヶ谷上地区	2	50.0	50.0	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	2	-	-	-	50.0	50.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	1	-	-	-	100.0	-	-
	煤ヶ谷下地区	5	20.0	40.0	-	40.0	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	1	100.0	-	-	-	-	-

問 18-3 あなたは、将来清川村に帰る予定でいますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「帰るつもりはない」が 45.5%で最も多く、「帰る気持ちでいる」の 18.2%を上回っている。また、40%弱の人は「わからない」と回答している。

【前回比較】

※サンプル数が少ないため分析できない。

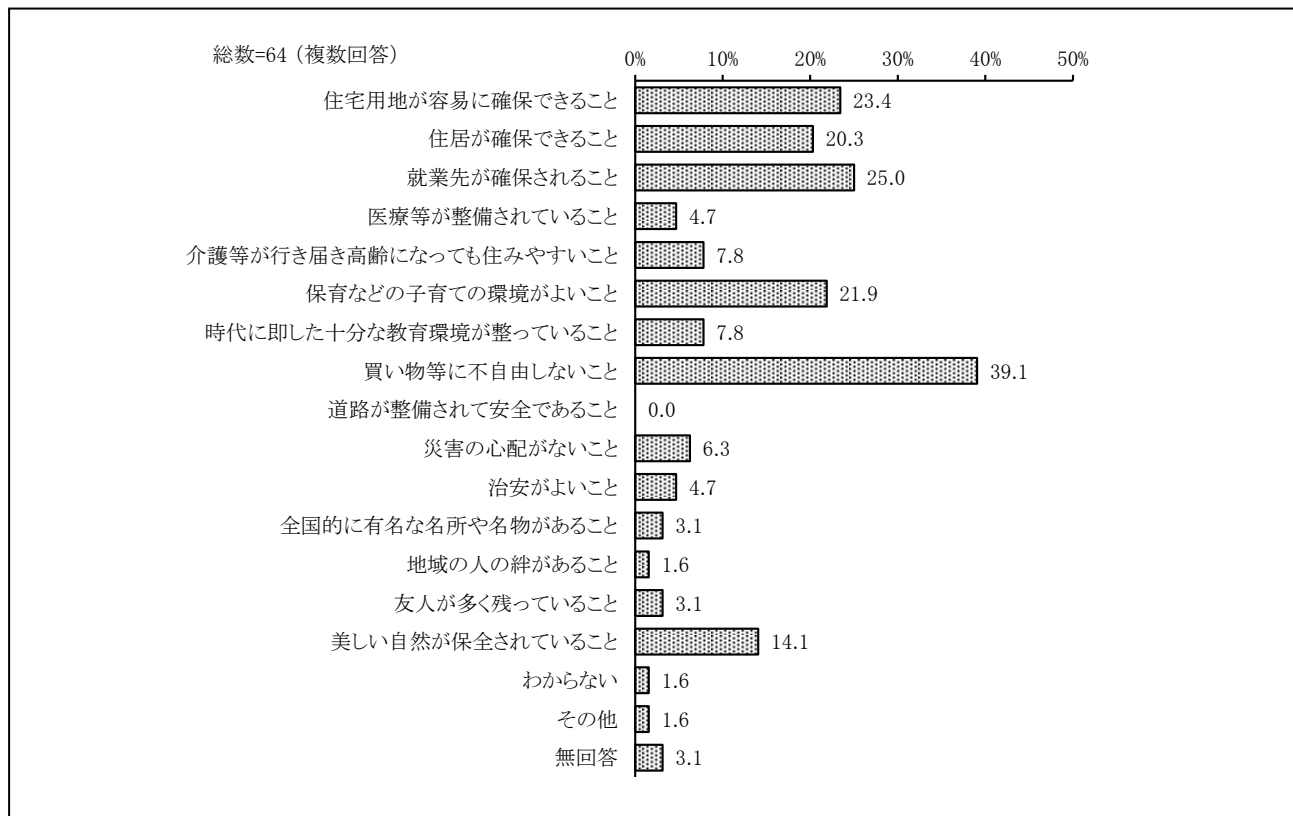
	全体	帰るつもりはない	帰る気持ちでいる	わからない	無回答
令和3年度	11	45.5	18.2	36.4	-
平成28年度	23	30.4	17.4	47.8	4.3

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

	全体	帰るつもりはない	帰る気持ちでいる	わからない	無回答
全体	11	45.5	18.2	36.4	-
年齢	15～19歳	4	-	50.0	50.0
	20～24歳	1	-	100.0	-
	25～29歳	1	100.0	-	-
	30～34歳	5	80.0	-	20.0
	35歳以上	-	*	*	*
居住地区	煤ヶ谷上地区	2	-	50.0	50.0
	煤ヶ谷中地区	2	100.0	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	1	-	100.0	-
	煤ヶ谷下地区	5	60.0	20.0	20.0
	宮ヶ瀬・札掛地区	1	-	-	100.0

問 19 あなたは、清川村から転出された人たちが村に帰るために一番必要なものは何だと考えますか。該当する主なもの2つを選んでください。



【全体】

「買い物等に不自由しないこと」が 39.1%で最も多く、以下、「就業先が確保されること」25.0%、「住宅用地が容易に確保できること」23.4%、「保育などの子育ての環境がよいこと」21.9%、「住居が確保できること」20.3%と続いている。

買い物、住まい、働く場、子育てといった若い子育て世代が求める環境整備に関するものが上位を占めている。

【前回比較】

「買い物等に不自由しないこと」が30ポイント以上減少している一方で、「住宅用地が容易に確保できること」や「住居が確保できること」、「就業先が確保されること」などは増加している。

		全体	住宅用地が容易に確保できること	住居が確保できること	就業先が確保されること	医療等が整備されていること	介護等が行き届き高齢になっても住みやすいこと	保育などの子育ての環境がよいこと	時代に即した十分な教育環境が整っていること	買い物等に不自由しないこと	道路が整備されて安全であること	災害の心配がないこと	治安がよいこと	全国的に有名な名所や名物があること	地域の人の絆があること	友人が多く残っていること	美しい自然が保全されていること	わからない	その他
令和3年度	64	23.4	20.3	25.0	4.7	7.8	21.9	7.8	39.1	-	6.3	4.7	3.1	1.6	3.1	14.1	1.6	1.6	
平成28年度	98	10.2	12.2	19.4	8.2	14.3	18.4	×	71.4	6.1	3.1	6.1	×	7.1	6.1	9.2	2.0	9.2	

×：過年度調査では選択肢になかったもの

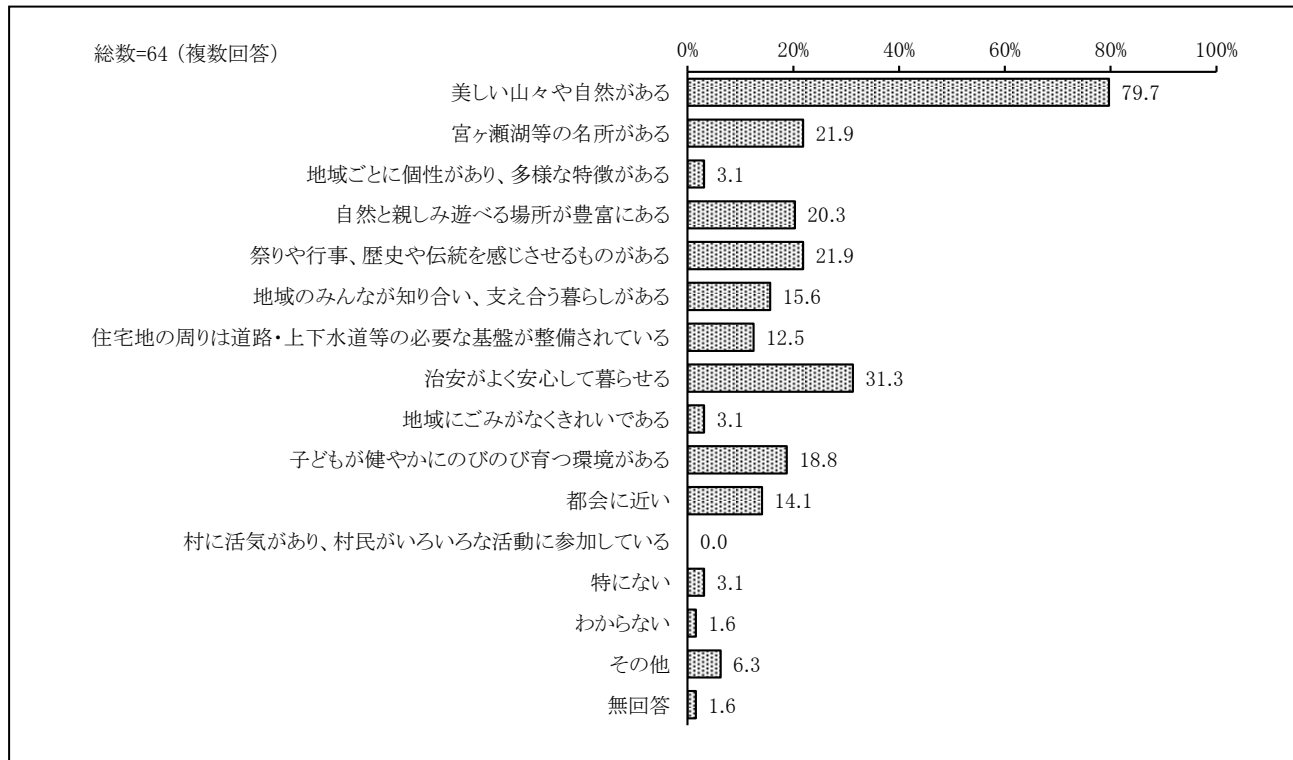
【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	住宅用地が容易に確保できること	住居が確保できること	就業先が確保されること	医療等が整備されていること	介護等が行き届き高齢になっても住みやすいこと	保育などの子育ての環境がよいこと	時代に即した十分な教育環境が整っていること	買い物等に不自由しないこと	道路が整備されて安全であること	災害の心配がないこと	治安がよいこと	全国的に有名な名所や名物があること	地域の人の絆があること	友人が多く残っていること	美しい自然が保全されていること	わからない	その他	無回答
全体		64	23.4	20.3	25.0	4.7	7.8	21.9	7.8	39.1	-	6.3	4.7	3.1	1.6	3.1	14.1	1.6	1.6	3.1
年齢	15～19歳	19	15.8	21.1	26.3	5.3	5.3	26.3	10.5	31.6	-	5.3	5.3	10.5	5.3	5.3	15.8	5.3	-	-
	20～24歳	11	9.1	18.2	18.2	-	9.1	18.2	9.1	45.5	-	18.2	9.1	-	-	-	27.3	-	-	9.1
	25～29歳	10	10.0	40.0	40.0	-	20.0	30.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	10.0	10.0	-	10.0	-
	30～34歳	13	38.5	7.7	23.1	15.4	-	30.8	7.7	53.8	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-
	35歳以上	8	62.5	25.0	25.0	-	-	-	-	37.5	-	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-	12.5
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	28.6	-	57.1	14.3	-	28.6	-	28.6	-	14.3	14.3	-	-	-	14.3	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	32.0	28.0	24.0	4.0	8.0	28.0	12.0	32.0	-	4.0	-	8.0	-	-	4.0	4.0	4.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	21.4	14.3	28.6	7.1	7.1	14.3	-	42.9	-	14.3	-	-	7.1	7.1	21.4	-	-	7.1
	煤ヶ谷下地区	15	13.3	20.0	13.3	-	13.3	13.3	13.3	53.3	-	-	13.3	-	-	6.7	13.3	-	-	6.7
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7	-	-	-

2-4 村の将来像

問 20 あなたは、清川村の誇れるところはどのようなところだと思いますか。該当する主なもの3つを選んでください。



【全体】

「美しい山々や自然がある」が 79.7%で最も多く、「治安が良く安心して暮らせる」31.3%、「宮ヶ瀬湖等の名所がある」、「祭りや行事、歴史や伝統を感じさせるものがある」、「自然と親しみ遊べる場所が豊富にある」などが 20%台前半で続いている。

家族編と比較すると、「美しい山々や自然がある」や「治安が良く安心して暮らせる」が上位を占めているのは変わらないが、「祭りや行事、歴史や伝統を感じさせるものがある」は家族編に比べると 10 ポイント程度多い一方で、「住宅地の周りは道路・上下水道等の必要な基盤が整備されている」(家族編では「道路、上下水道等が整備されている」)は 10 ポイント程度少なくなっている。

【前回比較】

前回調査とは大きな差はないが、「子どもたちが健やかにのびのび育つ環境がある」が20ポイント近く減少している。

		美しい山々や自然がある	宮ヶ瀬湖等の名所がある	地域ごとに個性があり、多様な特徴がある	自然と親しみ遊べる場所が豊富にある	祭りや行事、歴史や伝統を感じさせるものがある	地域の人々が知り合い、支え合う暮らしがある	住宅地の周りは道路・上下水道等の必要な基盤が整備されている	治安がよく安心して暮らせる	地域にごみがなくきれいだである	子どもが健やかにのびのび育つ環境がある	都会に近い	村に活気があり、村民がいろいろな活動に参加している	特にな	わからない	その他
令和3年度	64	79.7	21.9	3.1	20.3	21.9	15.6	12.5	31.3	3.1	18.8	14.1	-	3.1	1.6	6.3
平成28年度	98	75.5	26.5	4.1	16.3	18.4	24.5	12.2	30.6	5.1	35.7	8.2	2.0	4.1	4.1	2.0

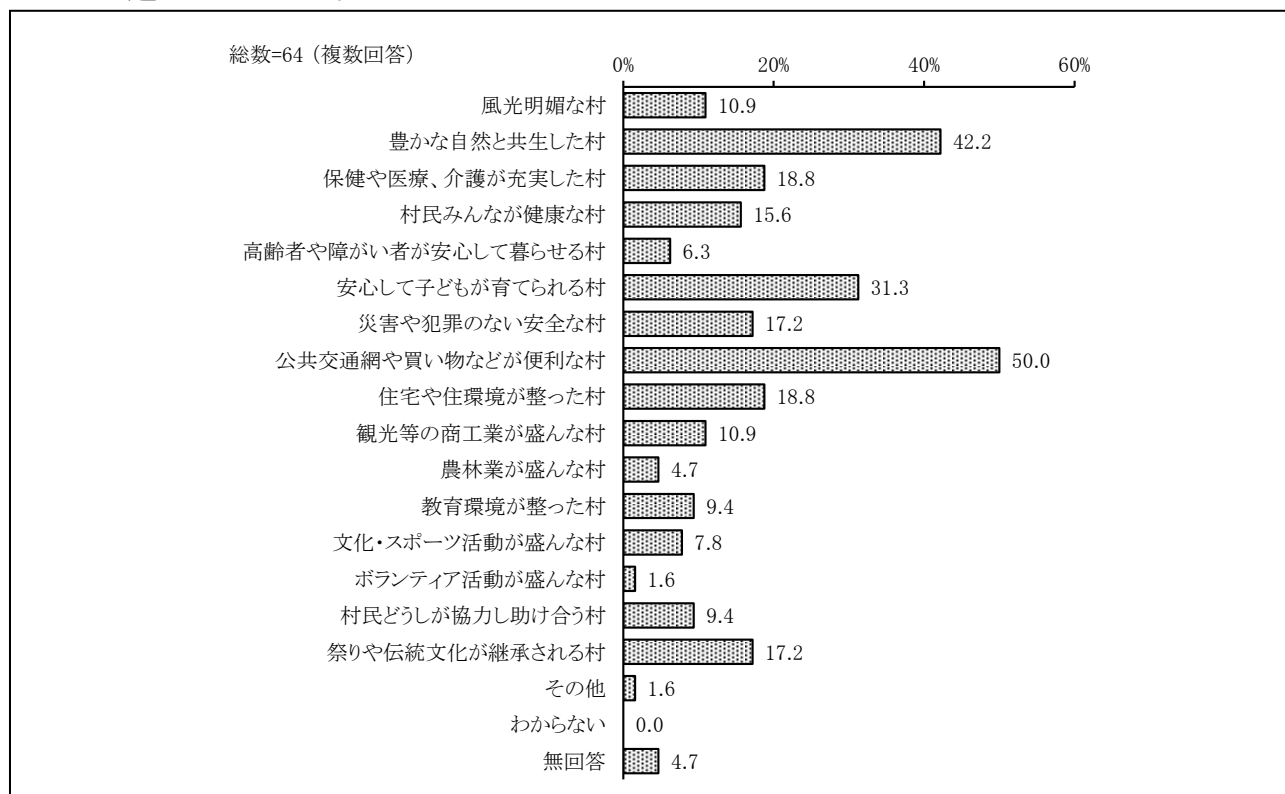
【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

			全体	美しい山々や自然がある	宮ヶ瀬湖等の名所がある	地域ごとに個性があり、多様な特徴がある	自然と親しみ遊べる場所が豊富にある	祭りや行事、歴史や伝統を感じさせるものがある	地域の人々が知り合い、支え合う暮らしがある	住宅地の周りは道路・上下水道等の必要な基盤が整備されている	治安がよく安心して暮らせる	地域にごみがなくきれいである	子どもが健やかにのびのび育つ環境がある	都会に近い	村に活気があり、村民がいろいろな活動に参加している	特にな	わからない	その他	無回答
		全体	64	79.7	21.9	3.1	20.3	21.9	15.6	12.5	31.3	3.1	18.8	14.1	-	3.1	1.6	6.3	1.6
年齢	15～19歳	19	89.5	21.1	5.3	21.1	47.4	15.8	-	36.8	5.3	15.8	10.5	-	-	-	5.3	-	
	20～24歳	11	72.7	18.2	-	9.1	27.3	18.2	27.3	36.4	-	18.2	27.3	-	-	-	9.1	9.1	
	25～29歳	10	90.0	10.0	-	30.0	10.0	-	40.0	50.0	-	10.0	20.0	-	-	-	20.0	-	
	30～34歳	13	61.5	38.5	-	38.5	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	30.8	-	-	7.7	-	-	-	
	35歳以上	8	100.0	12.5	12.5	-	-	25.0	-	37.5	-	25.0	25.0	-	-	12.5	-	-	
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	57.1	14.3	-	28.6	14.3	28.6	-	14.3	14.3	42.9	14.3	-	-	-	-	14.3	
	煤ヶ谷中地区	25	76.0	28.0	4.0	24.0	20.0	20.0	20.0	24.0	4.0	20.0	4.0	-	4.0	4.0	8.0	-	
	清水ヶ丘・金翅地区	14	92.9	21.4	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	42.9	-	28.6	35.7	-	-	-	7.1	-	
	煤ヶ谷下地区	15	86.7	13.3	-	26.7	33.3	13.3	6.7	33.3	-	-	6.7	-	6.7	-	6.7	-	
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	66.7	33.3	-	-	33.3	-	-	66.7	-	-	33.3	-	-	-	-	-	

■清川村の将来像などについてお伺いします。

問 21 10 年後の清川村の将来は、どのような姿が望ましいと考えますか。該当する主なもの3つを選んでください。



【全体】

「公共交通網や買い物などが便利な村」が 50.0%で最も多く、「豊かな自然と共生した村」42.2%、「安心して子どもが育てられる村」31.3%が続いている。

家族編と比較すると、「豊かな自然と共生した村」が 40%台と比較的多いことは変わらないものの、「公共交通網や買い物などが便利な村」や「安心して子どもが育てられる村」が多く、「保健や医療、介護が充実した村」が少ないという特徴がみられる。

【前回比較】

前回調査と傾向に大きな差はないが、「公共交通網や買い物などが便利な村」、「保健や医療、介護が充実した村」、「高齢者や障がい者が安心して暮らせる村」、「村民どうしが協力し助け合う村」は10ポイント程度減少している。

	全体	風光明媚な村	豊かな自然と共生した村	保健や医療、介護が充実した村	村民みんなが健康な村	高齢者や障がい者が安心して暮らせる村	安心して子どもが育てられる村	災害や犯罪のない安全な村	公共交通網や買い物などが便利な村	住宅や住環境が整った村	観光等の商工業が盛んな村	農林業が盛んな村	教育環境が整った村	文化・スポーツ活動が盛んな村	ボランティア活動が盛んな村	村民どうしが協力し助け合う村	祭りや伝統文化が継承される村	その他	わからない
令和3年度	64	10.9	42.2	18.8	15.6	6.3	31.3	17.2	50.0	18.8	10.9	4.7	9.4	7.8	1.6	9.4	17.2	1.6	-
平成28年度	98	16.3	37.8	30.6	7.1	17.3	33.7	19.4	62.2	12.2	16.3	5.1	10.2	1.0	0.0	20.4	12.2	×	2.0

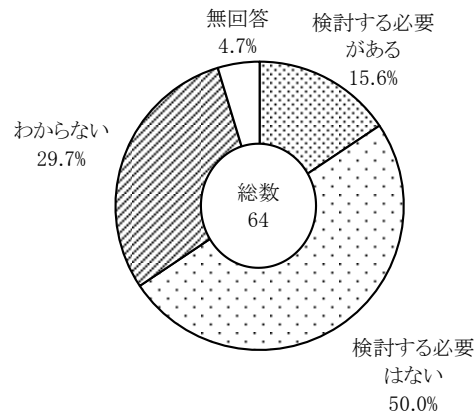
×：過年度調査では選択肢になかったもの

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

	全体	風光明媚な村	豊かな自然と共生した村	保健や医療、介護が充実した村	村民みんなが健康な村	高齢者や障がい者が安心して暮らせる村	安心して子どもが育てられる村	災害や犯罪のない安全な村	公共交通網や買い物などが便利な村	住宅や住環境が整った村	観光等の商工業が盛んな村	農林業が盛んな村	教育環境が整った村	文化・スポーツ活動が盛んな村	ボランティア活動が盛んな村	村民どうしが協力し助け合う村	祭りや伝統文化が継承される村	その他	わからない	無回答
全体	64	10.9	42.2	18.8	15.6	6.3	31.3	17.2	50.0	18.8	10.9	4.7	9.4	7.8	1.6	9.4	17.2	1.6	-	4.7
年齢	15～19歳	19	10.5	47.4	15.8	10.5	5.3	15.8	10.5	68.4	10.5	15.8	5.3	21.1	10.5	-	10.5	36.8	-	-
	20～24歳	11	9.1	36.4	18.2	9.1	9.1	45.5	45.5	18.2	18.2	9.1	-	9.1	-	9.1	18.2	-	-	-
	25～29歳	10	20.0	60.0	30.0	20.0	-	20.0	10.0	50.0	40.0	10.0	-	10.0	10.0	-	-	10.0	-	-
	30～34歳	13	-	23.1	15.4	15.4	15.4	53.8	15.4	46.2	23.1	-	-	15.4	7.7	-	15.4	15.4	-	-
	35歳以上	8	25.0	62.5	25.0	37.5	-	37.5	12.5	37.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	14.3	57.1	14.3	14.3	-	28.6	42.9	42.9	14.3	42.9	-	14.3	-	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	25	8.0	28.0	24.0	20.0	8.0	32.0	12.0	48.0	32.0	-	4.0	12.0	8.0	-	12.0	20.0	-	4.0
	清水ヶ丘・金翅地区	14	14.3	50.0	28.6	14.3	-	42.9	21.4	50.0	7.1	21.4	7.1	-	7.1	-	7.1	14.3	7.1	-
	煤ヶ谷下地区	15	13.3	53.3	6.7	13.3	13.3	20.0	13.3	60.0	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	13.3	20.0	-	-	6.7
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	-	33.3	-	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3

問 22-1 市町村合併についてどのように考えますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「検討する必要はない」が 50.0%を占め、「検討する必要がある」の 15.6%を上回っている。「わからない」は 29.7%となっている。

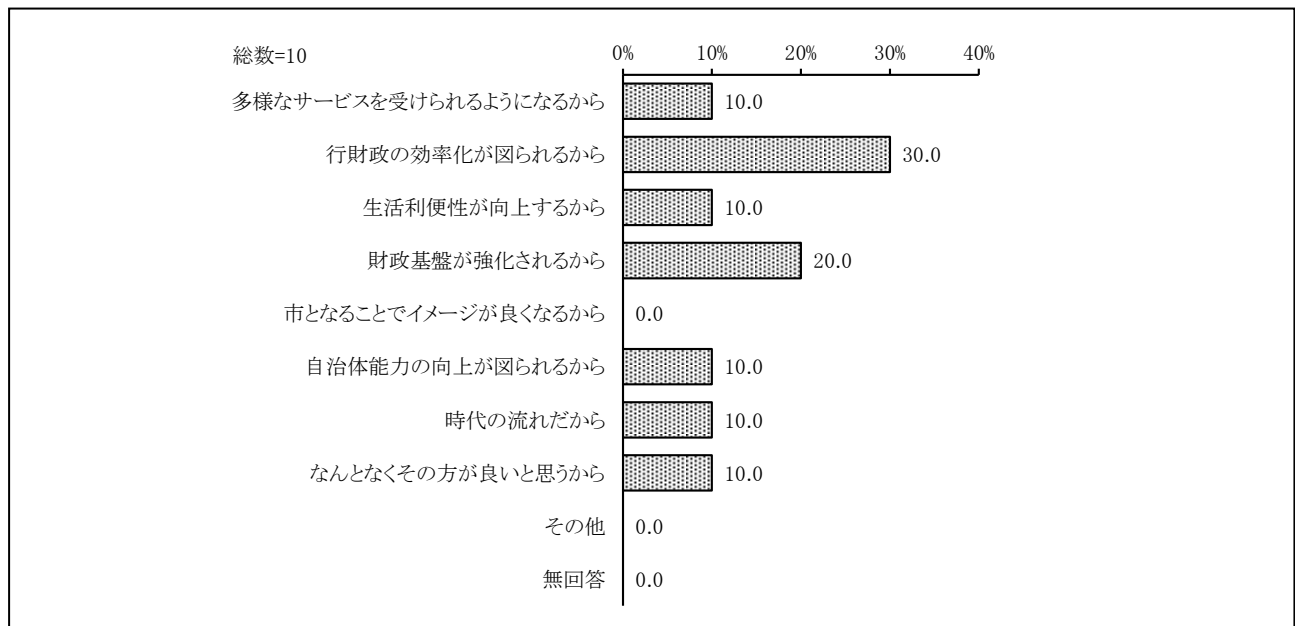
家族編と比較すると、「検討する必要はない」の比率はほぼ同程度であるが、「検討する必要がある」の比率が約半分以下と少なく、「わからない」が多くなっている。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	検討する必要がある	検討する必要はない	わからない	無回答
全体		64	15.6	50.0	29.7	4.7
年齢	15～19歳	19	—	57.9	42.1	—
	20～24歳	11	18.2	54.5	27.3	—
	25～29歳	10	30.0	40.0	30.0	—
	30～34歳	13	23.1	53.8	23.1	—
	35歳以上	8	25.0	50.0	25.0	—
居住地区	煤ヶ谷上地区	7	—	71.4	28.6	—
	煤ヶ谷中地区	25	32.0	44.0	20.0	4.0
	清水ヶ丘・金翅地区	14	7.1	42.9	50.0	—
	煤ヶ谷下地区	15	6.7	53.3	33.3	6.7
	宮ヶ瀬・札掛地区	3	—	66.7	—	33.3

問 22-2 問 22-1 で「1. 検討する必要がある」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。
該当するもの1つを選んでください。



【全体】

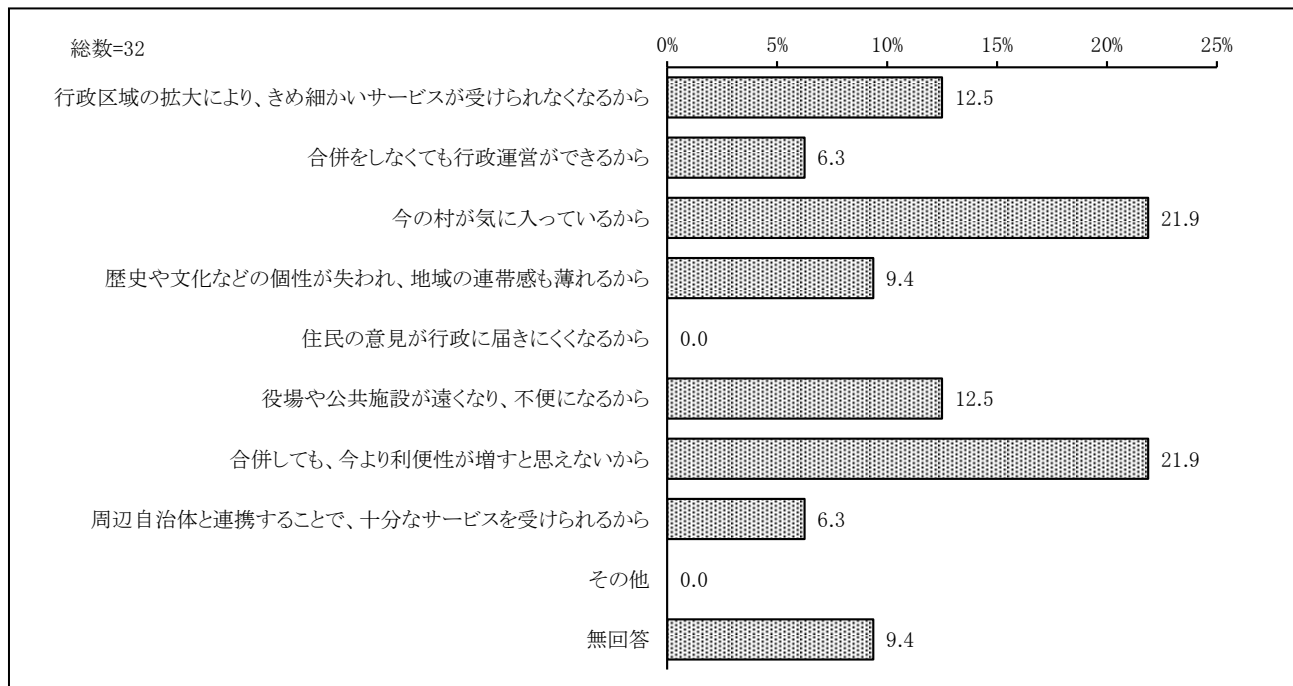
「行財政の効率化が図られるから」が 30.0%で最も多くなっている。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	多様なサービスを受けられるようになるから	行財政の効率化が図られるから	生活利便性が向上するから	財政基盤が強化されるから	市となることでイメージが良くなるから	自治体能力の向上が図られるから	時代の流れだから	なんとなくその方が良いと思うから	その他	無回答
	全体	10	10.0	30.0	10.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-	-
年齢	15～19歳	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	20～24歳	2	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
	25～29歳	3	-	66.7	-	33.3	-	-	-	-	-	-
	30～34歳	3	33.3	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-
	35歳以上	2	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
	煤ヶ谷中地区	8	12.5	37.5	12.5	-	-	12.5	12.5	12.5	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	-	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*

問 22-3 問 22-1 で「2. 検討する必要はない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。
該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「今の村が気に入っているから」、「合併しても、今より利便性が増すと思えないから」がともに 21.9%で最も多い。

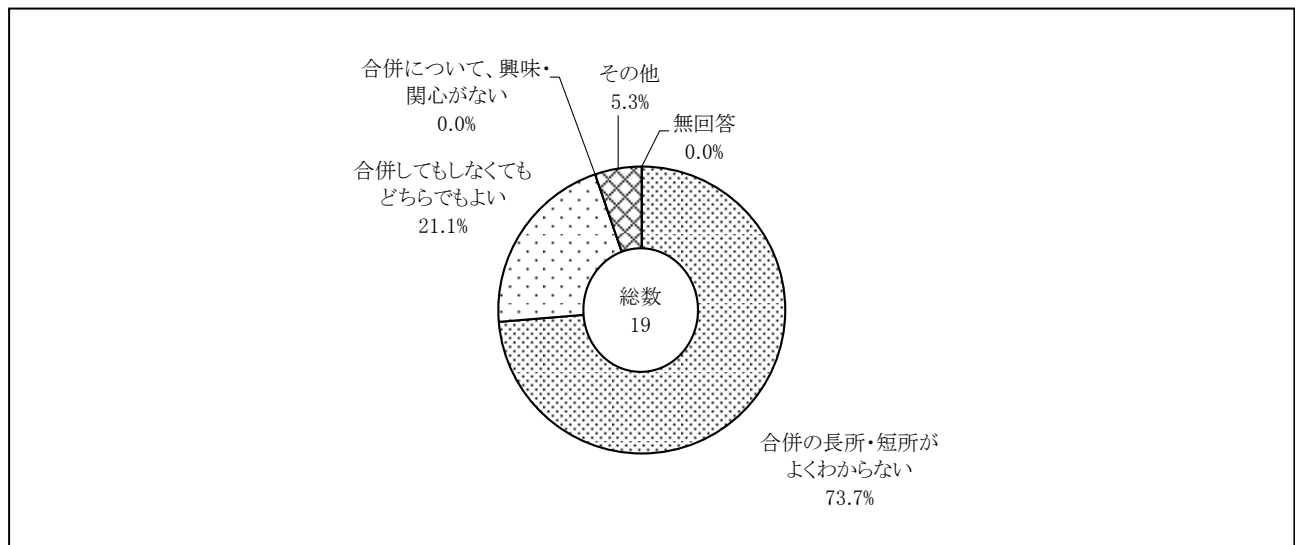
家族編と比較すると、家族編では最も多かった「行政区域の拡大により、きめ細かいサービスが受けられなくなるから」は若い世代では比較的少くなっている。

【属性別】

※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	行政区域の拡大により、きめ細かいサービスが受けられなくなるから	合併をしなくても行政運営ができるから	今の村が気に入っているから	歴史や文化などの個性が失われ、地域の連帯感も薄れるから	住民の意見が行政に届きにくくなるから	役場や公共施設が遠くなり、不便になるから	合併しても、今より利便性が増すと思えないから	周辺自治体と連携することで、十分なサービスを受けられるから	その他	無回答
	全体	32	12.5	6.3	21.9	9.4	-	12.5	21.9	6.3	-	9.4
年齢	15～19歳	11	18.2	-	27.3	18.2	-	-	9.1	18.2	-	9.1
	20～24歳	6	16.7	-	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	16.7
	25～29歳	4	-	-	25.0	-	-	50.0	25.0	-	-	-
	30～34歳	7	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	42.9	-	-	-
	35歳以上	4	-	25.0	25.0	-	-	-	25.0	-	-	25.0
居住地区	煤ヶ谷上地区	5	20.0	-	40.0	-	-	-	40.0	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	11	27.3	9.1	9.1	9.1	-	18.2	18.2	9.1	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	6	-	16.7	16.7	-	-	-	50.0	16.7	-	-
	煤ヶ谷下地区	8	-	-	37.5	12.5	-	25.0	-	-	-	25.0
	宮ヶ瀬・札掛地区	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	50.0

問 22-4 問 22-1 で「3. わからない」を選んだ方にお伺いします。その理由は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「合併の長所・短所がよくわからない」が 73.7%で最も多く、情報不足が判断できない要因となっている。

家族編と傾向に大きな違いはない。

【属性別】

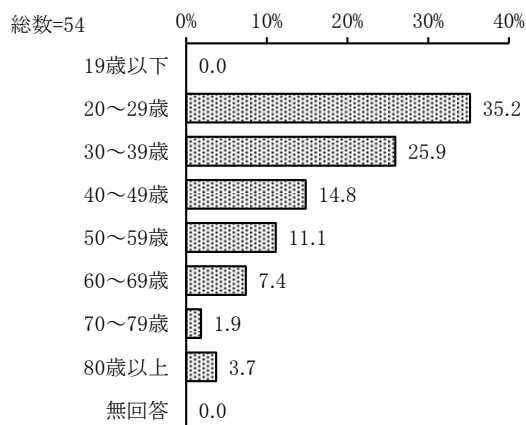
※サンプル数が少ないため分析できない。

		全体	合併の長所・短所がよくわからない	合併しても申しなくてもどちらでもよい	合併について、興味・関心がない	その他	無回答
全体		19	73.7	21.1	-	5.3	-
年齢	15～19歳	8	75.0	12.5	-	12.5	-
	20～24歳	3	66.7	33.3	-	-	-
	25～29歳	3	66.7	33.3	-	-	-
	30～34歳	3	66.7	33.3	-	-	-
	35歳以上	2	100.0	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	2	100.0	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	5	80.0	20.0	-	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	7	71.4	28.6	-	-	-
	煤ヶ谷下地区	5	60.0	20.0	-	20.0	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	-	*	*	*	*	*

3 転出者編

■回答者の属性

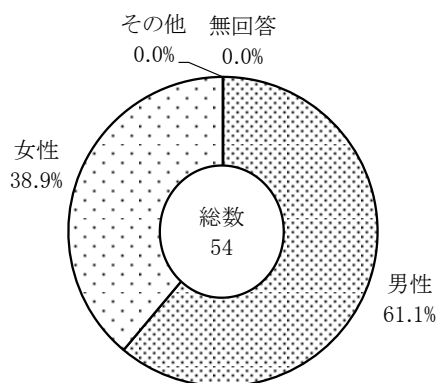
【年齢】



○20代が35.2%で最も多く、以下、20代25.9%、40代14.8%と続いている。

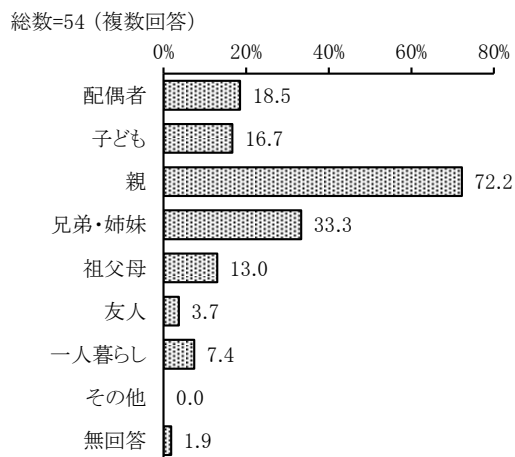
○30代以下が61.1%、40代以下でみると75.9%を占め、比較的若い層の転出が多い。

【性別】



○男性が約60%で、女性は約40%となっている。

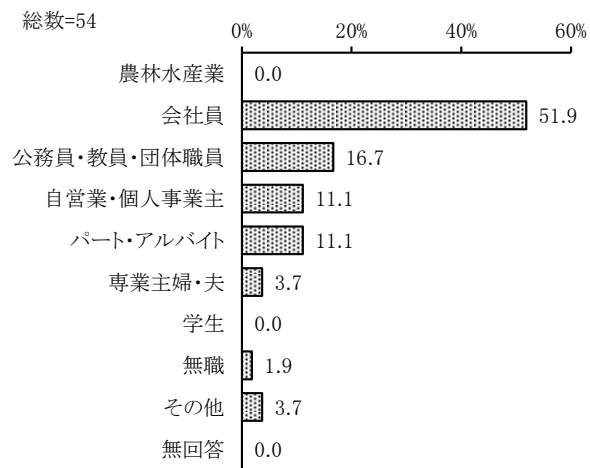
【転出直前に同居していた家族】



○「親」が72.2%で最も多く、「兄弟・姉妹」が33.3%となっており、若い独身者の転出が多い。

○「配偶者」や「子ども」は10%台後半となっており、若い夫婦世帯やファミリー世帯が転出するケースも20%弱程度ある。

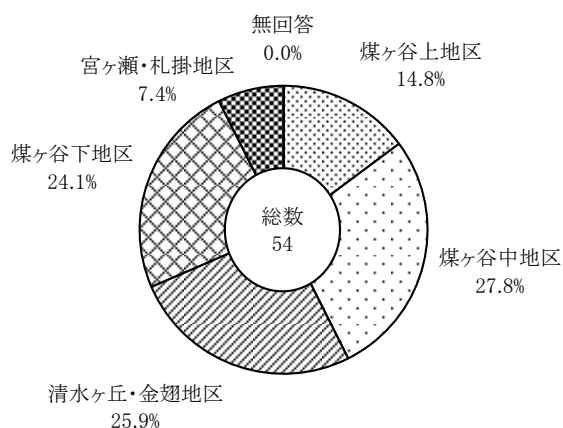
【就業状況】



○「会社員」が 51.9%と過半数を占める。
以下、「公務員・教員・団体職員」の 16.7%、
「自営業・個人事業主」と「パート・ア
ルバイト」の 11.1%と続いている。

3-1 転出前の住まいの状況・転出先

問1 あなたが、清川村で住んでいた地域はどちらですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

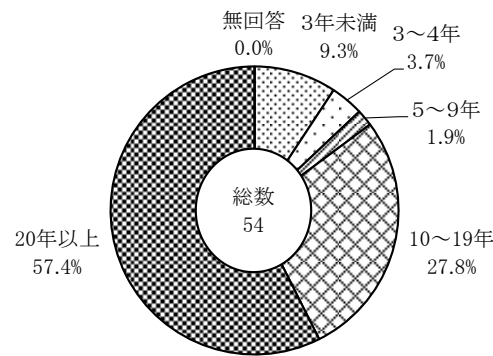
「煤ヶ谷中地区」の27.8%が最も多く、「清水ヶ丘・金翅地区」25.9%、「煤ヶ谷下地区」24.1%も差がなく続いており、この3地区で80%弱を占めている。

【属性別】

サンプル数が少なく分析できない。

		全体	煤ヶ谷上地区	煤ヶ谷中地区	清水ヶ丘・金翅地区	煤ヶ谷下地区	宮ヶ瀬・札掛地区	無回答
全体		54	14.8	27.8	25.9	24.1	7.4	-
年齢	20～29歳	19	10.5	36.8	26.3	26.3	-	-
	30～39歳	14	21.4	28.6	14.3	28.6	7.1	-
	40～49歳	8	12.5	12.5	50.0	25.0	-	-
	50～59歳	6	16.7	33.3	16.7	-	33.3	-
	60～69歳	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-
	70～79歳	1	-	-	-	100.0	-	-
	80歳以上	2	-	-	100.0	-	-	-

問2 あなたは、清川村に何年お住まいでしたか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

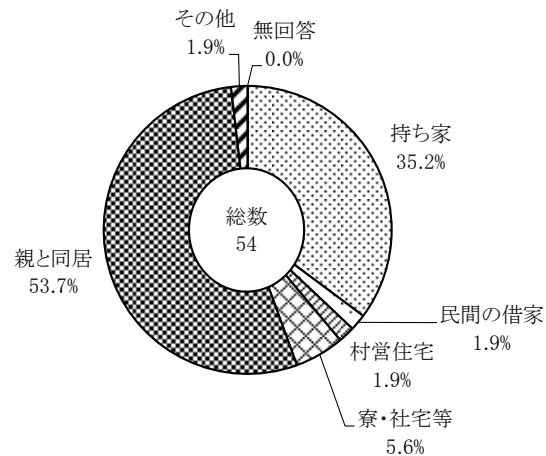
「20年以上」が57.4%で最も多く、「10～19年」の27.5%が続いており、居住期間10年未満の人は少ない。

【属性別】

転出者の過半を占める20代、30代をみると、「20年以上」は20代では52.6%、30代では64.3%となっており、清川村で生まれ育った若年層での転出が多いことを示している。

		全体	3年未満	3～4年	5～9年	10～19年	20年以上	無回答
全体		54	9.3	3.7	1.9	27.8	57.4	-
年齢	20～29歳	19	5.3	-	-	42.1	52.6	-
	30～39歳	14	-	7.1	7.1	21.4	64.3	-
	40～49歳	8	25.0	-	-	12.5	62.5	-
	50～59歳	6	16.7	-	-	16.7	66.7	-
	60～69歳	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-
	70～79歳	1	-	-	-	-	100.0	-
	80歳以上	2	-	-	-	50.0	50.0	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	25.0	-	-	12.5	62.5	-
	煤ヶ谷中地区	15	6.7	-	-	33.3	60.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	-	-	7.1	14.3	78.6	-
	煤ヶ谷下地区	13	7.7	-	-	46.2	46.2	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-

問3 あなたの、転出前（清川村）の住宅の所有形態はどれですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

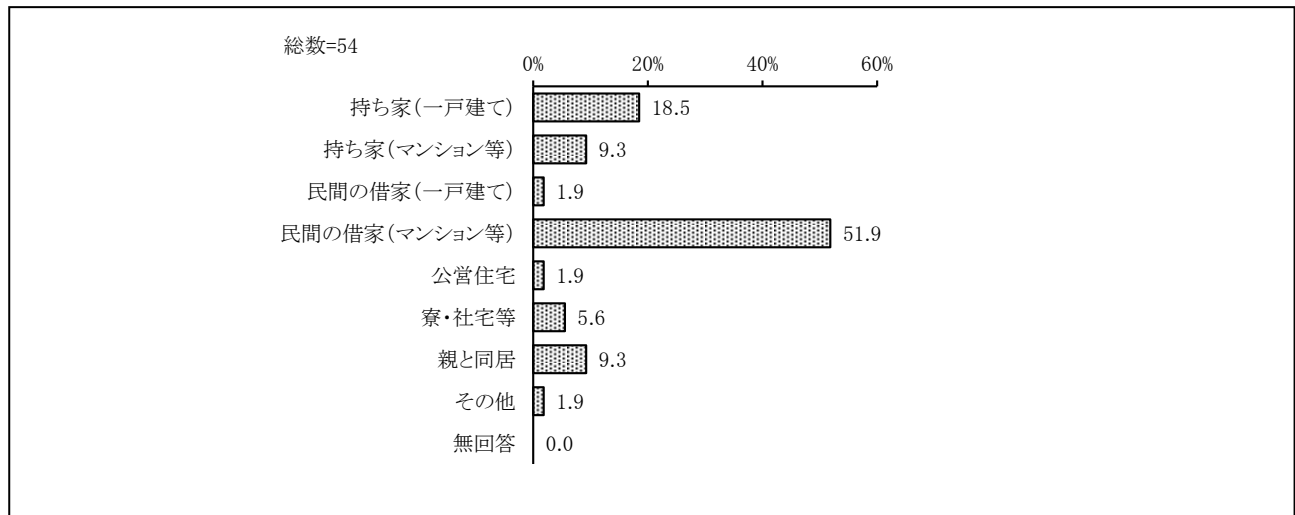
「親と同居」が53.7%と過半数を占める。また、「持ち家」も35.2%と多く、それ以外の選択肢は一桁台と少ない。

【属性別】

転出者の過半を占める20代、30代をみると、「親と同居」が70%前後と多く、親元からの世帯分離で転出していることがわかる。

		全体	持ち家	民間の借家	村営住宅	寮・社宅等	親と同居	その他	無回答
全体		54	35.2	1.9	1.9	5.6	53.7	1.9	-
年齢	20～29歳	19	31.6	-	-	-	68.4	-	-
	30～39歳	14	21.4	-	-	7.1	71.4	-	-
	40～49歳	8	25.0	-	12.5	-	62.5	-	-
	50～59歳	6	66.7	16.7	-	-	16.7	-	-
	60～69歳	4	25.0	-	-	50.0	-	25.0	-
	70～79歳	1	100.0	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	2	100.0	-	-	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	37.5	-	-	-	50.0	12.5	-
	煤ヶ谷中地区	15	20.0	-	6.7	6.7	66.7	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	50.0	-	-	-	50.0	-	-
	煤ヶ谷下地区	13	38.5	-	-	7.7	53.8	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-

問4 あなたの、転出後の住宅の所有形態はどれですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

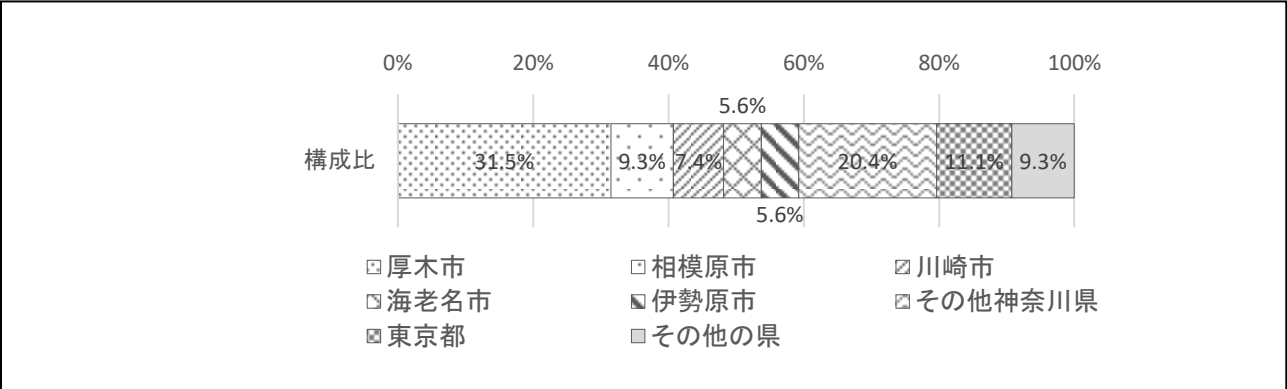
「民間の借家（マンション等）」が 51.9%と過半数を占めている。住宅の取得のための転出は「持ち家（一戸建て）」が 18.5%、「持ち家（マンション等）」が 9.3%で合計 17.8%となっている。

【属性別】

転出者の過半を占める 20 代、30 代をみると、20 代では「民間の借家（マンション等）」が 68.4%と多い。30 代では「民間の借家（マンション等）」は 42.9%と半数以下で、持ち家取得のための転居が 28.6%と比較的多くなっている。

		全体	持ち家 (一戸建て)	持ち家 (マンション等)	民間の 借家 (一戸建て)	民間の 借家 (マンション等)	公営住宅	寮・社宅等	親と同居	その他	無回答
全体		54	18.5	9.3	1.9	51.9	1.9	5.6	9.3	1.9	-
年齢	20～29歳	19	10.5	-	-	68.4	5.3	5.3	10.5	-	-
	30～39歳	14	14.3	14.3	-	42.9	-	7.1	21.4	-	-
	40～49歳	8	12.5	12.5	-	62.5	-	12.5	-	-	-
	50～59歳	6	66.7	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-
	60～69歳	4	-	-	25.0	75.0	-	-	-	-	-
	70～79歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	2	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	37.5	12.5	-	50.0	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	15	6.7	20.0	-	53.3	-	6.7	13.3	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	35.7	-	-	50.0	7.1	-	-	7.1	-
	煤ヶ谷下地区	13	-	7.7	-	61.5	-	15.4	15.4	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	25.0	-	25.0	25.0	-	-	25.0	-	-

問5 あなたが、清川村から転出した直後のお住まいはどちらですか。都道府県・市区町村名をご記入ください。



【全体】

「厚木市」が31.5%で最も多く、以下、「其他神奈川県内」20.4%、「東京都」11.1%、「相模原市」9.3%、「伊勢原市」7.4%の順で続いている。県内が約80%を占め、東京都やその他の地域は約20%となっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「厚木市」、「其他の県」、「東京都」が10ポイント近く増加している。

	全体	厚木市	相模原市	川崎市	海老名市	伊勢原市	其他神奈川県	東京都	其他の県
令和3年度	54	31.5	9.3	7.4	5.6	5.6	20.4	11.1	9.3
平成28年度	37	21.6	5.4	×	2.7	13.5	29.7	2.7	-

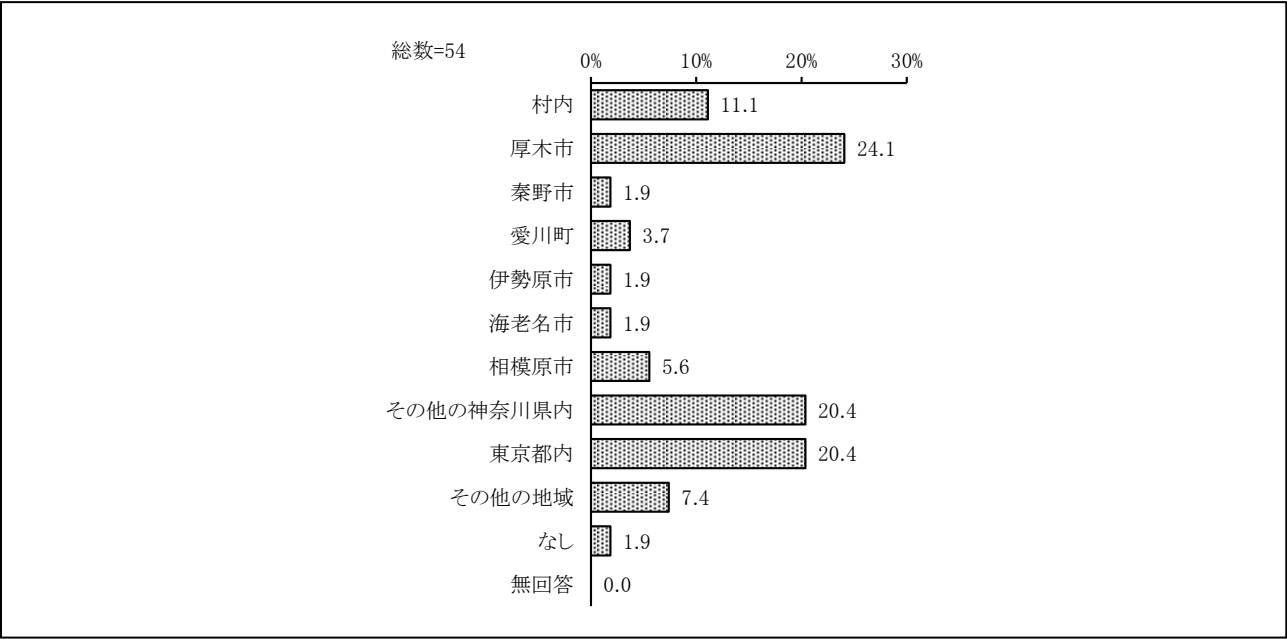
×：過年度調査では主な転出先として固有名詞があがっていなかった市町村

【属性別】

20代では「東京都」が31.6%で最も多くなっている。

		全体	厚木市	相模原市	川崎市	海老名市	伊勢原市	その他神奈川県	東京都	その他の県
全体		54	31.5	9.3	7.4	5.6	5.6	20.4	11.1	9.3
年齢	20～29歳	19	21.1	0.0	5.3	10.5	5.3	15.8	31.6	10.5
	30～39歳	14	21.4	14.3	21.4	0.0	7.1	21.4	0.0	14.3
	40～49歳	8	50.0	12.5	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0
	50～59歳	6	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	60～69歳	4	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	70～79歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問6 あなたの通勤・通学の場所はどこですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「厚木市」が24.1%で最も多く、以下、「その他神奈川県内」及び「東京都」20.4%、「村内」11.11%が続いている。

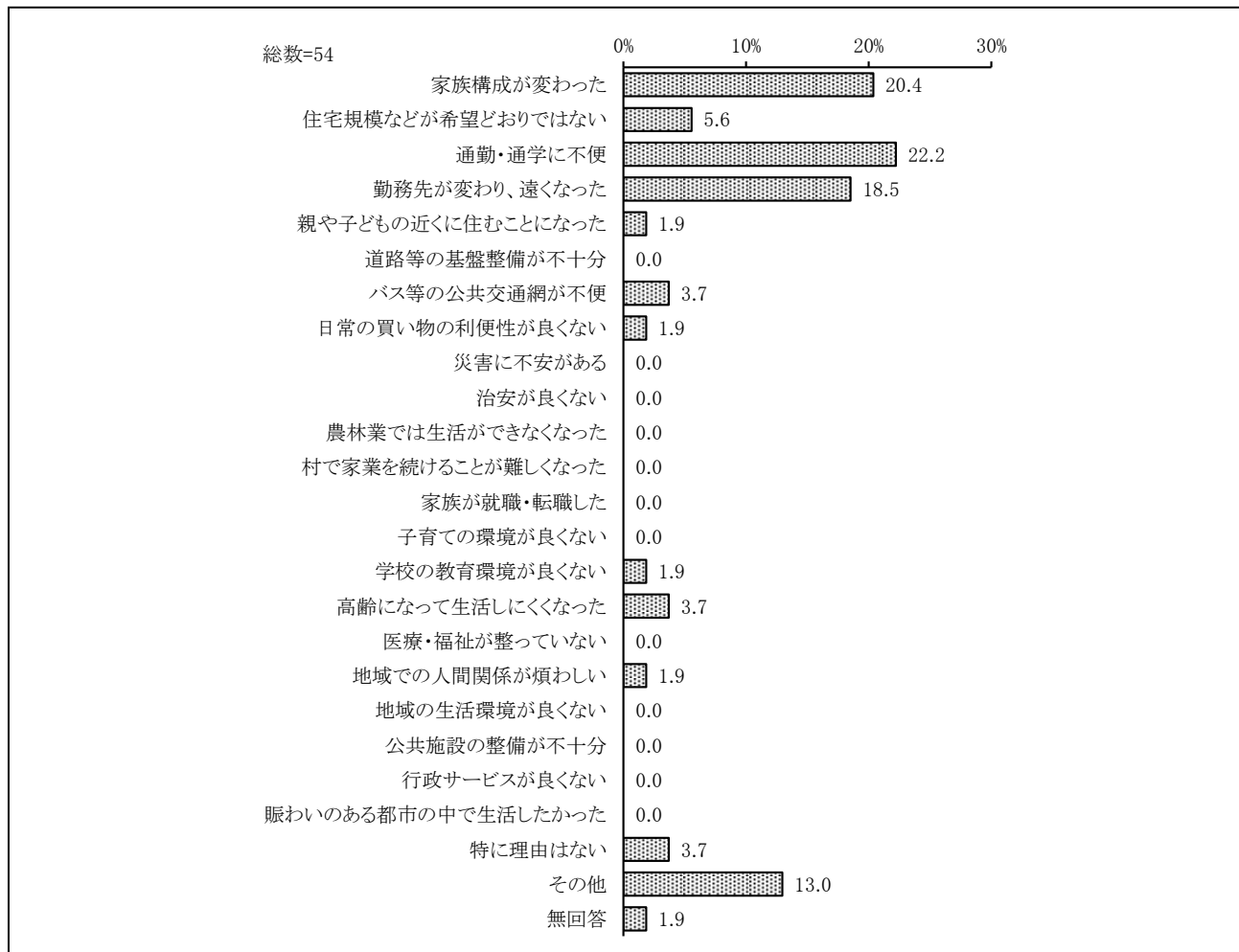
転居先と比較すると、「厚木市」が少なく、「東京都」が多くなっているが、転居先と比率が近くなっており、通勤を考えて転居先を選んでいることがうかがわれる。

【属性別】

20代では「東京都」が36.8%で最も多く、転居先の「東京都」の比率である31.6%とも近い数値になっている。

		全体	村内	厚木市	秦野市	愛川町	伊勢原市	海老名市	相模原市	その他の神奈川県内	東京都内	その他の地域	なし	無回答
全体		54	11.1	24.1	1.9	3.7	1.9	1.9	5.6	20.4	20.4	7.4	1.9	-
年齢	20～29歳	19	15.8	15.8	5.3	-	-	5.3	-	10.5	36.8	10.5	-	-
	30～39歳	14	7.1	42.9	-	-	7.1	-	-	14.3	21.4	7.1	-	-
	40～49歳	8	-	12.5	-	12.5	-	-	37.5	37.5	-	-	-	-
	50～59歳	6	16.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	16.7	-	-	-
	60～69歳	4	-	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-	25.0	-	-
	70～79歳	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	37.5	12.5	12.5	-	-
	煤ヶ谷中地区	15	6.7	13.3	-	-	6.7	-	6.7	20.0	33.3	13.3	-	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	21.4	35.7	-	-	-	7.1	7.1	14.3	7.1	-	7.1	-
	煤ヶ谷下地区	13	7.7	23.1	7.7	7.7	-	-	7.7	15.4	23.1	7.7	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	-	50.0	-	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-

問7 あなたが、清川村から転出することになった最も大きな理由は何ですか。該当するもの 1 つを選んでください。



【全体】

「通勤・通学に不便」が 22.2%で最も多く、「家族構成が変わった」20.4%、「勤務先が変わり、遠くなった」18.5%と続いており、通勤・通学の利便性を理由としている人が多い。また、「その他」では結婚や同棲などが理由として上げられている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「通勤・通学に不便」が 16.8 ポイント増加している一方、「家族構成が変わった」は 9.3 ポイント減少している。

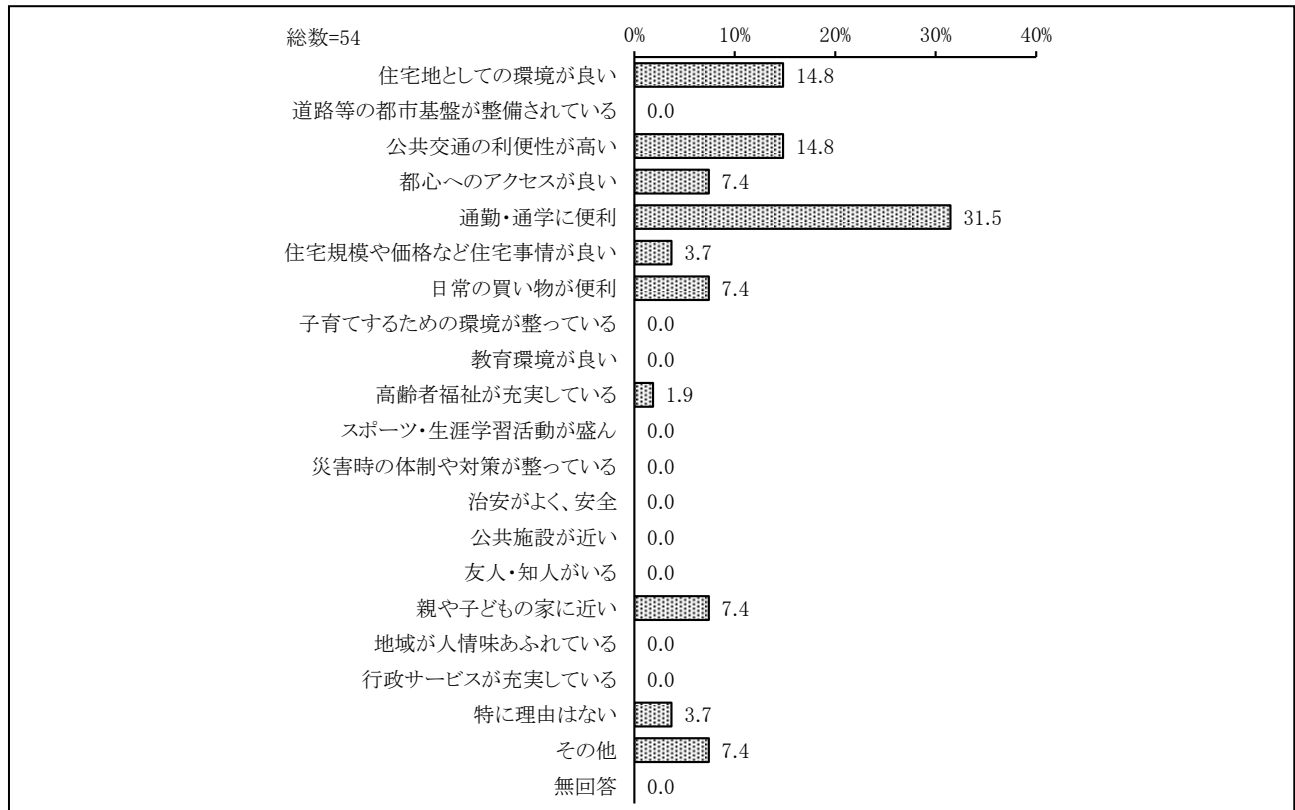
	全体	家族構成が変わった	住宅規模などが希望どおりではない	通勤・通学に不便	勤務先が変わり、遠くなった	親や子どもの近くに住むことになった	道路等の基盤整備が不十分	バス等の公共交通網が不便	日常の買い物の利便性が良くない	災害に不安がある	治安が良くない	農林業では生活ができなくなった	村で家業を続けることが難しくなった	家族が就職・転職した	子育ての環境が良くない	学校の教育環境が良くない	高齢になって生活しにくくなった	医療・福祉が整っていない	地域での人間関係が煩わしい	地域の生活環境が良くない	公共施設の整備が不十分	行政サービスが良くない	賑わいのある都市の中で生活したかった	特に理由はない	その他
令和3年度	54	20.4	5.6	22.2	18.5	1.9	-	3.7	1.9	-	-	-	-	-	-	1.9	3.7	-	1.9	-	-	-	-	3.7	13.0
平成28年度	37	29.7	2.7	5.4	16.2	8.1	0.0	2.7	2.7	-	-	-	2.7	-	5.4	-	2.7	-	-	-	-	-	-	-	21.6

【属性別】

20代では「通勤・通学に不便」が31.6%、「勤務先が変わり、遠くなった」が26.3%と、通勤・通学に関する理由が60%弱を占めている。

		全体	家族構成が変わった	住宅規模などが希望どおりではない	通勤・通学に不便	勤務先が変わり、遠くなった	親や子どもの近くに住むことになった	道路等の基盤整備が不十分	バス等の公共交通網が不便	日常の買い物の利便性が良くない	災害に不安がある	治安が良くない	農林業では生活ができなくなった	村で家業を続けることが難しくなった	家族が就職・転職した	子育ての環境が良くない	学校の教育環境が良くない	高齢になって生活しにくくなった	医療・福祉が整っていない	地域での人間関係が煩わしい	地域の生活環境が良くない	公共施設の整備が不十分	行政サービスが良くない	賑わいのある都市の中で生活しなかった	特に理由はない	その他	無回答
	全体	54	20.4	5.6	22.2	18.5	1.9	-	3.7	1.9	-	-	-	-	-	-	1.9	3.7	-	1.9	-	-	-	-	3.7	13.0	1.9
年齢	20～29歳	19	15.8	5.3	31.6	26.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	10.5	5.3
	30～39歳	14	28.6	7.1	14.3	14.3	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	21.4	-
	40～49歳	8	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50～59歳	6	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	-
	60～69歳	4	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	70～79歳	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	-	-	37.5	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
	煤ヶ谷中地区	15	6.7	13.3	13.3	26.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	13.3	20.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	35.7	7.1	28.6	-	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-
	煤ヶ谷下地区	13	38.5	-	15.4	23.1	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	7.7
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	-	-	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問8 あなたが、転出先のお住まいを選んだ理由は何ですか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「通勤・通学に便利」が31.5%で最も多く、「住宅地としての環境が良い」及び「公共交通の利便性が高い」が14.8%で続いている。

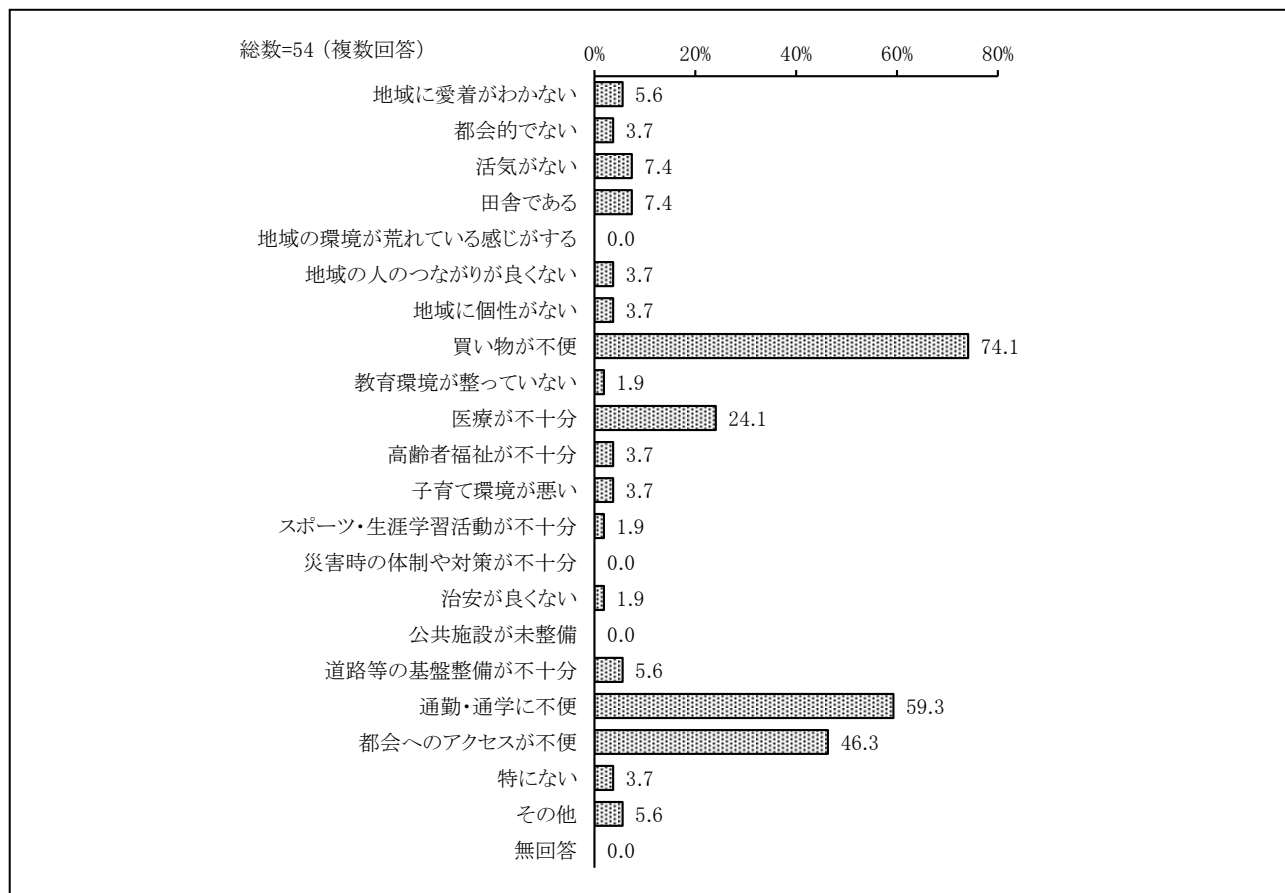
【属性別】

20代では「通勤・通学に便利」が47.4%と多い。

		全体	住宅地としての環境が良い	道路等の都市基盤が整備されている	公共交通の利便性が高い	都心へのアクセスが良い	通勤・通学に便利	住宅規模や価格など住宅事情が良い	日常の買い物が便利	子育てするための環境が整っている	教育環境が良い	高齢者福祉が充実している	スポーツ・生涯学習活動が盛ん	災害時の体制や対策が整っている	治安がよく、安全	公共施設が近い	友人・知人がいる	親や子どもの家に近い	地域が人情味あふれている	行政サービスが充実している	特に理由はない	その他	無回答
	全体	54	14.8	-	14.8	7.4	31.5	3.7	7.4	-	-	1.9	-	-	-	-	-	7.4	-	-	3.7	7.4	-
年齢	20～29歳	19	15.8	-	15.8	-	47.4	5.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.5	5.3	-
	30～39歳	14	7.1	-	14.3	21.4	21.4	-	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-	7.1	-	-	-	14.3	-
	40～49歳	8	12.5	-	25.0	-	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-
	50～59歳	6	33.3	-	-	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-
	60～69歳	4	25.0	-	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	70～79歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	80歳以上	2	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	25.0	-	25.0	-	37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-
	煤ヶ谷中地区	15	6.7	-	13.3	13.3	40.0	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	6.7	6.7	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	21.4	-	14.3	-	21.4	-	21.4	-	-	7.1	-	-	-	-	-	7.1	-	-	7.1	-	-
	煤ヶ谷下地区	13	7.7	-	15.4	7.7	30.8	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	-	-	-	15.4	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-

3-2 清川村での暮らし

問9 清川村における暮らしの中で、不満に感じた点がありましたか。該当するもの3つを選んでください。



【全体】

「買い物が不便」が 74.1% で最も多く、「通勤・通学に不便」も 59.3% と多いなど、日常生活の不便さを指摘する意見が多い。また、「都心へのアクセスが不便」も 46.3% と多くなっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「都心へのアクセスが不便」が 20 ポイント近く増加している。一方、「買い物が不便」や「医療が不十分」は 10 ポイント以上減少している。

	全体	地域に愛着がわかない	都会的でない	活気がない	田舎である	地域の環境が荒れている感じがする	地域の人のつながりが良くない	地域に個性がない	買い物が不便	教育環境が整っていない	医療が不十分	高齢者福祉が不十分	子育て環境が悪い	スポーツ・生涯学習活動が不十分	災害時の体制や対策が不十分	治安が良くない	公共施設が未整備	道路等の基盤整備が不十分	通勤・通学に不便	都会へのアクセスが不便	特にない	その他
令和3年度	54	5.6	3.7	7.4	7.4	-	3.7	3.7	74.1	1.9	24.1	3.7	3.7	1.9	-	1.9	-	5.6	59.3	46.3	3.7	5.6
平成28年度	37	8.1	-	8.1	8.1	-	-	-	89.2	2.7	37.8	-	5.4	2.7	-	2.7	-	5.4	54.1	27.0	×	27.0

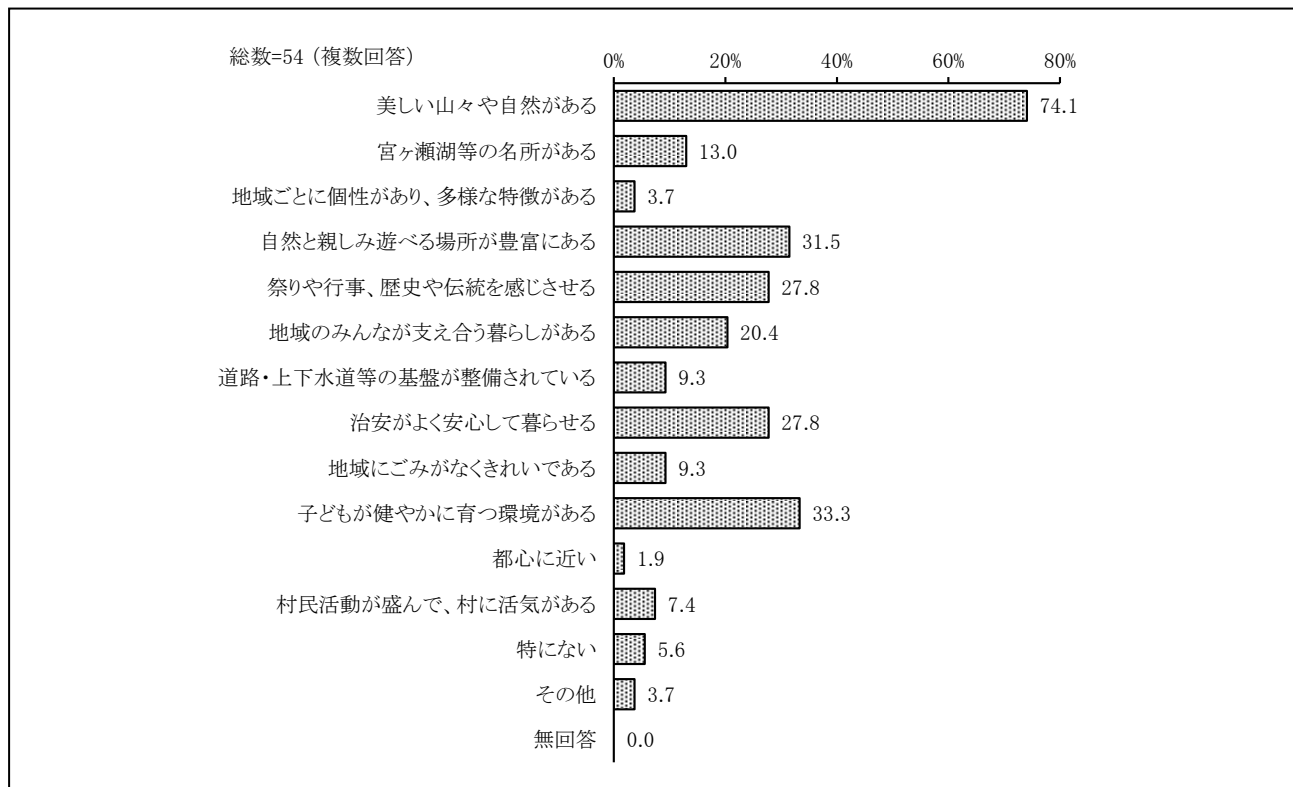
×：過年度調査では選択肢になかったもの

【属性別】

20代では「通勤・通学に不便」が73.7%で最も多く、通勤・通学の利便性を重視していることが示されている。

		全体	地域に愛着がわからない	都会的でない	活気がない	田舎である	地域の環境が荒れている感じがする	地域の人のつながりが良くない	地域に個性がない	買い物に不便	教育環境が整っていない	医療が不十分	高齢者福祉が不十分	子育て環境が悪い	スポーツ・生涯学習活動が不十分	災害時の体制や対策が不十分	治安が良くない	公共施設が未整備	道路等の基盤整備が不十分	通勤・通学に不便	都会へのアクセスが不便	特にない	その他	無回答
	全体	54	5.6	3.7	7.4	7.4	-	3.7	3.7	74.1	1.9	24.1	3.7	3.7	1.9	-	1.9	-	5.6	59.3	46.3	3.7	5.6	-
年齢	20～29歳	19	10.5	10.5	5.3	10.5	-	5.3	-	68.4	-	5.3	-	-	5.3	-	-	-	5.3	73.7	57.9	10.5	-	-
	30～39歳	14	7.1	-	7.1	14.3	-	7.1	-	78.6	7.1	21.4	-	7.1	-	-	-	-	-	50.0	42.9	-	14.3	-
	40～49歳	8	-	-	-	-	-	-	-	87.5	-	50.0	12.5	12.5	-	-	12.5	-	-	62.5	25.0	-	-	-
	50～59歳	6	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	66.7	66.7	-	-	-
	60～69歳	4	-	-	-	-	-	-	25.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-
	70～79歳	1	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	80歳以上	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	12.5	12.5	-	-	-	-	-	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	12.5	62.5	62.5	12.5	-	-
	煤ヶ谷中地区	15	6.7	-	6.7	13.3	-	-	6.7	80.0	-	6.7	-	6.7	-	-	6.7	-	6.7	73.3	53.3	-	6.7	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	7.1	-	14.3	7.1	-	7.1	-	78.6	-	35.7	14.3	-	-	-	-	-	-	50.0	57.1	7.1	-	-
	煤ヶ谷下地区	13	-	7.7	-	7.7	-	-	7.7	84.6	-	38.5	-	7.7	7.7	-	-	-	7.7	53.8	23.1	-	7.7	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	-	-	25.0	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-	25.0	-

問 10 清川村から転出してみて、あらためて清川村に魅力を感じる点がありますか。該当するもの3つを選んでください。



【全体】

「美しい山々や自然がある」が 74.1%で最も多く、「子どもが健やかに育つ環境がある」33.3%、「自然と親しみ遊べる場所が豊富」31.5%、「祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる」及び「治安が良く安心して暮らせる」27.8%などが続いている。

ほぼ同じ選択肢で実施している「家族編」の問 19、「若者編」の問 20 の「村の誇れるところ」と比較すると、「子どもが健やかに育つ環境がある」、「自然と親しみ遊べる場所が豊富」では 10 ポイント以上多く、子育て環境や自然と親しめる場の豊富さを評価している人が多い。

【前回比較】

前回調査結果と傾向に大きな違いはないが、「治安が良く安心して暮らせる」が 10 ポイント減少しているのが目立っている。

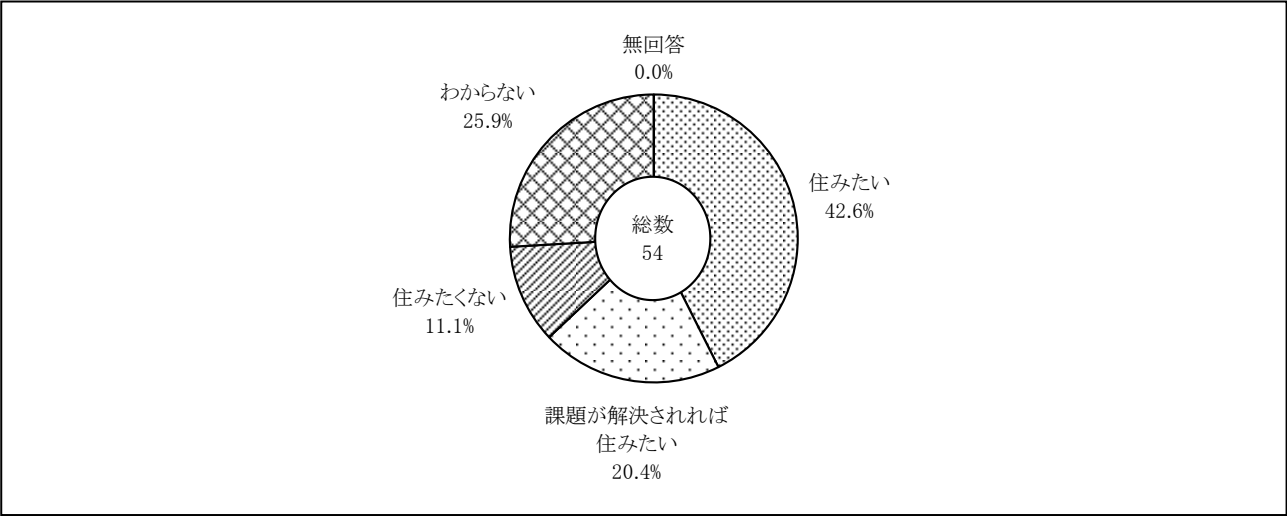
		全体	美しい山々や自然がある	宮ヶ瀬湖等の名所がある	地域ごとに個性があり、多様な特徴がある	自然と親しみ遊べる場所が豊富にある	祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる	地域のみんなが支え合う暮らしがある	道路・上下水道等の基盤が整備されている	治安がよく安心して暮らせる	地域にこみがなくきれいである	子どもが健やかに育つ環境がある	都心に近い	村民活動が盛んで、村に活気がある	特にな	その他
令和3年度	54	74.1	13.0	3.7	31.5	27.8	20.4	9.3	27.8	9.3	33.3	1.9	7.4	5.6	3.7	
平成28年度	37	73.0	18.9	-	29.7	21.6	24.3	10.8	37.8	10.8	27.0	5.4	-	8.1	8.1	

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	美しい山々や自然がある	宮ヶ瀬湖等の名所がある	地域ごとに個性があり、多様な特徴がある	自然と親しみ遊べる場所が豊富にある	祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる	地域みんなが支え合う暮らしがある	道路・上下水道等の基盤が整備されている	治安がよく安心して暮らせる	地域にこみがなくきれいだである	子どもが健やかに育つ環境がある	都心に近い	村民活動が盛んで、村に活気がある	特にな	その他	無回答
全体		54	74.1	13.0	3.7	31.5	27.8	20.4	9.3	27.8	9.3	33.3	1.9	7.4	5.6	3.7	-
年齢	20～29歳	19	73.7	10.5	-	31.6	21.1	21.1	5.3	36.8	5.3	52.6	-	-	10.5	-	-
	30～39歳	14	71.4	14.3	-	42.9	21.4	14.3	21.4	21.4	7.1	21.4	7.1	-	7.1	7.1	-
	40～49歳	8	75.0	-	-	50.0	50.0	37.5	-	25.0	12.5	-	-	12.5	-	12.5	-
	50～59歳	6	66.7	16.7	33.3	-	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	-	33.3	-	-	-
	60～69歳	4	100.0	25.0	-	25.0	50.0	-	-	25.0	-	50.0	-	-	-	-	-
	70～79歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-
	80歳以上	2	100.0	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	75.0	12.5	-	25.0	25.0	12.5	12.5	37.5	12.5	50.0	-	12.5	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	15	80.0	6.7	6.7	26.7	6.7	13.3	20.0	26.7	-	46.7	-	-	13.3	6.7	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	71.4	7.1	-	35.7	42.9	35.7	-	21.4	21.4	21.4	-	7.1	7.1	7.1	-
	煤ヶ谷下地区	13	76.9	15.4	-	30.8	46.2	23.1	7.7	38.5	7.7	30.8	7.7	7.7	-	-	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	50.0	50.0	25.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-

問 11 もし、機会があれば、もう一度、清川村に住んでみたいと思いますか。該当するもの1つを選んでください。



【全体】

「住みたい」が42.6%、「問題が解決されれば住みたい」が20.4%となっており、60%以上の人が将来的に戻ってくる可能性があるとは回答している。一方、「住みたくない」は11.1%にとどまっている。

【前回比較】

前回調査と比較すると、「住みたい」が10ポイント以上増加している一方、「住みたくない」は20ポイント近く減少している。

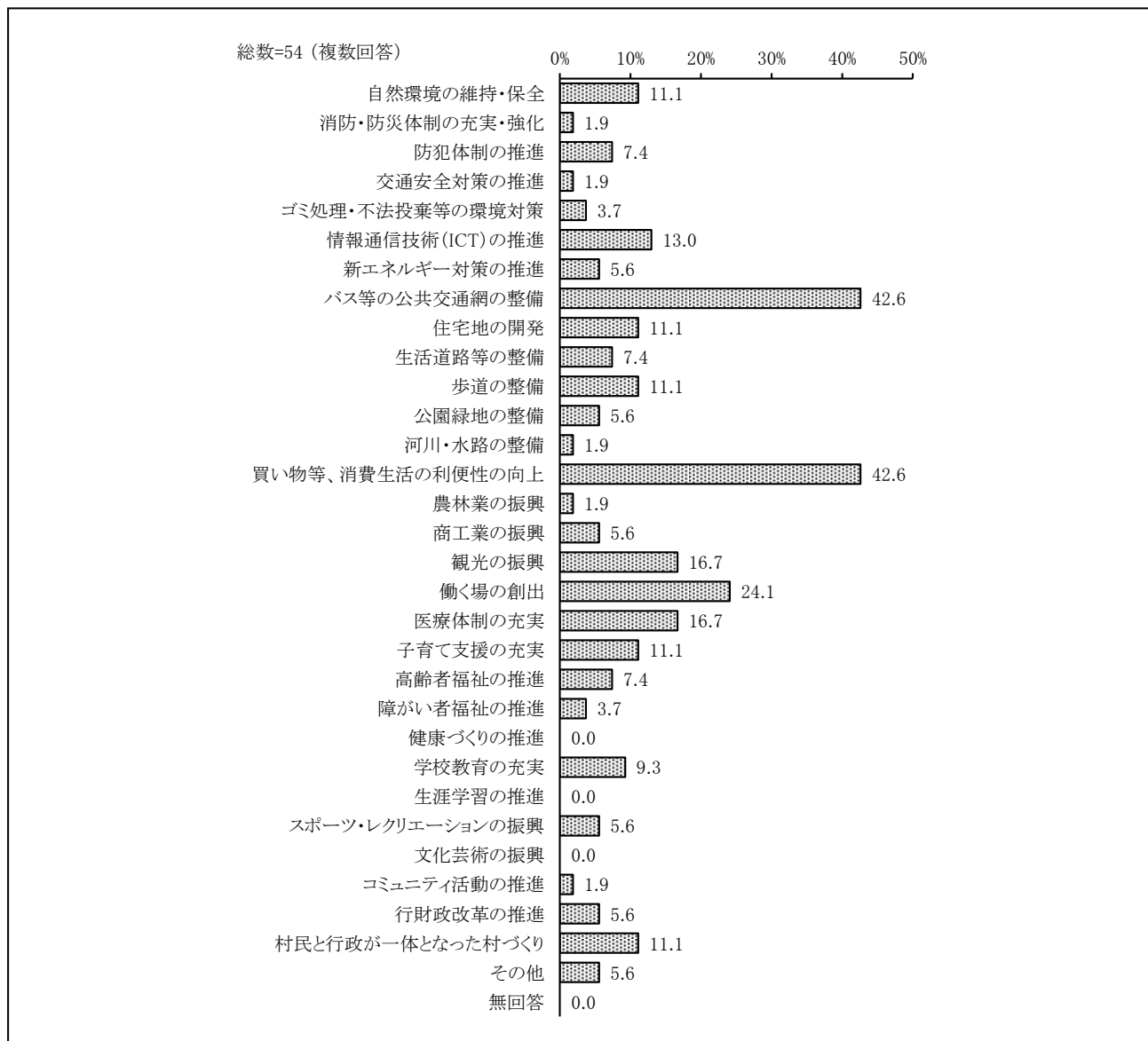
	全体	住 み た い	課 題 が 解 決 さ れ ば 住 み た い	住 み た く な い	わ か ら な い	無 回 答
令和3年度	54	42.6	20.4	11.1	25.9	-
平成28年度	37	29.7	21.6	29.7	16.2	2.7

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	住みたい	課題が解決されれば住みたい	住みたくない	わからない	無回答
	全体	54	42.6	20.4	11.1	25.9	-
年齢	20～29歳	19	47.4	26.3	21.1	5.3	-
	30～39歳	14	42.9	21.4	-	35.7	-
	40～49歳	8	37.5	25.0	12.5	25.0	-
	50～59歳	6	33.3	16.7	16.7	33.3	-
	60～69歳	4	50.0	-	-	50.0	-
	70～79歳	1	-	-	-	100.0	-
	80歳以上	2	50.0	-	-	50.0	-
居住地区	煤ヶ谷上地区	8	50.0	-	12.5	37.5	-
	煤ヶ谷中地区	15	46.7	13.3	20.0	20.0	-
	清水ヶ丘・金翅地区	14	50.0	14.3	7.1	28.6	-
	煤ヶ谷下地区	13	30.8	46.2	7.7	15.4	-
	宮ヶ瀬・札掛地区	4	25.0	25.0	-	50.0	-

問 12 今後、清川村がより住みやすくなるためには、どのようなことに力を入れていけばよいと考えますか。該当する主なもの3つを選んでください。



【全体】

「バス等の公共交通網の整備」及び「買い物等、消費生活の利便性の向上」が 42.6%で最も多く、「働く場の創出」が 23.4%で続いている。

【前回比較】

選択肢が前回調査と違うため単純な比較はできないが、上位である「バス等の公共交通網の整備」及び「買い物等、消費生活の利便性の向上」は大幅に減少しており、特に「買い物等、消費生活の利便性の向上」は 40 ポイント近く減少している。また、「子育て支援の充実」も 10 ポイント以上減少している。

		全体	自然環境の維持・保全	消防・防災体制の充実・強化	防犯体制の推進	交通安全対策の推進	ゴミ処理・不法投棄等の環境対策＊	情報通信技術（ＩＣＴ）の推進	新エネルギー対策の推進	バス等の公共交通網の整備	住宅地の開発	生活道路等の整備	歩道の整備	公園緑地の整備	河川・水路の整備	買い物等、消費生活の利便性の向上	農林業の振興	商工業の振興	観光の振興	働く場の創出	医療体制の充実	子育て支援の充実	高齢者福祉の推進	障がい者福祉の推進	健康づくりの推進	学校教育の充実	生涯学習の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	文化芸術の振興	コミュニティ活動の推進	行財政改革の推進	村民と行政が一体となった村づくり	その他
	令和3年度	54	11.1	1.9	7.4	1.9	3.7	13.0	5.6	42.6	11.1	7.4	11.1	5.6	1.9	42.6	1.9	5.6	16.7	24.1	16.7	11.1	7.4	3.7	-	9.3	-	5.6	-	1.9	5.6	11.1	5.6
	平成28年度	37	2.7	-	-	2.7	5.4	×	2.7	54.1	13.5	-	8.1	5.4	2.7	81.1	-	-	10.8	24.3	13.5	24.3	-	2.7	×	8.1	-	2.7	-	-	-	8.1	8.1

*：過年度調査では「ごみ処理等の環境対策」と「不法投棄等の対策」は別の選択肢であったため合算している。

【属性別】

※サンプル数が少なく分析できない。

		全体	自然環境の維持・保全	消防・防災体制の充実・強化	防犯体制の推進	交通安全対策の推進	ゴミ処理・不法投棄等の環境対策	情報通信技術（ＩＣＴ）の推進	新エネルギー対策の推進	バス等の公共交通網の整備	住宅地の開発	生活道路等の整備	歩道の整備	公園緑地の整備	河川・水路の整備	買い物等 消費生活の利便性の向上	農林業の振興	商工業の振興	観光の振興	働く場の創出	医療体制の充実	子育て支援の充実	高齢者福祉の推進	障がい者福祉の推進	健康づくりの推進	学校教育の充実	生涯学習の推進	スポーツ・レクリエーションの振興	文化芸術の振興	コミュニティ活動の推進	行財政改革の推進	村民と行政が一体となった村づくり	その他	無回答	
全体		54	11.1	1.9	7.4	1.9	3.7	13.0	5.6	42.6	11.1	7.4	11.1	5.6	1.9	42.6	1.9	5.6	16.7	24.1	16.7	11.1	7.4	3.7	-	9.3	-	5.6	-	1.9	5.6	11.1	5.6	-	
年齢	20～29歳	19	5.3	-	5.3	-	5.3	5.3	5.3	57.9	21.1	5.3	5.3	5.3	-	31.6	-	5.3	15.8	31.6	15.8	15.8	-	10.5	-	15.8	-	10.5	-	-	5.3	5.3	5.3	-	
	30～39歳	14	21.4	-	7.1	-	-	28.6	-	28.6	14.3	7.1	21.4	7.1	-	64.3	7.1	-	14.3	14.3	14.3	7.1	-	-	-	7.1	-	-	-	-	7.1	14.3	7.1	-	
	40～49歳	8	12.5	-	-	-	-	12.5	-	62.5	-	-	12.5	12.5	-	50.0	-	-	37.5	25.0	25.0	-	25.0	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
	50～59歳	6	-	-	33.3	16.7	16.7	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7	-	-	33.3	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7	-	16.7	-	-	
	60～69歳	4	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	25.0	50.0	-	25.0	-	25.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	70～79歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
居住地区	80歳以上	2	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	
	煤ヶ谷上地区	8	25.0	-	12.5	-	12.5	-	-	12.5	25.0	-	37.5	-	12.5	62.5	-	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	煤ヶ谷中地区	15	13.3	-	6.7	6.7	6.7	13.3	13.3	46.7	20.0	13.3	6.7	6.7	-	40.0	6.7	6.7	13.3	46.7	-	-	-	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	13.3	-
	清水ヶ丘・金閣地区	14	7.1	-	7.1	-	-	28.6	-	50.0	7.1	7.1	7.1	7.1	-	35.7	-	7.1	7.1	21.4	35.7	14.3	7.1	14.3	-	7.1	-	7.1	-	-	-	-	14.3	-	-
	煤ヶ谷下地区	13	-	-	7.7	-	-	7.7	-	53.8	-	-	7.7	7.7	-	53.8	-	-	23.1	15.4	15.4	15.4	15.4	15.4	-	-	15.4	-	-	-	7.7	23.1	7.7	-	
	宮ヶ瀬・札幌地区	4	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-	-

IV 資料編

1 集計結果

(1) 家族編

問1. 住宅の所有形態

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
持ち家	245	92.8
民間の借家	7	2.7
村営住宅	4	1.5
寮・社宅等	2	0.8
その他	3	1.1
無回答	3	1.1

問2. 居住期間

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
1年未満	-	-
1～5年	15	5.7
6～10年	12	4.5
11～20年	28	10.6
21年以上	206	78.0
無回答	3	1.1

問3-1. 居住理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
生まれたところだから	89	33.7
親や親族が住んでいたから	22	8.3
結婚した相手が清川村に住んでいたから	34	12.9
住宅を購入したから	61	23.1
子どもや家族が健康に生活できるから	1	0.4
自然等の環境に魅力を感じたから	27	10.2
勤務地が近いから	13	4.9
村の雰囲気が好きだから	1	0.4
行政サービスが気に入ったから	-	-
その他	8	3.0
無回答	8	3.0

問3-2. 住宅購入で重視した点

項目名 【2つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	61	100.0
土地の広さ	14	23.0
土地や建物の価格	42	68.9
生活しやすい環境	3	4.9
災害の危険性	-	-
自然環境	26	42.6
子育てしやすい環境	6	9.8
お年寄りが暮らしやすい環境	-	-
その他	6	9.8
無回答	-	-

問4. 居住地域

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
煤ヶ谷上地区	46	17.4
煤ヶ谷中地区	73	27.7
清水ヶ丘・金翅地区	76	28.8
煤ヶ谷下地区	46	17.4
宮ヶ瀬・札掛地区	13	4.9
無回答	10	3.8

問５－１．住みやすさ

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
住みやすい	78	29.5
どちらかといえば住みやすい	130	49.2
どちらかといえば住みにくい	40	15.2
住みにくい	9	3.4
無回答	7	2.7

問５－２．住みにくい理由

項目名 【３つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	49	100.0
地域を知らなく、勝手が悪い	－	－
娯楽や食事を楽しむ場がない	7	14.3
活気がない	5	10.2
不衛生で、汚い	1	2.0
人付き合いがうっとうしい	3	6.1
買い物などの日常生活が不便	31	63.3
物価が高い	－	－
医療環境に恵まれていない	13	26.5
治安が悪い	2	4.1
子育てがしにくい	1	2.0
生涯学習活動がしにくい	1	2.0
災害発生の心配がある	7	14.3
公共施設の整備が不十分	2	4.1
道路・上下水道等の整備が不十分	3	6.1
交通の便が悪い	36	73.5
村の経済が活発でない	4	8.2
行政サービスが悪い	2	4.1
その他	5	10.2
無回答	3	6.1

問６．居住意向

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
このまま住み続ける	199	75.4
しばらくは住み続ける	35	13.3
いずれは転出する予定である	8	3.0
近日中に転出する予定である	1	0.4
わからない	17	6.4
無回答	4	1.5

問８．情報の取得方法

項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
広報紙	221	83.7
回覧板	177	67.0
ホームページ	86	32.6
新聞・タウン誌	100	37.9
メール配信	32	12.1
窓口で聞く	15	5.7
電話で聞く	10	3.8
その他	8	3.0
無回答	3	1.1

問9. 利用している情報通信機器

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
固定電話	168	63.6
F A X	58	22.0
スマートフォン	175	66.3
タブレット端末	49	18.6
パソコン	128	48.5
携帯電話	97	36.7
持っていない	4	1.5
その他	2	0.8
無回答	3	1.1

問10. ICT（情報通信技術）の活用状況

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
家具・家電をはじめ、積極的にICTを活用している	35	13.3
電話やクレジットカードなど必要最低限度にICTを活用している	124	47.0
必要性を感じないため、活用していない	50	18.9
活用方法がわからない	31	11.7
その他	5	1.9
無回答	19	7.2

問11. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用状況

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
LINE	169	64.0
Twitter	29	11.0
Facebook	31	11.7
Instagram	36	13.6
YouTube	94	35.6
TikTok	14	5.3
利用していない	79	29.9
その他	2	0.8
無回答	8	3.0

問12-1. 行政サービスデジタル化の満足度

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
満足	18	6.8
やや満足	141	53.4
やや不満	64	24.2
不満	20	7.6
無回答	21	8.0

問12-2. 不満な理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	84	100.0
ホームページで必要な情報が入手できない	21	25.0
電子申請で利用可能な行政手続きが限られている	12	14.3
オンラインで完結できるサービスが少ない	14	16.7
申請や届け出が正確にできているかわからない	11	13.1
対面で申請や手続きを行いたい	12	14.3
その他	6	7.1
無回答	8	9.5

問13. 住民組織への参加状況

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
自治会	211	79.9
消防団	18	6.8
小学校・中学校のPTA	25	9.5
ボランティア団体	36	13.6
子ども会	14	5.3
老人会	18	6.8
参加していない	41	15.5
その他	7	2.7
無回答	2	0.8

問14. 現在参加している地域活動

項目名 【9つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
清掃・美化活動	191	72.3
ボランティア活動	46	17.4
祭りや行事の運営	54	20.5
消防団	19	7.2
PTA活動	26	9.8
自然環境の維持・保全活動	14	5.3
子ども会の活動	16	6.1
老人会の活動	15	5.7
参加していない	48	18.2
その他	7	2.7
無回答	3	1.1

問15-1. 地域活動への参加意向

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
参加したい	23	8.7
内容により参加したい	180	68.2
参加しない	29	11.0
わからない	23	8.7
無回答	9	3.4

問15-2. 地域の活動へ参加しない理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	29	100.0
忙しく参加する時間がない	10	34.5
活動日時が合わない	-	-
参加するのが面倒	3	10.3
他者との関係が煩わしい	3	10.3
活動に興味がない	6	20.7
その他	6	20.7
無回答	1	3.4

問16. 地域のまとまりについて

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
まとまっている	111	42.0
まとまりがない	46	17.4
どちらともいえない	102	38.6
無回答	5	1.9

問17. 近所の方との関係性

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
かなり親しい	29	11.0
わりと親しい	139	52.7
付き合いはあるが、親しくはない	74	28.0
ほとんど付き合いがない	18	6.8
無回答	4	1.5

問18. 地域の皆さんの関係を深めることについて

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
とても重要	92	34.8
やや重要	123	46.6
そこまで重要ではない	39	14.8
不要	5	1.9
無回答	5	1.9

問19. 村の誇れるところ

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
美しい山々や自然がある	203	76.9
宮ヶ瀬湖等の名所がある	71	26.9
地域ごとに個性や多様な特徴がある	6	2.3
自然と親しみ遊べる場所が豊富	45	17.0
祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる	33	12.5
地域の人々が知り合い、支え合う	34	12.9
道路、上下水道等が整備されている	63	23.9
治安が良く安心して暮らせる	79	29.9
ごみがなくきれいである	23	8.7
子どもが健やかに育つ環境	48	18.2
都心に近い	49	18.6
活気があり、村民活動が盛ん	1	0.4
特にない	4	1.5
わからない	3	1.1
その他	3	1.1
無回答	13	4.9

問20. 10年後の村の将来像

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
風光明媚な村	31	11.7
豊かな自然と共生した村	121	45.8
保健や医療、介護が充実した村	120	45.5
村民みんなが健康な村	36	13.6
高齢者や障がい者が暮らしやすい村	86	32.6
安心して子どもが育てられる村	54	20.5
災害や犯罪のない安全な村	79	29.9
公共交通網や買い物などが便利な村	85	32.2
住宅や住環境が整った村	23	8.7
観光業や商工業が盛んな村	26	9.8
農林業が盛んな村	9	3.4
教育環境が整った村	18	6.8
文化・スポーツ活動が盛んな村	8	3.0
ボランティア活動が盛んな村	2	0.8
村民どうしが協力し助け合える村	41	15.5
祭りや伝統文化が継承される村	12	4.5
わからない	2	0.8
その他	4	1.5
無回答	3	1.1

問21－１．市町村合併についての考え

項目名	集計値	構成比（％）
全体	264	100.0
検討する必要がある	87	33.0
検討する必要はない	127	48.1
わからない	43	16.3
無回答	7	2.7

問21－２．検討する必要がある理由

項目名	集計値	構成比（％）
全体	87	100.0
多様なサービスを受けられるようになるから	11	12.6
行財政の効率化が図られるから	23	26.4
生活利便性が向上するから	8	9.2
財政基盤が強化されるから	17	19.5
市となることでイメージが良くなるから	6	6.9
自治体能力の向上が図られるから	11	12.6
時代の流れだから	4	4.6
なんとなくその方が良いと思うから	1	1.1
その他	6	6.9
無回答	-	-

問21－３．検討する必要がない理由

項目名	集計値	構成比（％）
全体	127	100.0
行政区域の拡大により、きめ細かいサービスが受けられなくなるから	34	26.8
合併をしなくても行政運営ができるから	13	10.2
今の村が気に入っているから	20	15.7
歴史や文化などの個性が失われ、地域の連帯感も薄れるから	7	5.5
住民の意見が行政に届きにくくなるから	7	5.5
役場や公共施設が遠くなり、不便になるから	7	5.5
合併しても、今より利便性が増すと思えないから	28	22.0
周辺自治体と連携することで、十分なサービスを受けられるから	3	2.4
その他	2	1.6
無回答	6	4.7

問21－４．わからない理由

項目名	集計値	構成比（％）
全体	43	100.0
合併の長所・短所がよくわからない	27	62.8
合併してもしなくてもどちらでもよい	11	25.6
合併について、興味・関心がない	2	4.7
その他	3	7.0
無回答	-	-

問22. 年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
10歳代	-	-
20歳代	1	0.4
30歳代	11	4.2
40歳代	32	12.1
50歳代	23	8.7
60歳代	65	24.6
70歳代	91	34.5
80歳代以上	37	14.0
無回答	4	1.5

問23. 性別

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
男性	187	70.8
女性	73	27.7
その他	-	-
無回答	4	1.5

問24. 配偶者の有無

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
未婚	19	7.2
既婚(パートナーシップ登録を含む)	176	66.7
離別	11	4.2
死別	49	18.6
無回答	9	3.4

問25. 同居の家族構成

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
ひとり暮らし	57	21.6
夫婦	91	34.5
二世帯同居(あなたと子ども)	75	28.4
二世帯同居(あなたと親)	18	6.8
三世帯同居	17	6.4
その他	1	0.4
無回答	5	1.9

問26. 同居している方

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
未就学の子ども	14	5.3
小学生	20	7.6
中学生	16	6.1
高校生	11	4.2
大学生・専門学生	9	3.4
65～74歳の高齢者	76	28.8
75歳以上の高齢者	85	32.2
該当する人はいない	59	22.3
無回答	28	10.6

問26. 同居している方の人数「1. 未就学の子ども」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	14	100.0
1人	10	71.4
2人	4	28.6
3人以上	-	-
無回答	-	-

問26. 同居している方の人数「2. 小学生」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	20	100.0
1人	15	75.0
2人	5	25.0
3人以上	-	-
無回答	-	-

問26. 同居している方の人数「3. 中学生」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	16	100.0
1人	13	81.3
2人	3	18.8
3人以上	-	-
無回答	-	-

問26. 同居している方の人数「4. 高校生」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	11	100.0
1人	10	90.9
2人	-	-
3人以上	-	-
無回答	1	9.1

問26. 同居している方の人数「5. 大学生・専門学生」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	9	100.0
1人	6	66.7
2人	3	33.3
3人以上	-	-
無回答	-	-

問26. 同居している方の人数「6. 65～74歳の高齢者」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	76	100.0
1人	45	59.2
2人	30	39.5
3人以上	1	1.3
無回答	-	-

問26. 同居している方の人数「7. 75歳以上の高齢者」

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	85	100.0
1人	65	76.5
2人	11	12.9
3人以上	-	-
無回答	9	10.6

問27. 主な就業状況

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	264	100.0
農林水産業	9	3.4
会社員	61	23.1
公務員	17	6.4
自営業・個人事業主	24	9.1
パート・アルバイト	27	10.2
専業主婦・夫	9	3.4
学生	-	-
無職	100	37.9
その他	10	3.8
無回答	7	2.7

(2) 若者編

問 1. 居住地域

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
煤ヶ谷上地区	7	10.9
煤ヶ谷中地区	25	39.1
清水ヶ丘・金翅地区	14	21.9
煤ヶ谷下地区	15	23.4
宮ヶ瀬・札掛地区	3	4.7
無回答	-	-

問 2. 居住期間

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
生まれたときから	31	48.4
20年以上	8	12.5
10年以上20年未満	11	17.2
5年以上10年未満	4	6.3
3年以上5年未満	4	6.3
3年未満	6	9.4
無回答	-	-

問 3. 居住理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
生まれたところだから	31	48.4
親や親族が住んでいたから	23	35.9
結婚した相手が住んでいたから	3	4.7
子どもや家族が健康に生活できるから	-	-
自然等の環境に魅力を感じたから	4	6.3
通勤・通学地が近いから	-	-
村の雰囲気が好きだから	-	-
行政サービスが気に入ったから	3	4.7
その他	-	-
無回答	-	-

問 4. 通勤・通学場所

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
村内	9	14.1
厚木市	19	29.7
秦野市	-	-
愛川町	-	-
伊勢原市	5	7.8
海老名市	8	12.5
相模原市	3	4.7
その他の神奈川県内	10	15.6
東京都内	5	7.8
その他の地域	1	1.6
なし	4	6.3
無回答	-	-

問5. 主な交通手段

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
徒歩	2	3.1
自転車	3	4.7
バイク	1	1.6
自家用車	26	40.6
乗合バス	28	43.8
タクシー	-	-
交通機関は利用しない（自宅）	4	6.3
その他	-	-
無回答	-	-

問6-1. 休日の主な過ごし方

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
家で家族等と過ごす	21	32.8
散歩や地域の自然の中で過ごす	2	3.1
子どもたちと家の近くで遊ぶ	1	1.6
図書館等の公共施設に行く	-	-
友人・知人と交遊する	16	25.0
映画等のレジャーに遊びに出る	4	6.3
家族と買い物や食事に行く	6	9.4
スポーツやクラブ活動をする	6	9.4
パートやアルバイトをする	5	7.8
その他	2	3.1
無回答	1	1.6

問6-2. 休日を過ごす主な場所

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	39	100.0
村内	3	7.7
村外	35	89.7
無回答	1	2.6

問7. 参加している地域の活動

項目名 【8つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
清掃・美化活動	16	25.0
ボランティア活動	4	6.3
祭りや行事の運営	6	9.4
消防団	2	3.1
PTA活動	5	7.8
自然環境の維持・保全活動	1	1.6
子ども会の参加	2	3.1
参加していない	32	50.0
その他	1	1.6
無回答	11	17.2

問8-1. 地域活動への参加意向

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
参加したい	8	12.5
内容により参加したい	30	46.9
参加しない	13	20.3
わからない	12	18.8
無回答	1	1.6

問8-2. 地域の活動へ参加しない理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	13	100.0
忙しく参加する時間がない	6	46.2
活動日時が合わない	1	7.7
参加するのが面倒	1	7.7
他者との関係が煩わしい	1	7.7
活動に興味がない	4	30.8
その他	-	-
無回答	-	-

問9. 近所の方との関係性

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
かなり親しい	7	10.9
わりと親しい	22	34.4
付き合いはあるが、親しくはない	20	31.3
ほとんど付き合いがない	15	23.4
無回答	-	-

問10. 地域の皆さんの関係を深めることについて

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
とても重要	14	21.9
やや重要	36	56.3
そこまで重要ではない	12	18.8
不要	2	3.1
無回答	-	-

問11. 情報の取得方法

項目名 【複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
広報紙	37	57.8
回覧板	27	42.2
ホームページ	27	42.2
新聞・タウン誌	4	6.3
メール配信	5	7.8
窓口で聞く	3	4.7
電話で聞く	2	3.1
その他	7	10.9
無回答	-	-

問12. 利用している情報通信機器

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
固定電話	15	23.4
FAX	7	10.9
スマートフォン	60	93.8
タブレット端末	22	34.4
パソコン	30	46.9
携帯電話	8	12.5
持っていない	-	-
その他	-	-
無回答	-	-

問13. ICT（情報通信技術）の活用状況

項目名	集計値	構成比（%）
全体	64	100.0
家具・家電をはじめ、積極的にICTを活用している	20	31.3
電話やクレジットカードなど必要最低限度にICTを活用している	34	53.1
必要性を感じないため、活用していない	3	4.7
活用方法がわからない	6	9.4
その他	1	1.6
無回答	-	-

問14. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の利用状況

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比（%）
全体	64	100.0
LINE	62	96.9
Twitter	42	65.6
Facebook	14	21.9
Instagram	38	59.4
YouTube	59	92.2
TikTok	19	29.7
利用していない	1	1.6
その他	-	-
無回答	-	-

問15-1. 行政サービスデジタル化の満足度

項目名	集計値	構成比（%）
全体	64	100.0
満足	7	10.9
やや満足	38	59.4
やや不満	16	25.0
不満	3	4.7
無回答	-	-

問15-2. 不満な理由

項目名	集計値	構成比（%）
全体	19	100.0
ホームページで必要な情報が入手できない	5	26.3
電子申請で利用可能な行政手続きが限られている	4	21.1
オンラインで完結できるサービスが少ない	4	21.1
申請や届け出が正確にできているかわからない	1	5.3
対面で申請や手続きを行いたい	2	10.5
その他	1	5.3
無回答	2	10.5

問16-1. 住みやすさ

項目名	集計値	構成比（%）
全体	64	100.0
住みやすい	14	21.9
どちらかといえば住みやすい	27	42.2
どちらかといえば住みにくい	17	26.6
住みにくい	5	7.8
無回答	1	1.6

問16-2. 住みにくい理由

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	22	100.0
地域を知らなく、勝手が悪い	-	-
娯楽や食事を楽しむ場がない	10	45.5
活気がない	2	9.1
不衛生で、汚い	4	18.2
人付き合いがうっとうしい	2	9.1
買い物などの日常生活が不便	18	81.8
物価が高い	1	4.5
医療環境に恵まれていない	1	4.5
治安が悪い	-	-
子育てがしにくい	-	-
生涯学習活動がしにくい	1	4.5
災害発生の心配がある	1	4.5
公共施設の整備が不十分	-	-
道路・上下水道等の整備が不十分	-	-
交通の便が悪い	15	68.2
村の経済が活発でない	1	4.5
行政サービスが悪い	2	9.1
その他	2	9.1
無回答	1	4.5

問17. 住みやすい村のため力を入れてほしいもの

項目名 【4つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
自然環境の維持・保全	19	29.7
消防・防災体制の充実・強化	4	6.3
防犯体制の推進	4	6.3
交通安全対策の推進	4	6.3
ゴミ処理等の環境対策	4	6.3
不法投棄等の対策	6	9.4
新エネルギー対策の推進	1	1.6
バス等の公共交通網の整備	37	57.8
住宅地の開発	8	12.5
生活道路・歩道等の整備	13	20.3
公園の整備	11	17.2
河川・水路の整備	-	-
買い物等、消費生活の利便性の向上	34	53.1
農林業の振興	2	3.1
商工業の振興	7	10.9
観光の振興	7	10.9
働く場の創出	15	23.4
医療体制の充実	7	10.9
子育て支援の充実	6	9.4
高齢者福祉の推進	-	-
障がい者福祉の推進	1	1.6
健康づくりの推進	1	1.6
学校教育の充実	7	10.9
生涯学習の推進	1	1.6
スポーツ・レクリエーションの振興	1	1.6
伝統文化・芸術の振興	8	12.5
コミュニティ活動の推進	1	1.6
行財政改革の推進	1	1.6
ICT（情報通信技術）の活用	6	9.4
積極的な情報の発信	6	9.4
公共施設の適正管理	4	6.3
村民と行政が一体となった村づくり	5	7.8
その他	2	3.1
無回答	-	-

問18－１．居住意向

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
このまま住み続ける	19	29.7
転出する予定である	11	17.2
わからない	34	53.1
無回答	-	-

問18－２．転出を考える理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	11	100.0
就職・進学をするから	3	27.3
結婚するから	3	27.3
子どもが進学するから	-	-
便利なところで生活したいから	3	27.3
村での生活が気に入らないから	1	9.1
その他	1	9.1
無回答	-	-

問18－３．村に帰る予定

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	11	100.0
帰るつもりはない	5	45.5
帰る気持ちでいる	2	18.2
わからない	4	36.4
無回答	-	-

問19．転出した人たちが村に帰るために一番必要なもの

項目名 【２つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
住宅用地が容易に確保できること	15	23.4
住居が確保できること	13	20.3
就業先が確保されること	16	25.0
医療等が整備されていること	3	4.7
介護等が行き届き高齢になっても住みやすいこと	5	7.8
保育などの子育ての環境がよいこと	14	21.9
時代に即した十分な教育環境が整っていること	5	7.8
買い物等に不自由しないこと	25	39.1
道路が整備されて安全であること	-	-
災害の心配がないこと	4	6.3
治安がよいこと	3	4.7
全国的に有名な名所や名物があること	2	3.1
地域の人との絆があること	1	1.6
友人が多く残っていること	2	3.1
美しい自然が保全されていること	9	14.1
わからない	1	1.6
その他	1	1.6
無回答	2	3.1

問20. 村の誇れるところ

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
美しい山々や自然がある	51	79.7
宮ヶ瀬湖等の名所がある	14	21.9
地域ごとに個性があり、多様な特徴がある	2	3.1
自然と親しみ遊べる場所が豊富にある	13	20.3
祭りや行事、歴史や伝統を感じさせるものがある	14	21.9
地域の人々が知り合い、支え合う暮らしがある	10	15.6
住宅地の周りは道路・上下水道等の必要な基盤が整備されている	8	12.5
治安がよく安心して暮らせる	20	31.3
地域にごみがなくきれいだである	2	3.1
子どもが健やかにのびのび育つ環境がある	12	18.8
都会に近い	9	14.1
村に活気があり、村民がいろいろな活動に参加している	-	-
特にない	2	3.1
わからない	1	1.6
その他	4	6.3
無回答	1	1.6

問21. 10年後の村の将来像

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
風光明媚な村	7	10.9
豊かな自然と共生した村	27	42.2
保健や医療、介護が充実した村	12	18.8
村民みんなが健康な村	10	15.6
高齢者や障がい者が安心して暮らせる村	4	6.3
安心して子どもが育てられる村	20	31.3
災害や犯罪のない安全な村	11	17.2
公共交通網や買い物などが便利な村	32	50.0
住宅や住環境が整った村	12	18.8
観光等の商工業が盛んな村	7	10.9
農林業が盛んな村	3	4.7
教育環境が整った村	6	9.4
文化・スポーツ活動が盛んな村	5	7.8
ボランティア活動が盛んな村	1	1.6
村民どうしが協力し助け合う村	6	9.4
祭りや伝統文化が継承される村	11	17.2
その他	1	1.6
わからない	-	-
無回答	3	4.7

問22-1. 市町村合併についての考え

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
検討する必要がある	10	15.6
検討する必要はない	32	50.0
わからない	19	29.7
無回答	3	4.7

問22－２．検討する必要がある理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	10	100.0
多様なサービスを受けられるようになるから	1	10.0
行財政の効率化が図られるから	3	30.0
生活利便性が向上するから	1	10.0
財政基盤が強化されるから	2	20.0
市となることでイメージが良くなるから	－	－
自治体能力の向上が図られるから	1	10.0
時代の流れだから	1	10.0
なんとなくその方が良いと思うから	1	10.0
その他	－	－
無回答	－	－

問22－３．検討する必要がない理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	32	100.0
行政区域の拡大により、きめ細かいサービスが受けられなくなるから	4	12.5
合併をしなくても行政運営ができるから	2	6.3
今の村が気に入っているから	7	21.9
歴史や文化などの個性が失われ、地域の連帯感も薄れるから	3	9.4
住民の意見が行政に届きにくくなるから	－	－
役場や公共施設が遠くなり、不便になるから	4	12.5
合併しても、今より利便性が増すと思えないから	7	21.9
周辺自治体と連携することで、十分なサービスを受けられるから	2	6.3
その他	－	－
無回答	3	9.4

問22－４．わからない理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	19	100.0
合併の長所・短所がよくわからない	14	73.7
合併してもしなくてもどちらでもよい	4	21.1
合併について、興味・関心がない	－	－
その他	1	5.3
無回答	－	－

問23．年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
15～19歳	19	29.7
20～24歳	11	17.2
25～29歳	10	15.6
30～34歳	13	20.3
35歳以上	8	12.5
無回答	3	4.7

問24．性別

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
男性	24	37.5
女性	36	56.3
その他	1	1.6
無回答	3	4.7

問25. 同居家族

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
配偶者	9	14.1
子ども	10	15.6
親	48	75.0
兄弟・姉妹	23	35.9
祖父母	12	18.8
友人	1	1.6
一人暮らし	2	3.1
その他	2	3.1
無回答	3	4.7

問26. 現在の職業等

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	64	100.0
高校生	13	20.3
専門学校・専修学校生	4	6.3
短大・四年制の大学生、大学院生	1	1.6
会社員・派遣社員	22	34.4
公務員・教員（団体職員含む）	5	7.8
パート・アルバイト	7	10.9
自営業	3	4.7
家の手伝い	-	-
無職	5	7.8
その他	1	1.6
無回答	3	4.7

(3) 転出者編

問1. 居住地域

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
煤ヶ谷上地区	8	14.8
煤ヶ谷中地区	15	27.8
清水ヶ丘・金翅地区	14	25.9
煤ヶ谷下地区	13	24.1
宮ヶ瀬・札掛地区	4	7.4
無回答	-	-

問2. 居住期間

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
3年未満	5	9.3
3～4年	2	3.7
5～9年	1	1.9
10～19年	15	27.8
20年以上	31	57.4
無回答	-	-

問3. 転出前（清川村）の住宅所有形態

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
持ち家	19	35.2
民間の借家	1	1.9
村営住宅	1	1.9
寮・社宅等	3	5.6
親と同居	29	53.7
その他	1	1.9
無回答	-	-

問4. 転出後の住宅所有形態

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
持ち家（一戸建て）	10	18.5
持ち家（マンション等）	5	9.3
民間の借家（一戸建て）	1	1.9
民間の借家（マンション等）	28	51.9
公営住宅	1	1.9
寮・社宅等	3	5.6
親と同居	5	9.3
その他	1	1.9
無回答	-	-

問6. 通勤・通学の場所

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
村内	6	11.1
厚木市	13	24.1
秦野市	1	1.9
愛川町	2	3.7
伊勢原市	1	1.9
海老名市	1	1.9
相模原市	3	5.6
その他の神奈川県内	11	20.4
東京都内	11	20.4
その他の地域	4	7.4
なし	1	1.9
無回答	-	-

問7. 転出することになった最も大きな理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
家族構成が変わった	11	20.4
住宅規模などが希望どおりではない	3	5.6
通勤・通学に不便	12	22.2
勤務先が変わり、遠くなった	10	18.5
親や子どもの近くに住むことになった	1	1.9
道路等の基盤整備が不十分	-	-
バス等の公共交通網が不便	2	3.7
日常の買い物の利便性が良くない	1	1.9
災害に不安がある	-	-
治安が良くない	-	-
農林業では生活ができなくなった	-	-
村で家業を続けることが難しくなった	-	-
家族が就職・転職した	-	-
子育ての環境が良くない	-	-
学校の教育環境が良くない	1	1.9
高齢になって生活しにくくなった	2	3.7
医療・福祉が整っていない	-	-
地域での人間関係が煩わしい	1	1.9
地域の生活環境が良くない	-	-
公共施設の整備が不十分	-	-
行政サービスが良くない	-	-
賑わいのある都市の中で生活したかった	-	-
特に理由はない	2	3.7
その他	7	13.0
無回答	1	1.9

問8. 転出先を選んだ理由

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
住宅地としての環境が良い	8	14.8
道路等の都市基盤が整備されている	-	-
公共交通の利便性が高い	8	14.8
都心へのアクセスが良い	4	7.4
通勤・通学に便利	17	31.5
住宅規模や価格など住宅事情が良い	2	3.7
日常の買い物が便利	4	7.4
子育てするための環境が整っている	-	-
教育環境が良い	-	-
高齢者福祉が充実している	1	1.9
スポーツ・生涯学習活動が盛ん	-	-
災害時の体制や対策が整っている	-	-
治安がよく、安全	-	-
公共施設が近い	-	-
友人・知人がいる	-	-
親や子どもの家に近い	4	7.4
地域が人情味あふれている	-	-
行政サービスが充実している	-	-
特に理由はない	2	3.7
その他	4	7.4
無回答	-	-

問9. 村の暮らしで不満に感じた点

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
地域に愛着がわからない	3	5.6
都会的でない	2	3.7
活気がない	4	7.4
田舎である	4	7.4
地域の環境が荒れている感じがする	-	-
地域の人のつながりが良くない	2	3.7
地域に個性がない	2	3.7
買い物が不便	40	74.1
教育環境が整っていない	1	1.9
医療が不十分	13	24.1
高齢者福祉が不十分	2	3.7
子育て環境が悪い	2	3.7
スポーツ・生涯学習活動が不十分	1	1.9
災害時の体制や対策が不十分	-	-
治安が良くない	1	1.9
公共施設が未整備	-	-
道路等の基盤整備が不十分	3	5.6
通勤・通学に不便	32	59.3
都会へのアクセスが不便	25	46.3
特にない	2	3.7
その他	3	5.6
無回答	-	-

問10. 転出してあらためて清川村に魅力を感じる点

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
美しい山々や自然がある	40	74.1
宮ヶ瀬湖等の名所がある	7	13.0
地域ごとに個性があり、多様な特徴がある	2	3.7
自然と親しみ遊べる場所が豊富にある	17	31.5
祭りや行事、歴史や伝統を感じさせる	15	27.8
地域のみんなが支え合う暮らしがある	11	20.4
道路・上下水道等の基盤が整備されている	5	9.3
治安がよく安心して暮らせる	15	27.8
地域にごみがなくきれいである	5	9.3
子どもが健やかに育つ環境がある	18	33.3
都心に近い	1	1.9
村民活動が盛んで、村に活気がある	4	7.4
特にない	3	5.6
その他	2	3.7
無回答	-	-

問11. もう一度、村に住んでみたいと思いますか

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
住みたい	23	42.6
課題が解決されれば住みたい	11	20.4
住みたくない	6	11.1
わからない	14	25.9
無回答	-	-

問12. より住みやすくなるために力を入れるべきこと

項目名 【3つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
自然環境の維持・保全	6	11.1
消防・防災体制の充実・強化	1	1.9
防犯体制の推進	4	7.4
交通安全対策の推進	1	1.9
ゴミ処理・不法投棄等の環境対策	2	3.7
情報通信技術（ICT）の推進	7	13.0
新エネルギー対策の推進	3	5.6
バス等の公共交通網の整備	23	42.6
住宅地の開発	6	11.1
生活道路等の整備	4	7.4
歩道の整備	6	11.1
公園緑地の整備	3	5.6
河川・水路の整備	1	1.9
買い物等、消費生活の利便性の向上	23	42.6
農林業の振興	1	1.9
商工業の振興	3	5.6
観光の振興	9	16.7
働く場の創出	13	24.1
医療体制の充実	9	16.7
子育て支援の充実	6	11.1
高齢者福祉の推進	4	7.4
障がい者福祉の推進	2	3.7
健康づくりの推進	-	-
学校教育の充実	5	9.3
生涯学習の推進	-	-
スポーツ・レクリエーションの振興	3	5.6
文化芸術の振興	-	-
コミュニティ活動の推進	1	1.9
行財政改革の推進	3	5.6
村民と行政が一体となった村づくり	6	11.1
その他	3	5.6
無回答	-	-

問13. 年齢

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
19歳以下	-	-
20～29歳	19	35.2
30～39歳	14	25.9
40～49歳	8	14.8
50～59歳	6	11.1
60～69歳	4	7.4
70～79歳	1	1.9
80歳以上	2	3.7
無回答	-	-

問14. 性別

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
男性	33	61.1
女性	21	38.9
その他	-	-
無回答	-	-

問15. 転出直前に同居していた家族

項目名 【7つまでの複数回答】	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
配偶者	10	18.5
子ども	9	16.7
親	39	72.2
兄弟・姉妹	18	33.3
祖父母	7	13.0
友人	2	3.7
一人暮らし	4	7.4
その他	-	-
無回答	1	1.9

問16. 現在の職業等

項目名	集計値	構成比 (%)
全体	54	100.0
農林水産業	-	-
会社員	28	51.9
公務員・教員・団体職員	9	16.7
自営業・個人事業主	6	11.1
パート・アルバイト	6	11.1
専業主婦・夫	2	3.7
学生	-	-
無職	1	1.9
その他	2	3.7
無回答	-	-

